

---

# 仙 台 市

## 地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

(No.31)

---

平成18年 7月～ 9月期 (今 期)	実 績
平成18年 10月～ 12月期 (来 期)	見通し
平成19年 1月～ 3月期 (来々期)	見通し

平成18年 10月

仙 台 市 経 済 局



# 1. 調査の概要

## (1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

## (2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 18 年 9 月に実施した。

## (3) 調査方法

### ①企業経営動向調査（D I）

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

（調査期間：平成 18 年 9 月 1 日～18 年 9 月 19 日）

業種	大規模	中規模	小規模	全規模計
製造業	24	46	4	74
非製造業	119	321	103	543
建設業	27	47	1	75
運輸・通信業	13	42	4	59
卸売業	8	61	13	82
小売業	16	44	28	88
飲食店	19	32	7	58
不動産業	24	46	3	73
サービス業	12	49	47	108
企業種計	143	367	107	617
(有効回収率: %)	58.4	64.0	59.1	61.7

### ②業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 30 社に対し、景気動向の現状や、各業種における課題等について仙台市職員が聞き取りを行った。調査は、平成 18 年 9 月 20 日～10 月 2 日にかけて実施した。

### ③主要経済指標の動向調査

仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移をみるための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

## 2. 調査結果の総括

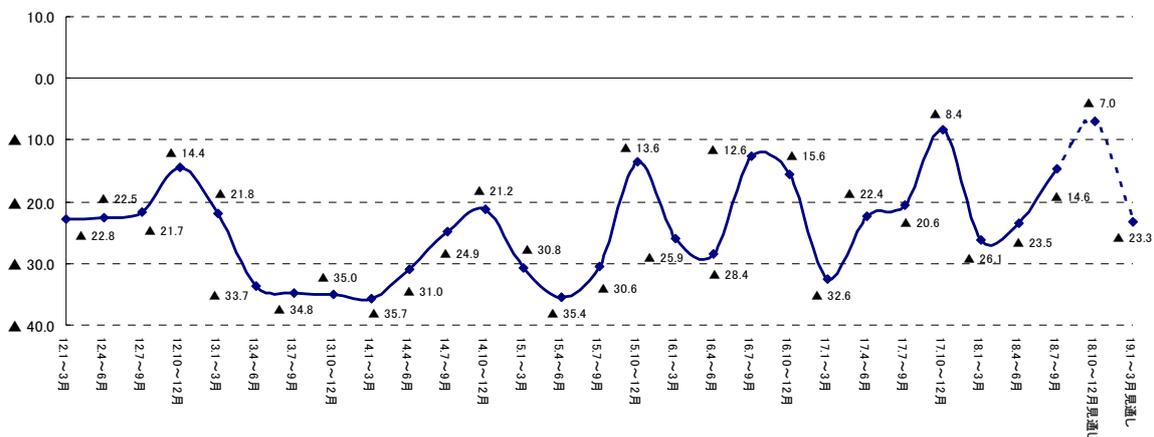
市内事業所の業況判断は、前期に比べ改善した。来期見通しでは、不動産業、サービス業を除くすべての業種で上昇が期待されるなど改善傾向が見込まれる。

### ＜仙台市企業経営動向調査（DI）結果の総括表＞

市内事業所を対象とした経営動向調査の今期（平成18年7～9月期）実績では、業界の景気、市内の景気、事業所の景気のすべてでDI値が前期より上昇し、改善傾向が見られる。

さらに、来期見通しについても、市内の景気、業界の景気、事業所の景気いずれも改善傾向にあると捉えられており、景気の改善が予想される。

業況判断(事業所の景気)DIの推移



DI項目	今期実績 (前期実績との比較)		来期見通し (今期実績との比較)	
市内の景気	上昇している	☺	上昇する見通し	☺
業界の景気	上昇している	☺	上昇する見通し	☺
事業所の景気	上昇している	☺	上昇する見通し	☺
生産・売上	上昇している	☺	上昇する見通し	☺
経常利益	上昇している	☺	上昇する見通し	☺
設備投資	増加している	☺	増加する見通し	☺
雇用人員	下降している	☹	下降する見通し	☹
製(商)品在庫	下降している	☹	下降する見通し	☹
製(商)品価格	下降している	☹	上昇する見通し	☺
原材料(仕入)価格	ほぼ横ばい	☹	上昇する見通し	☹
資金繰り	ほぼ横ばい	☹	ほぼ横ばい	☹
労働時間	上昇している	☺	上昇する見通し	☺

☺ 改善状況にある      ☹ ほぼ変化はない      ☹ 悪化状況にある

※DI = 「上昇」（「増加」「過剰」「改善」）と答えた事業所の割合（%）  
 - 「下降」（「減少」「不足」「悪化」）と答えた事業所の割合（%）  
 ※表中の前期はH18年4～6月、今期はH18年7～9月、来期はH18年10～12月をあらわす。  
 →調査結果の詳細についてはP5～P17、P25～P43参照

## ＜業況判断（事業所の景気）DIの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査（DI）結果より ～

### ①仙台市における業種別業況判断（DI）の動向

業種	状況	今期実績 (前期実績 との比較)	来期見通し (今期実績 との比較)
製造業	今期のDI値は▲8.1と、前期に比べて10.5ポイントと大幅に上昇した。来期見通しでは26.0とプラスに転じ、今期に比べて34.1ポイント上昇し、大幅な改善傾向が予想される。		
建設業	今期のDI値は▲8.2と、前期に比べて30.3ポイントと大幅に上昇した。来期見通しでは▲5.6と、今期に比べて2.6ポイント上昇し、改善傾向が予想される。		
運輸・通信業	今期のDI値は▲19.0と、前期に比べて19.5ポイントと大幅に上昇した。来期見通しでは▲15.5と、今期に比べて3.5ポイント上昇し、改善傾向が予想される。		
卸売業	今期のDI値は▲14.6と、前期に比べて5.7ポイント上昇した。来期見通しでは▲4.9と、今期に比べて9.7ポイント上昇し、改善傾向が予想される。		
小売業	今期のDI値は▲16.1と、前期に比べて2.2ポイント上昇した。来期見通しでは▲7.0と、今期に比べて9.1ポイント上昇し、改善傾向が予想される。		
飲食店	今期のDI値は▲40.3と、前期に比べて20.3ポイントと大幅に下降した。来期見通しでは▲28.6と、今期に比べて11.7ポイント上昇し、改善傾向が予想される。		
不動産業	今期のDI値は▲12.6と、前期に比べて4.8ポイント下降した。来期見通しでは▲15.5と、今期に比べて2.9ポイント下降し、悪化傾向が予想される。		
サービス業	今期のDI値は▲7.4と、前期に比べて16.6ポイントと大幅に上昇した。来期見通しでは▲10.2と、今期に比べて2.8ポイント下降し、悪化傾向が予想される。		



改善状況にある

 ほぼ変化はない



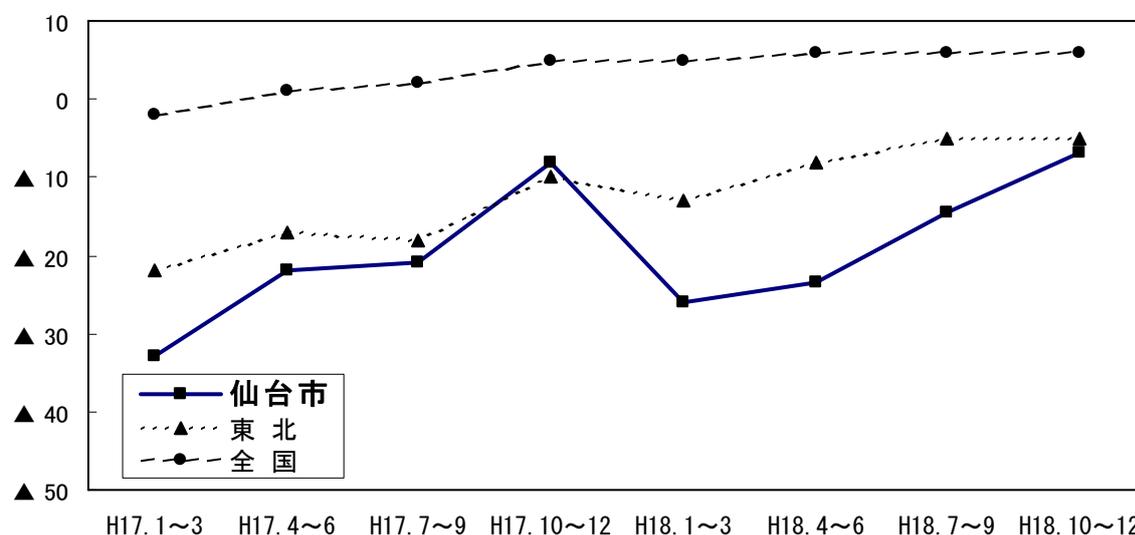
悪化状況にある

※DI = 「上昇」と答えた事業所の割合(%) - 「下降」と答えた事業所の割合(%)  
 ※表中の前期はH18年4～6月、今期はH18年7～9月、来期はH18年10～12月をあらわす。  
 →調査結果の詳細については資料編のP33参照

## ②仙台市、東北、全国の業況判断DIの比較

仙台市の業況判断DIは、今期（平成18年7～9月）については、前期（平成18年4～6月）に比べ、9ポイントの上昇となっている。来期（平成18年10～12月）の見通しは、全国、東北では横ばいと捉えられており、仙台市では上昇すると捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断DI比較（全業種）



※H18.10~12については見通し

全国地域別の業況判断DI

全業種	地域	17/6月	17/9月	17/12月	18/3月	18/6月	18/9月		18/12月
							18/6月比 ポイント差	予測	
全業種	仙台市	▲ 22	▲ 21	▲ 8	▲ 26	▲ 24	▲ 15	9	▲ 7
	東北	▲ 17	▲ 18	▲ 10	▲ 13	▲ 8	▲ 5	3	▲ 5
	全国	1	2	5	5	6	6	0	6

※DI = 「上昇」と答えた事業所の割合(%) - 「下降」と答えた事業所の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。▲はマイナスを表す。

※仙台市については本調査における**事業所の景気DI値**（→P7参照）

※東北については、日銀仙台支店発表によるDI値。

※全国については、日銀全国企業短観調査（平成18年9月）におけるDI値。

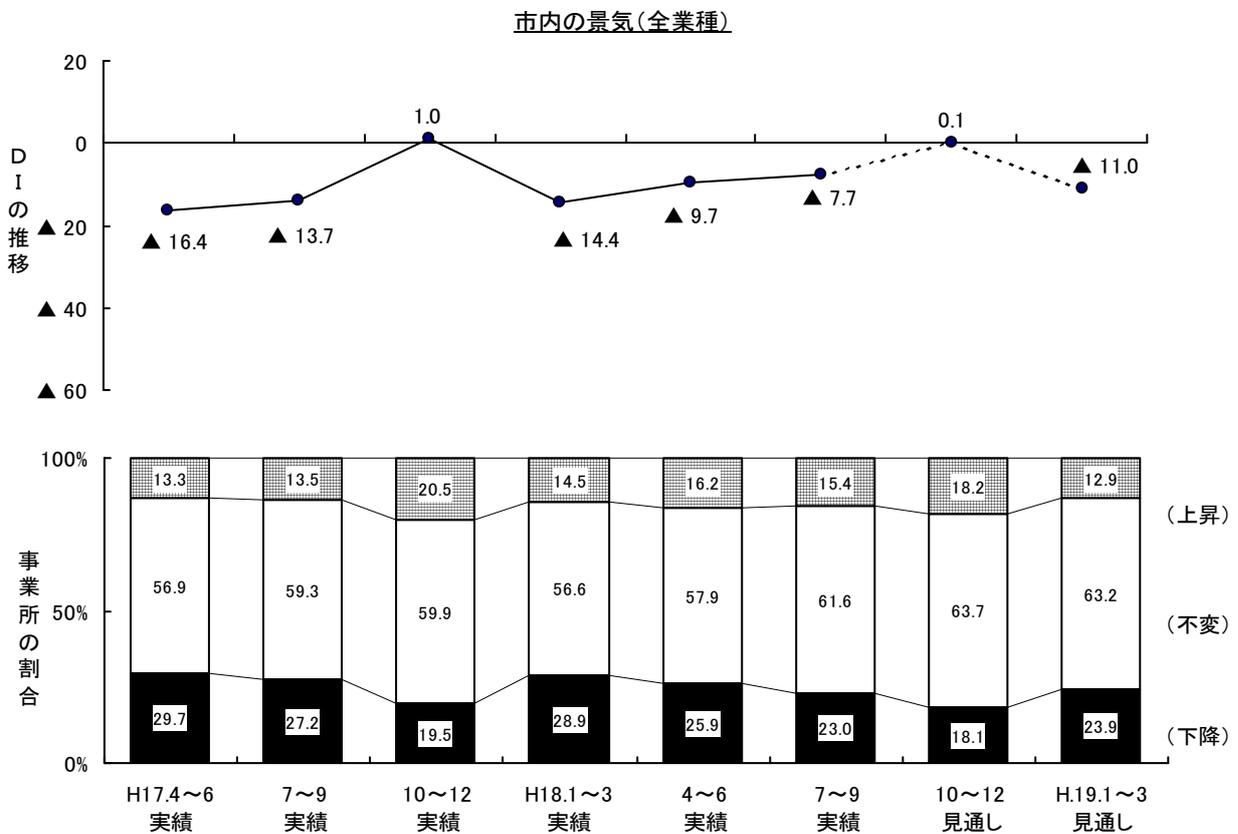
### 3. 企業経営動向調査（DI）結果の概要

※用語の説明については目次下参照

#### 設問 1 - 1 市内の景気

市内の景気のDIは▲7.7(前期比+2.0)と上昇した。来期は0.1とプラスに転じ、市内の景気のDIは上昇すると見込まれている。業種別で見ると、小売業、飲食店、不動産業を除くすべての業種で市内の景気のDIは上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P31参照



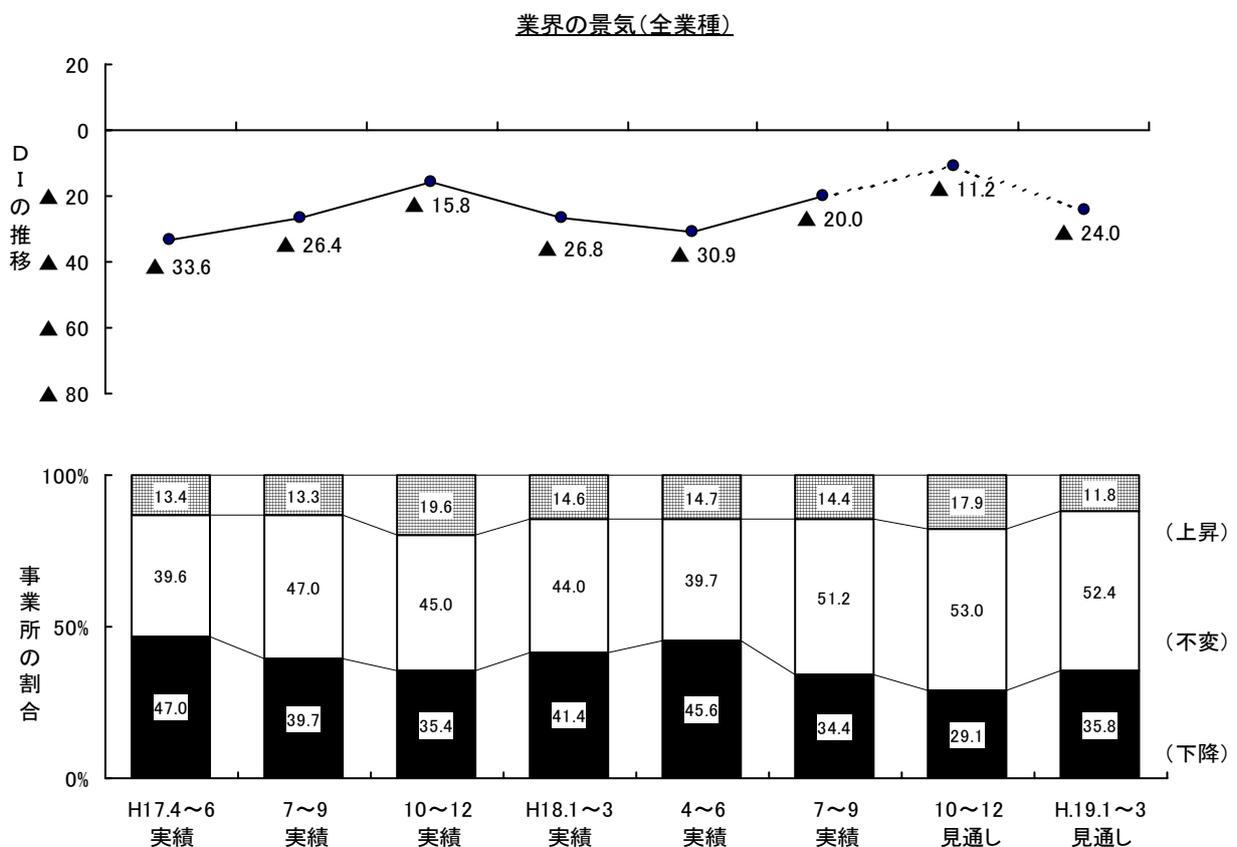
市内の景気のDI（「上昇」と答えた事業所の割合－「下降」と答えた事業所の割合）は今期実績で▲7.7と、平成18年6月調査（以下、前回調査）時の4月～6月期実績（以下、前期実績）DIの▲9.7と比べ上昇した。前回調査時の平成18年7月～9月期見通し（以下、今期見通し）DIが▲0.6であったことから、市内の景気のDIは、予想ほどではないが上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで0.1と上昇し、来々期見通しでは▲11.0と下降するものと見込まれている。

## 設問 1 - 2 自社の属する業界の景気

業界の景気の DI は▲20.0（前期比+10.9）と上昇した。来期も業界の景気の DI は上昇すると見込まれている。業種別で見ると、飲食店、不動産業はほぼ横ばい、それ以外の業種では業界の景気の DI は上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P32 参照



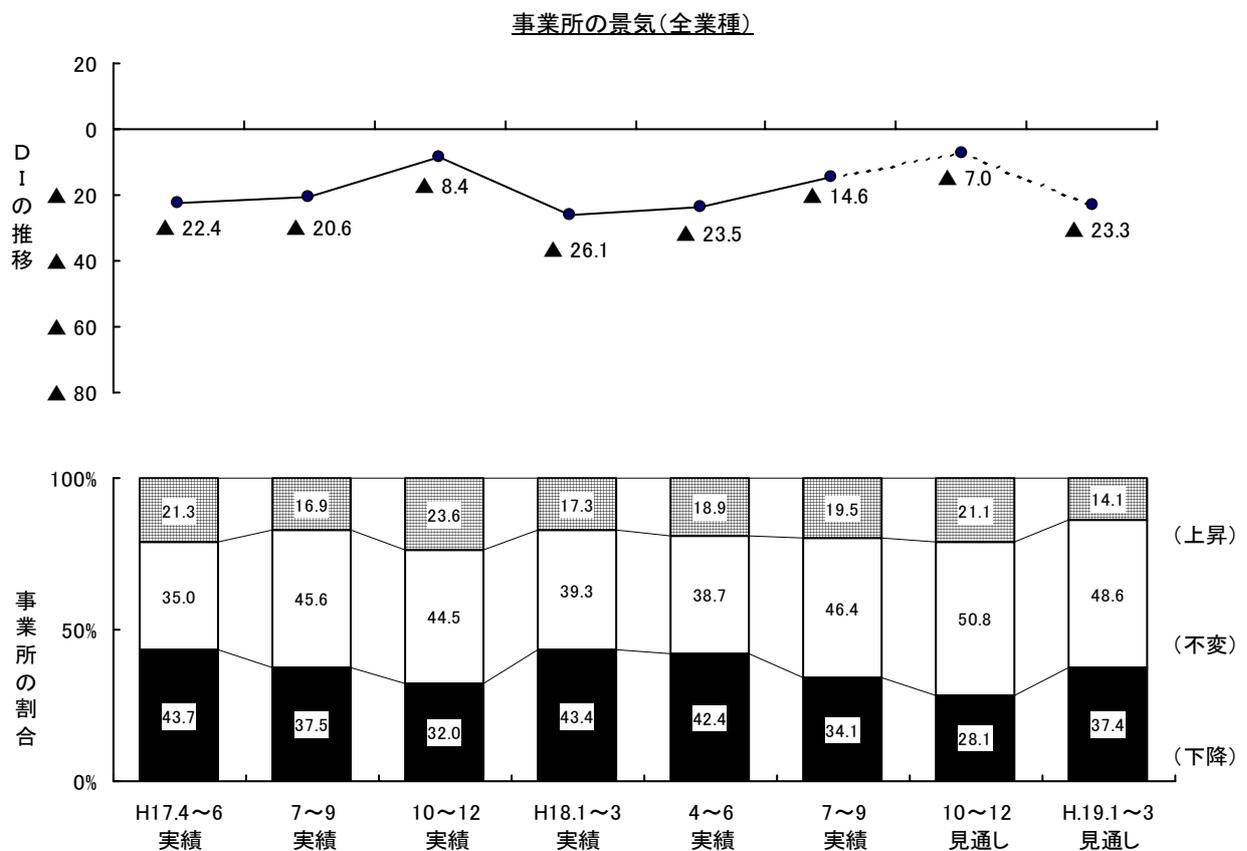
自らが属する業界の景気のDI（「上昇」と答えた事業所の割合－「下降」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲20.0と、前期実績DIの▲30.9と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが▲18.8であったことから、業界の景気のDIは予想ほどではないが上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで▲11.2と上昇し、来々期見通しでは▲24.0と下降するものと見込まれている。

設問 1 - 3 自社（事業所）の景気

事業所の景気のDIは▲14.6（前期比+8.9）と上昇した。来期は、さらに事業所の景気のDIは上昇すると見込まれている。業種別で見ると、飲食店、不動産業を除くすべての業種で事業所の景気のDIが上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P33 参照



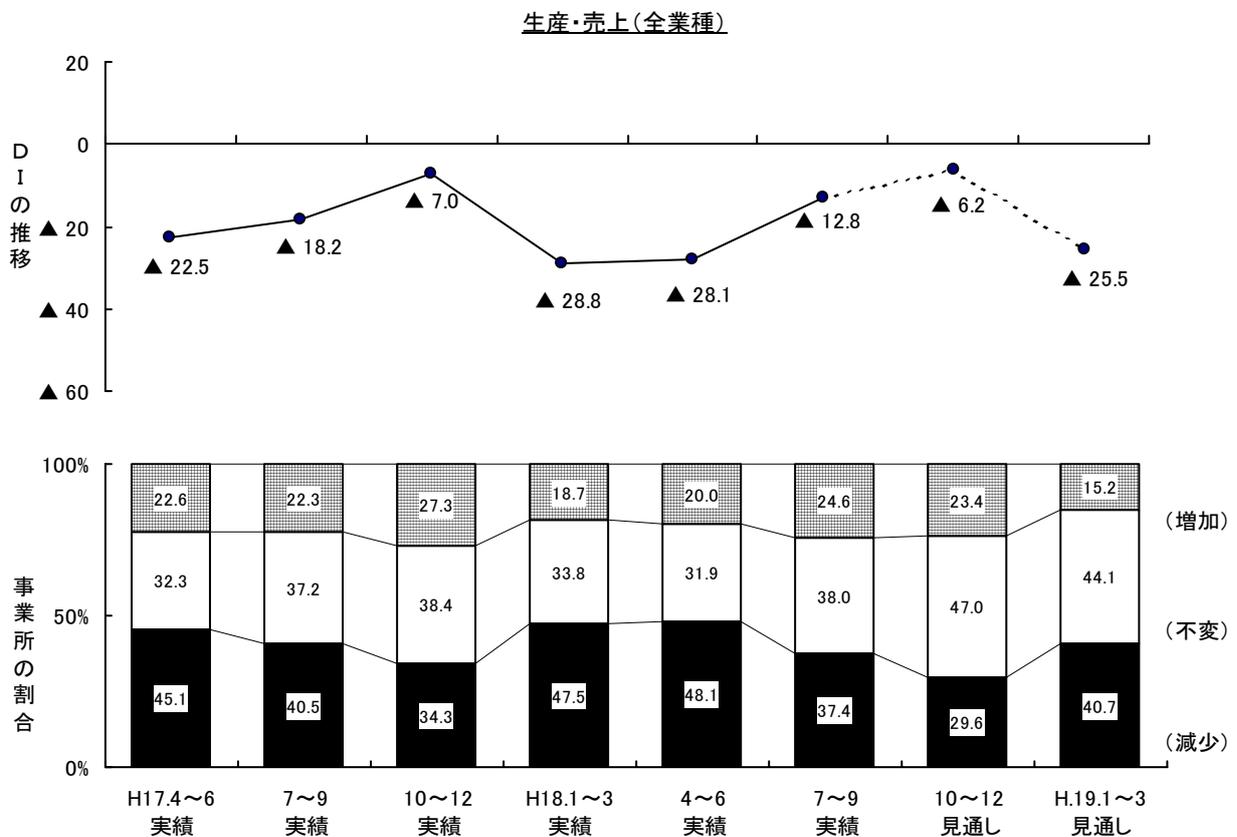
自社（事業所）の景気のDI（「上昇」と答えた事業所の割合－「下降」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲14.6と、前期実績DIの▲23.5と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが▲14.7であったことから、事業所の景気のDIは、ほぼ予想通り上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで▲7.0と上昇し、来々期見通しでは▲23.3と下降するものと見込まれている。

設問 2-1 生産・売上

生産・売上の DI は▲12.8（前期比+15.3）と上昇した。来期の生産・売上の DI は上昇すると見込まれている。業種別で見ると、飲食店を除くすべての業種で生産・売上の DI が上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP28、P34 参照



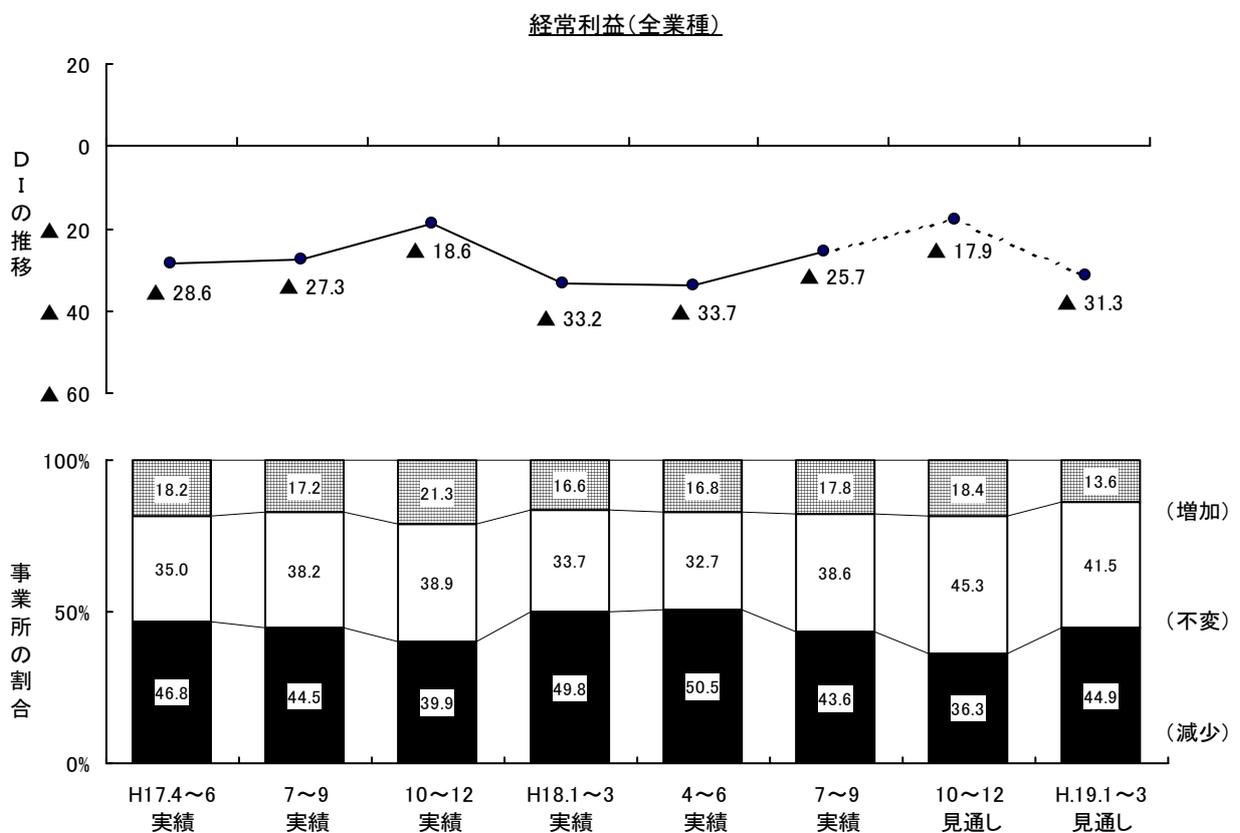
生産や売上の DI（「増加」と答えた事業所の割合－「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲12.8 と、前期実績 DI の▲28.1 と比べ大幅に上昇している。前回調査時の今期見通し DI が▲13.8 であったことから、生産・売上の DI は、ほぼ予想通り上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで▲6.2 と上昇し、来々期見通しでは▲25.5 と下降するものと見込まれている。

設問 2-2 経常利益

経常利益のDIは▲25.7（前期比+8.0）と上昇した。来期は経常利益のDIが上昇すると見込まれている。業種別で見ると、小売業、飲食店、不動産業で下降したが、これら以外の業種では経常利益のDIが上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP28、P35 参照



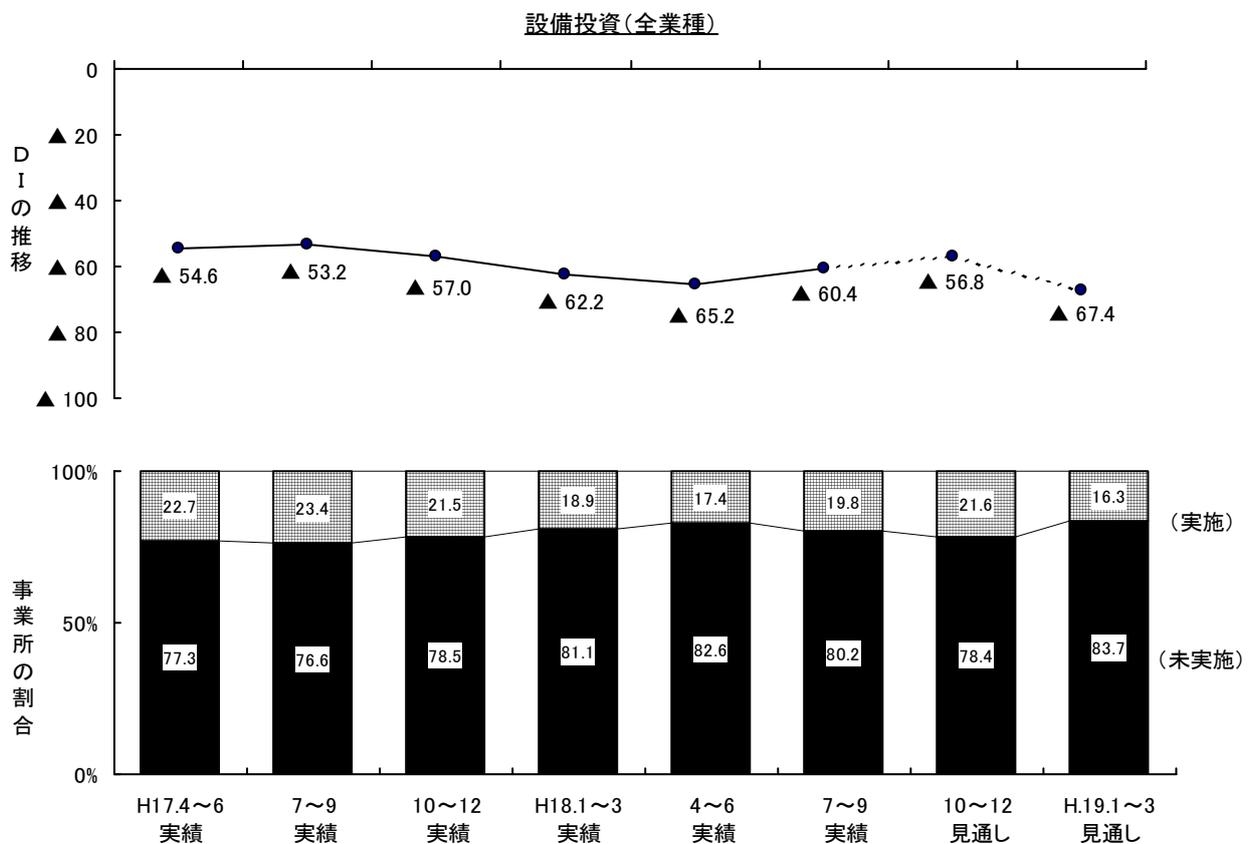
経常利益DI（「増加」と答えた事業所の割合－「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲25.7と、前期実績DIの▲33.7と比べ上昇している。前回調査時の今期見通しDIが▲22.2であったことから、経常利益のDIは予想ほどではないが上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで▲17.9と上昇し、来々期見通しでは▲31.3と下降するものと見込まれている。

## 設問 3-1 設備投資

設備投資を実施している事業所は 19.8% (前期比+2.4) とやや増加した。来期も設備投資を計画している事業所はやや増加すると見込まれている。業種別で見ると、建設業で減少、製造業、運輸・通信業で横ばい、これら以外の業種では設備投資が増加している。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP28、P36 参照



※設備投資DIは「実施」と答えた事業所の割合－「未実施」と答えた事業所の割合

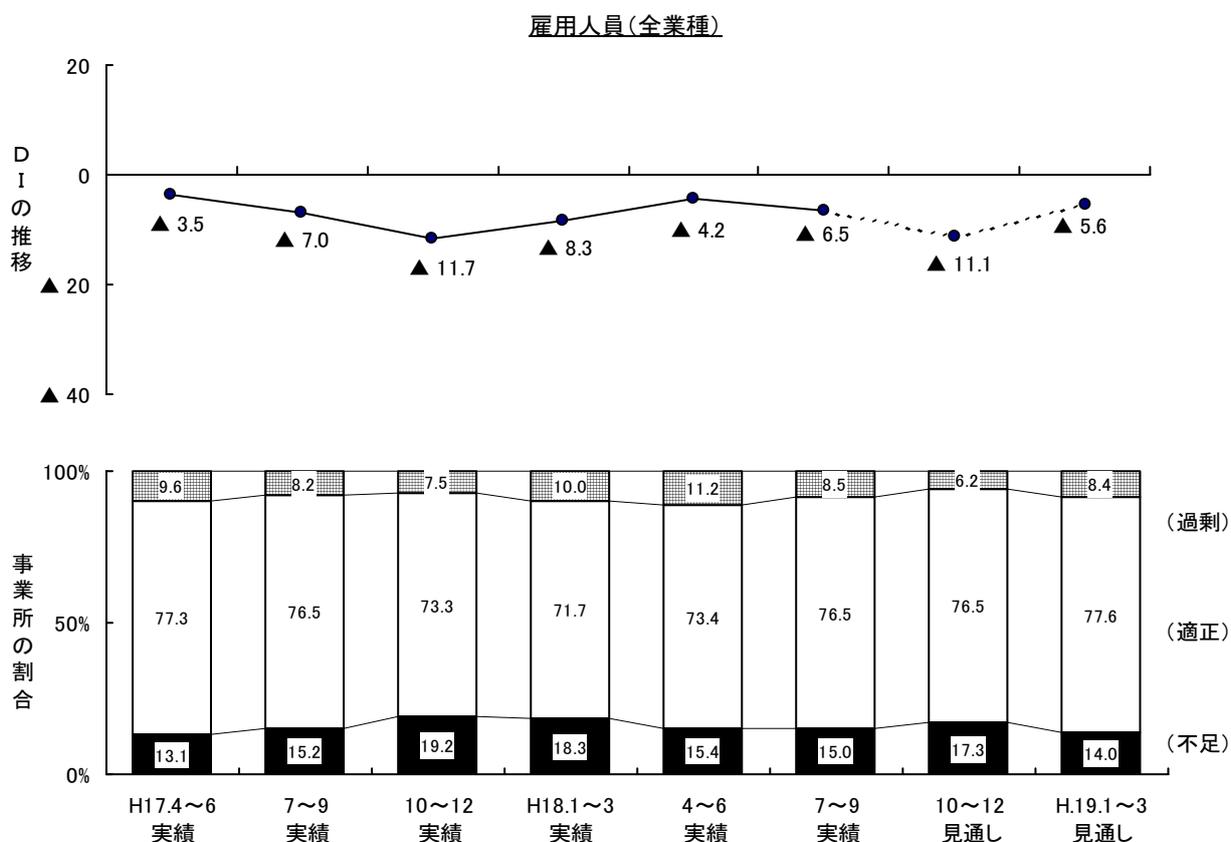
各事業所の設備投資の実施状況や計画をみると、今期実績で 19.8%の事業所が何らかの設備投資を実施している。前回調査では、今期設備投資を計画していた事業所が 16.3%であったことから、今期実際に設備投資を実施した事業所の割合は、予想以上に増加している。

今後の見通しは、何らかの設備投資を計画している事業所は、来期見通しで 21.6%とやや増加し、来々期見通しでは 16.3%と減少すると見込まれている。

設問 4 - 1 雇用人員

雇用人員のDIは▲6.5（前期比▲2.3）と下降した。来期は、さらに下降すると見込まれている。業種別で見ると、雇用人員のDIは、製造業、サービスを除くすべての業種で下降したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P37 参照



雇用人員のDI（「過剰」と答えた事業所の割合－「不足」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲6.5と前期実績DIの▲4.2と比べ、下降している。前回調査時の今期見通しDIが▲6.9であったことから、雇用人員のDIはほぼ予想通り下降していると捉えられている。

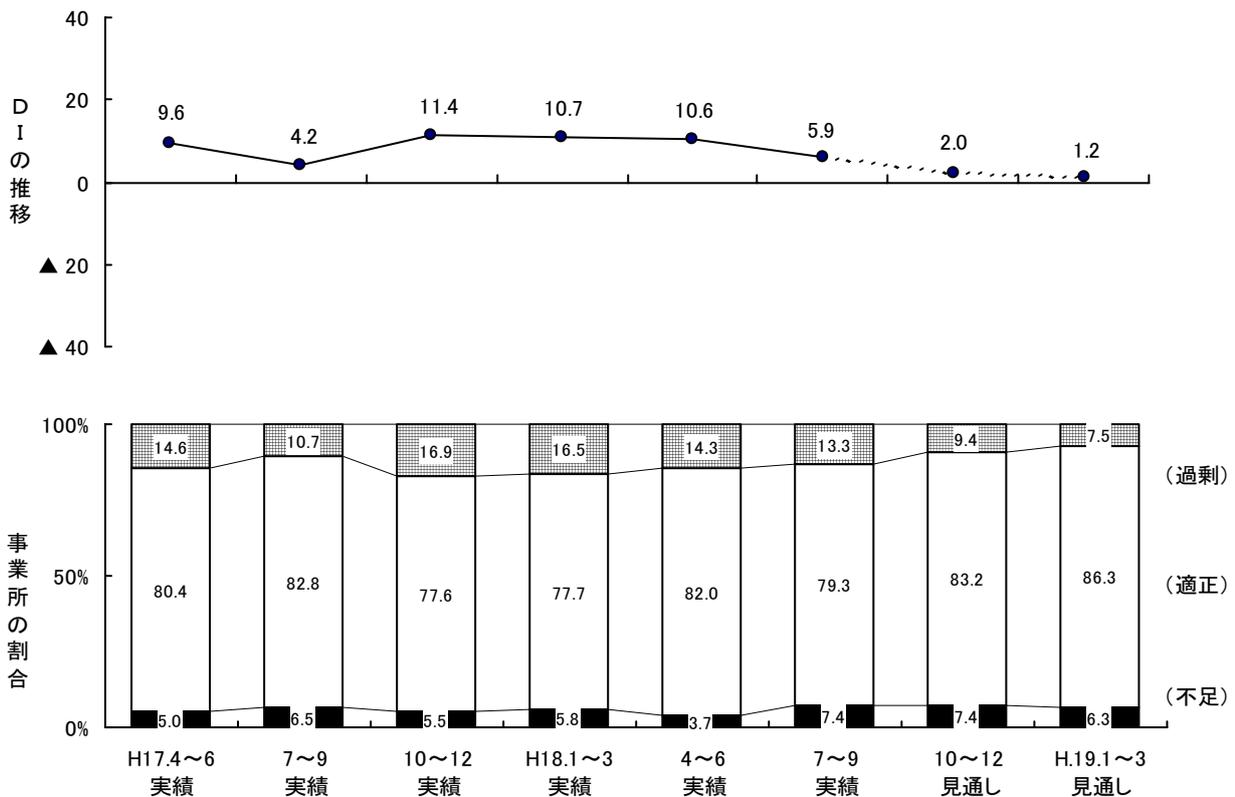
今後の見通しは、グラフのとおり、来期は適正と答えた事業所の割合は横ばい、同様に来々期も、適正と答えた事業所の割合がほぼ横ばいになると見込まれている。

## 設問 4-2 製（商）品在庫

製（商）品在庫のDIは5.9（前期比▲4.7）と下降している。来期も製（商）品在庫のDIは下降するものと見込まれている。業種別でみると、建設業以外のすべての業種で製（商）品在庫のDIは下降したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P38 参照

製（商）品在庫（全業種）



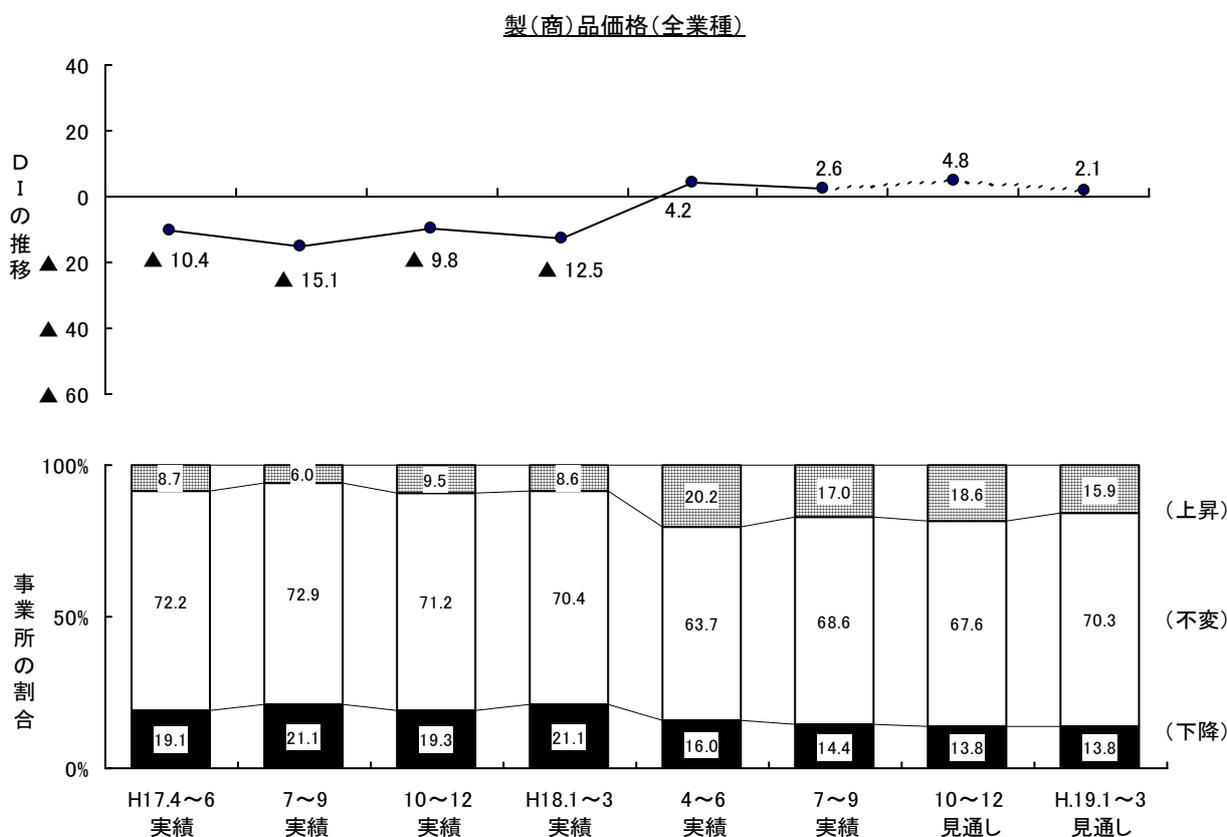
製（商）品在庫のDI（「過剰」と答えた事業所の割合－「不足」と答えた事業所の割合）は、今期実績で5.9と、前期実績DIの10.6と比べ下降している。前回調査時の今期見通しDIが2.5であったことから、製（商）品在庫のDIは予想ほどではないが下降したと捉えられている。

今後の見通しは、グラフのとおり、来期、来々期ともに適正と答えた事業所の割合が高まると見込まれている。

設問 4 - 3 製(商)品価格

製(商)品価格のDIは2.6(前期比▲1.6)と下降したもののプラスを維持している。来期は製(商)品価格のDIはやや上昇すると見込まれている。業種別で見ると、製造業、運輸・通信業、小売業、不動産業、サービス業で製(商)品価格のDIが上昇している。これら以外の業種では下降している。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P39参照



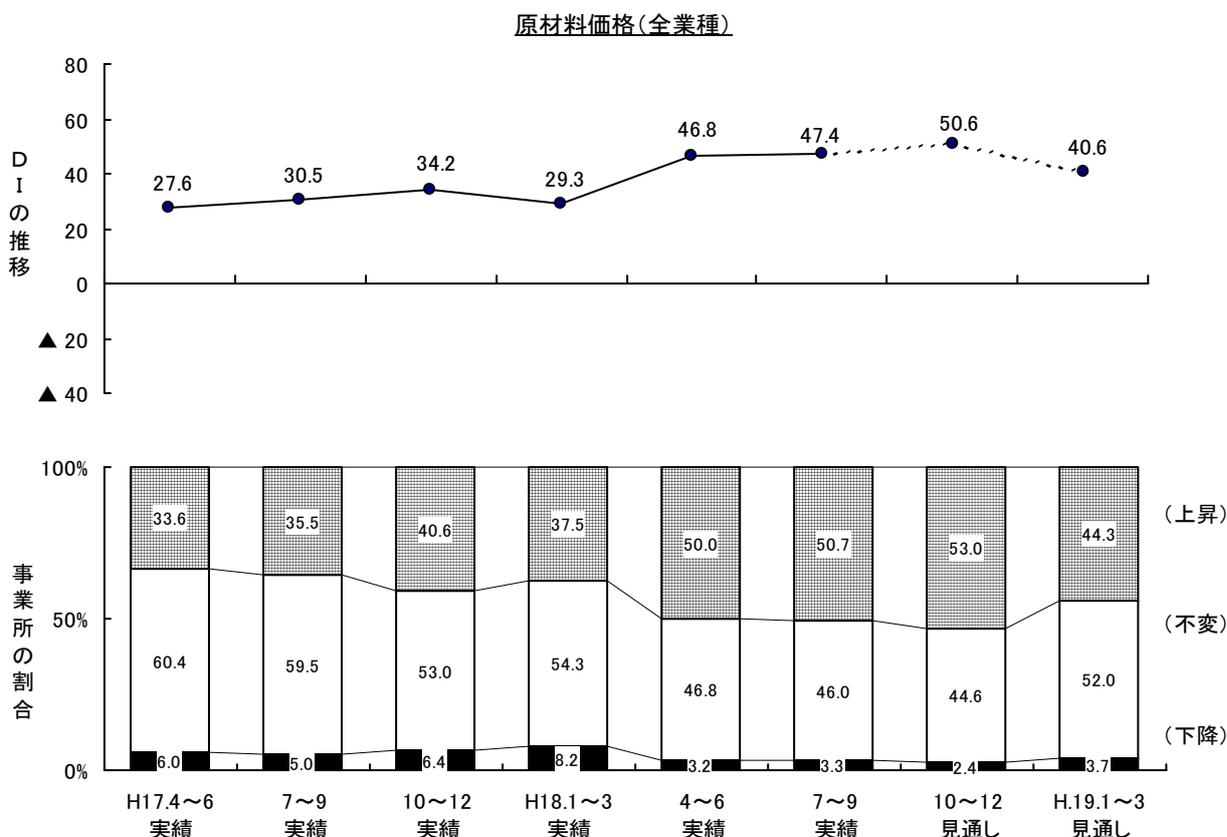
製(商)品価格のDI(「上昇」と答えた事業所の割合-「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で2.6と、前期実績DIの4.2と比べ下降したもののプラスにとどまった。前回調査時の今期見通しDIが▲1.5であったことから、製(商)品価格のDIは、ほぼ予想通り下降したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで4.8とやや上昇、来々期見通しでは2.1と、やや下降するものと見込まれている。

設問 4 - 4 原材料(仕入)価格

原材料(仕入)価格のDIは47.4(前期比+0.6)とほぼ横ばいとなっている。来期は原材料(仕入)価格のDIはやや上昇すると見込まれている。業種別で見ると、小売業、サービス業では下降し、これら以外の業種では原材料(仕入)価格のDIが上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP30、P40 参照



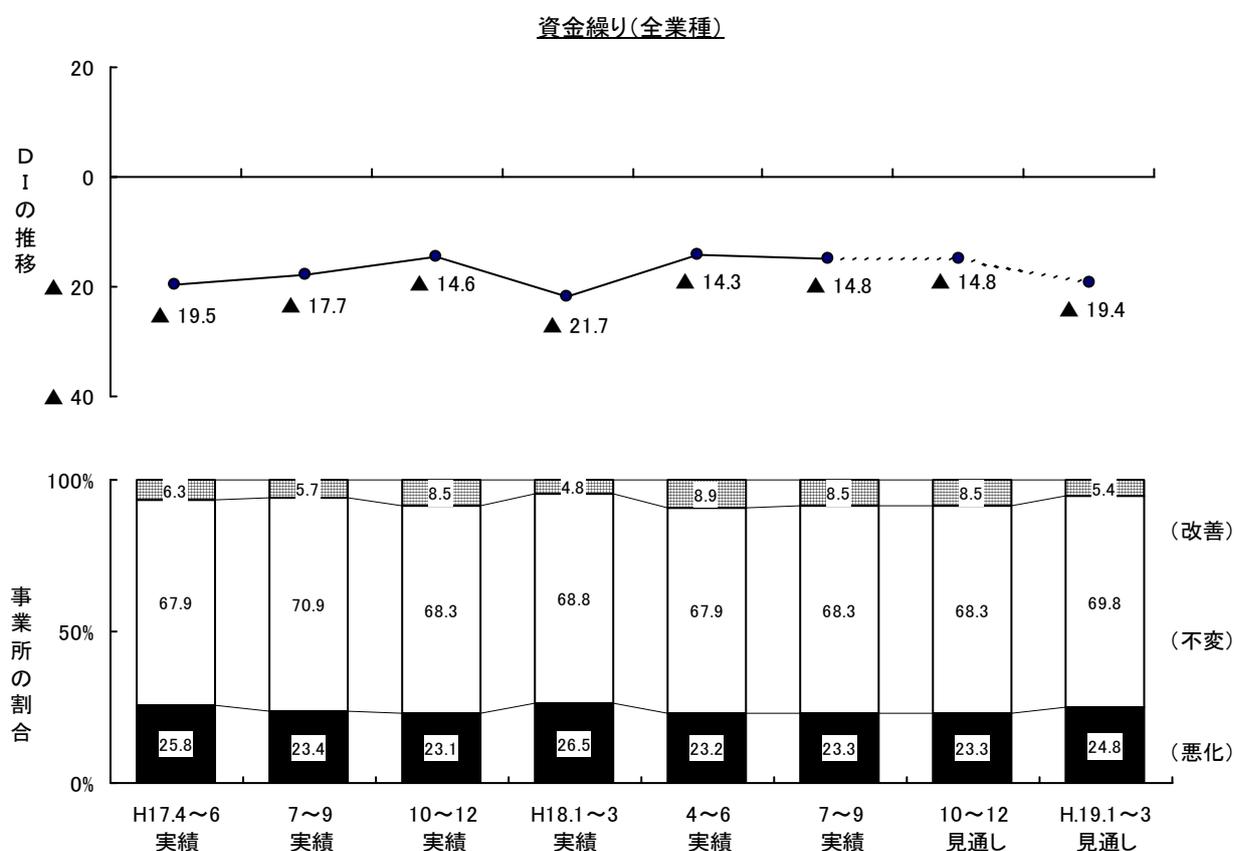
原材料(仕入)価格のDI(「上昇」と答えた事業所の割合-「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で47.4と、前期実績DIの46.8とほぼ横ばいで推移した。前回調査時の今期見通しDIが46.4であったことから、原材料(仕入)価格のDIについては、ほぼ予想通り横ばいであったと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで50.6とやや上昇し、来々期見通しは40.6と下降するものと見込まれている。

設問 4-5 資金繰り

資金繰りのDIは▲14.8（前期比▲0.5）とほぼ横ばいとなっている。来期も資金繰りのDIは横ばいで推移すると見込まれている。業種別で見ると、資金繰りのDIは、建設業、卸売業、飲食店で上昇し、運輸・通信業では横ばい、これら以外の業種では下降している。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP30、P41参照



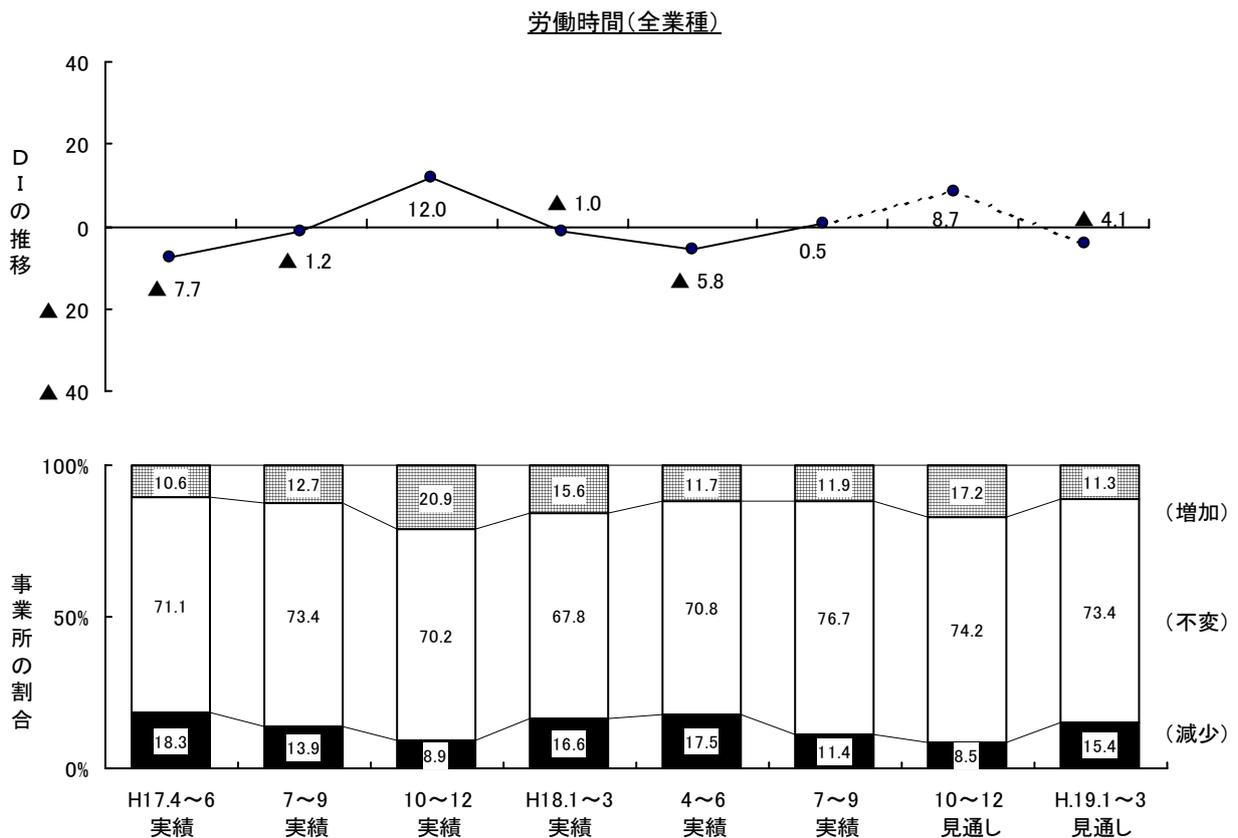
資金繰りのDI（「改善」と答えた事業所の割合－「悪化」と答えた事業所の割合）は、今期実績で▲14.8と、前期実績DIの▲14.3と比べ、ほぼ横ばいとなっている。前回調査時の今期見通しDIが▲16.1であったことから、資金繰りのDIについては、予想したほどの下降はみられなかったと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで▲14.8と横ばいとなっているが、来々期見通しでは▲19.4と、下降するものと見込まれている。

設問 4 - 6 労働時間

労働時間のDIは0.5（前期比+6.3）とプラスに転じ上昇した。来期の労働時間のDIはさらに上昇すると見込まれている。業種別で見ると労働時間のDIは、製造業、建設業、卸売業、サービス業で上昇したと捉えられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP30、P42 参照



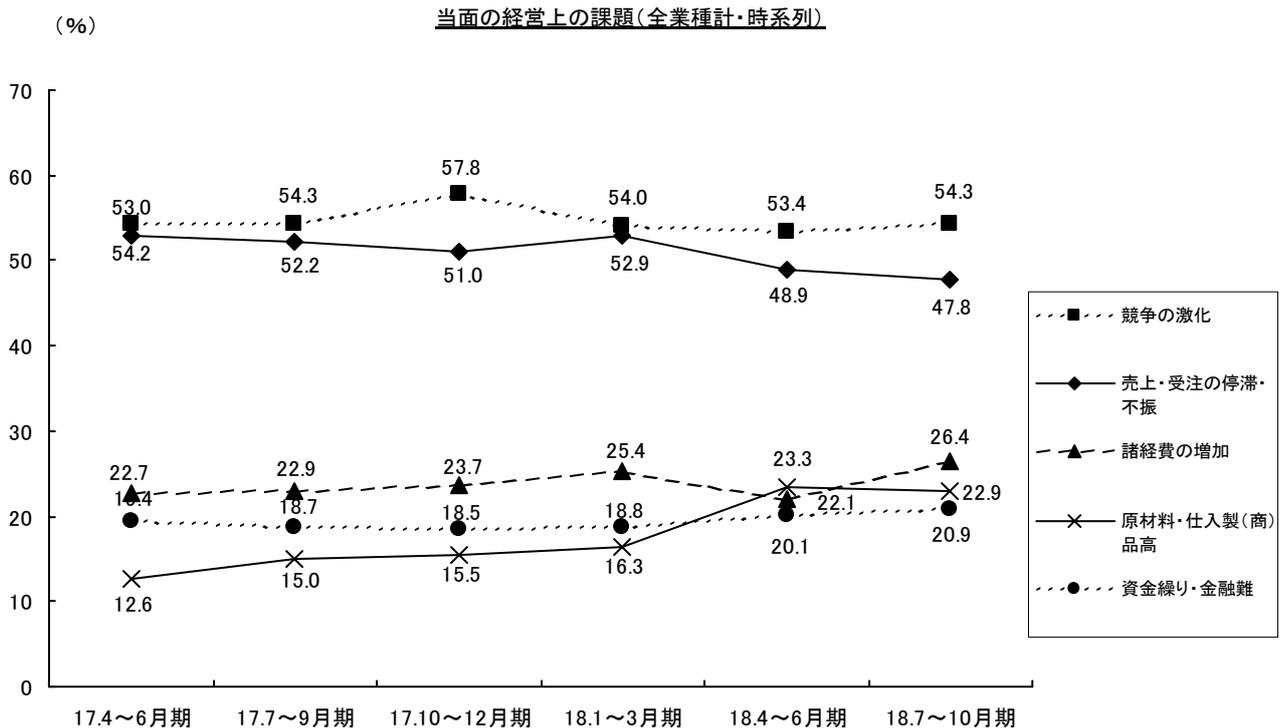
労働時間のDI（「増加」と答えた事業所の割合－「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で0.5とプラスに転じ、前期実績DIの▲5.8と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが▲1.6であったことから、労働時間のDIは、予想よりも上昇したと捉えられている。

今後の見通しは、来期見通しで8.7と上昇し、来々期見通しでは▲4.1と下降すると見込まれている。

## 設問5 経営上の課題

経営上の課題としては、「競争の激化」「売上・受注の停滞・不振」「諸経費の増加」が上位にランクされている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP43 参照



当面の経営上の課題を3つまで選んでもらったところ、全業種では、前期同様「競争の激化(54.3%)」「売上・受注の停滞・不振(47.8%)」の2つを5割前後の事業所が挙げている。以下、「諸経費の増加(26.4%)」「原材料・仕入製(商)品高(22.9%)」「資金繰り・金融難(20.9%)」と続いている。

逡増する「諸経費の増加」は、燃料等の値上がりによるものと推測され、同様に増加傾向にある「原材料・仕入製(商)品高」と併せ、原油価格上昇の影響と考えられる。

## 4. 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 18 年 9 月 20 日～10 月 2 日  
調査対象：仙台市内の主な事業所 30 社  
調査方法：仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団職員の面接による聞き取り

### [製造業]

製造業の景気（自業界）DI は、平成 18 年 4 月～6 月期実績（以下、前期実績）の▲24.3 から、平成 18 年 7 月～9 月期実績（以下、今期実績）▲16.2 と改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、商品価格 DI は上昇し改善した。設備投資 DI、資金繰り DI は下降し悪化した。製（商）品在庫 DI は下降し過剰感が弱まった。原材料価格 DI は上昇し悪化した。雇用人員 DI は上昇し不足感が弱まった。労働時間 DI は上昇し減少傾向が弱まった。

**酒類製造業** 酒類全般を広く製造するこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。焼酎業界には伸びがみられる。酒類業界では、競争の激化が以前から課題としてあげられているが、この事業所では生産部門と営業部門を、関連会社と統合するなど、合理化を進めてきたこともあり、安定している。設備投資についても計画的に実施している。原油価格の高騰に伴う原材料費の上昇が、現在の課題と捉えている。

**電機機械器具製造業** 電磁コイル製造、制御版・操作盤製造のほか、各種モーターのメンテナンスを行うこの事業所では、景気は上向いていると捉えている。下半期は、上半期に比べ公共事業等の発注が増える時期であるので、11 月から 3 月頃にかけて売上げが伸びるものと予想している。しかし、コイルの材料である銅や、燃料のガソリンの値上がりで利益が出にくい状態。このため資金繰りが難しい。繰り金利の上昇で借入れの負担が大きくなることに不安を感じる。

**電機機械器具製造業** 製麺機械などの修理を手掛けるこの事業所では、景気は悪いと捉えている。この事業所が行うようなメンテナンスや修理は、現在は機械メーカーが行うことが多いため、当事業所への修理依頼は激減している。家族による経営を行っているこの事業所では、以前には他企業の下請け業務を行ったことがあるが、現在は直接の依頼による仕事だけを行っている。修理業のため、仕入や在庫ではなく、資金繰りの問題はない。このままの規模で事業を継続していきたい考えであるが、インターネットによる広告などの活用により顧客を少しでも増やすことには関心があり、今後検討していきたい。

**印刷業** 主に大学や行政機関、各種団体関係の印刷物を取扱うこの事業所では、景気は極めて悪いと感じている。官公庁の発注価格が下がり、利益が出ない状況。一方で、紙の価格は上がっている。メーカーからの値上げ要請もある。このような状況の中で、在庫の紙を持たない、残業をしないため業務を効率化するなどの工夫を行っている。

**その他のプラスチック製品製造業** 生活用品の企画、製造、販売を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。しかしながら、下半期にかけて上昇してくるものと見込んでいる。原材料価格の高騰によるコストアップ分を出荷価格に転嫁する必要があったが、取引先との関係があるため、価格の引き上げには 3 ヶ月近くかかった。しかし、最近の原材料価格の上昇は急激であり、売上げの増が利益増加に反映するには至っていない。この事業所では、物流コストを最小化するために、製造工場の配置などに工夫を行っている。

#### [建設業]

建設業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲50.6 から今期実績では▲21.4 と改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、資金繰り DI は上昇し改善した。設備投資 DI、商品価格 DI は下降し悪化した。製（商）品在庫 DI は上昇した。原材料価格 DI は上昇し悪化した。雇用人員 DI は下降し、労働時間 DI は上昇した。

**塗装工事業** 防水工事、防蝕工事、塗装工事を手掛けるこの事業所では、景気は悪いと捉えている。公共事業の減少に加え、民間の大型工事も、地元企業ではなく中央資本の大手企業が受注することが多い。また、工事で認められている労務単価が低く抑えられており、実際の工事に要する人件費との開きが大きいいため、利益は減少している。原油価格高騰の影響により、塗料が約 5 割値上がりし原材料費の負担も大きい。このような状況の中、この事業所では、独自の塗装技術を用いた防水・防蝕工事で信頼を得ている。公共工事の発注方法を見直すことで、優れた技術を持つ地元企業が工事に参入しやすい仕組みがあれば良いと考えている。

**電気工事業** 電気設備の設計、施工、保守を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。売上げ実績ではバブル期と比較すると約 3 割減少しており、その後は横ばいか、低下気味に推移している。また、原材料の値上がり等で経費がかさんでいる分、利益は減少している。このような中で、部材の在庫は大量にあってもすぐに使い切るので、あえて安いときにまとめ買いすることにより、経費負担の軽減を図っている。

#### [運輸・通信業]

運輸・通信業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲42.2 から今期実績では▲33.4 と改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、設備投資 DI、製（商）品価格、資金繰り DI は上昇し改善した。製（商）品在庫 DI は下降した。原材料価格 DI は上昇し悪化した。雇用人員 DI、労働時間 DI は下降した。

**鉄道業** 鉄道による石油やビールの運搬を行うこの事業所では、景気はやや上昇傾向にあると捉えている。景気は天候に大きく左右される。今年の夏は 8 月に暑くなったので、ビールの売上げが好調であった。現在は、トラックとの競争が激しくなっており、値下げ競争を行う状況である。当事業所では、「環境にやさしい」ことや、速く大量に、しかも定時制があることを PR している。また今後、業務内容の拡大は行わない方針であるが、売上げ・利益向上を目指し取り扱い量を増やす努力を行っていく。

**一般乗用旅客自動車運送業** タクシーの運行業務を行うこの事業所では、規制緩和の影響によりタクシー台数が大幅に増加した影響で、景気は非常に厳しい状況にあると捉えている。また、タクシーの台数が過剰な中で売上げ・利益とも減少傾向にあり、現在は最盛期の半分以下に落ち込んでいる。また、最近では燃料の LPG 価格もガソリン価格と合わせて上昇している。このような中であって、この事業所では、アイドリング・ストップの徹底によるコスト削減や、顧客満足向上のための運転手教育を行い、収益増に努めている。

**旅行業** 旅行商品、旅行用品の販売のほか、損害保険の取り扱いを行うこの事業所では、景気については、ほぼ横ばいであると捉えている。団体からの受注が主であるが、団体の景気が思わしくないと、事業所の景気も影響を受ける。また最近では、インターネットの普及で、消費者が商品の価格を自分で調べられるようになったことから、業界では価格競争が激化しており、売上げは伸び悩んでいる。今後は、元気な団塊の世代をターゲットに、ハワイでのゴルフツアー旅行など、旅行者の趣味に合わせた企画を行っていく。

#### [卸売業]

卸売業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲22.1 から、今期実績では▲17.2 と改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、設備投資 DI、資金繰り DI は上昇し改善した。製（商）品価格 DI は下降し悪化した。製（商）品在庫 DI は下降した。原材料価格 DI は上昇し悪化した。雇用人員 DI、労働時間 DI は下降した。

**食料・飲料卸売業** コーヒー豆を始めとする飲料関連商品を取扱うこの事業所では、卸は苦戦しているものの店舗売上げは好調であり、景気は悪くはないと捉えている。しかしながら、取り扱い商品が輸入品のため、仕入価格は燃料の原油高の影響を受けて上がっている。また、包装資材も、軒並み値上がりしている。8月に商品を値上げしたが、客数・客単価ともに減少はしていない。数年前からネットショップを始めたところであり、今後は業者向けの卸も、一般ユーザー向けの小売も、ともに売上げ増に向けた取り組みを行う。

**化学薬品卸売業** 濾過・滅菌装置等の浄水機器、薬注入装置、純水製造装置の販売を行うこの事業所では、景気については大きな変化はないと捉えている。売上、利益ともに大きな変化はない。創業して30年、これまで井戸水を使う施設には塩素注入装置、ポイラーに使用する純水製造装置などを販売してきた。以前は県外へも営業していたが、水道が普及してからは、販売先は固定している。

**他に分類されない卸売業** 紙及び紙製品全般、包装資材全般の販売を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。この数年、印刷業界は不振が続いており、これに伴って印刷業界に紙を供給する紙業界も不振である。原油価格高騰の影響で原材料は値上がりしているが、仕入価格の上昇分をすべて製品価格に転嫁することはできない。製紙業界は、今後系列化が進むことが予想されるため、仙台圏の紙卸業では中堅企業である当事業所では、数年先を見通した準備を進めていく。

**その他の卸売業** オフィス家具、物置等の生産販売を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。新規参入もなく安定しており、この状態はしばらく続くとみている。原材料の鉄・鋼板の価格は、値上がり前と比べ約2倍になっている。そこで当事業所では、製品の設計見直しを行い、品質の維持・向上に努めている。需要がほぼ一定の中では、大幅な売上げ増は難しいが、収益をあげていくためには、新製品開発やコストダウンに積極的に取り組んでいく。

**その他の卸売業** 主に印刷会社向けのプラスチックフィルムを販売するこの事業所では、景気はおおむね良好と捉えている。仕入価格は上昇しているが、過去の石油ショックの頃の、2/3程度に収まっているのではないかと。当事業所では、自社の経営努力による結果、業界で信頼を得ている。営業エリアは新潟を含む東北7県であるが、近年は北海道、関東、名古屋での取引も行っている。しかし、売上げを伸ばすことよりも、経費削減による差益を重視している。そこで、在庫は極力持たない、光熱水費の無駄を省く、業務を時間内に行うなど、経費節減の取り組みを進めている。また、会社は社員があってこそとの考えの下、人材育成や福利厚生には力を入れている。

#### [小売業]

小売業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲27.4 から、今期実績では▲21.8 と改善した。生産・売上 DI、設備投資 DI、製（商）品価格 DI は上昇し改善した。経常利益 DI、資金繰り DI は下降し悪化した。製（商）在庫 DI は下降した。原材料価格 DI は下降し改善した。雇用人員 DI、労働時間 DI は下降した。

**各種食料品小売業** 生鮮食料品を主軸に販売する総合スーパーであるこの事業所では、業界の景気は厳しいものの、事業所としては前年売上げを上回っており、悪くはないと捉えている。流通業界では、大手の再編など 10 年前には考えられない状況にあると認識している。本社の方針で、地域一体を、当事業所を含む複数の店舗でカバーし、他店に対抗する戦略をとっている。そして、地域のニーズに合わせた商品提供を行っていくことを基本としている。このことが、売上げや客数に現れてきている。

**鮮魚小売業** 鮮魚の仕入れ・販売、惣菜類の製造・販売のほか、仕出し弁当の製造・販売を行うこの事業所では、景気はおおむね良好であると捉えている。創業百年以上の古くからの鮮魚店ということもあり、寺社からの法事等に必要仕出し弁当の依頼も多い。店舗全体の売上は、現在は仕出しの比率が高い。店舗での小売の比率は、低くなってきている。小売の顧客は、高齢固定客の少量買いが多い。鮮魚のみの扱いでは消費者ニーズに応えきれないので、自家製の惣菜を常時販売している。客待ちの姿勢では売上げは伸びないので固定客には御用聞きに回り、届けるサービスを行っている。固定客の信用を守るため、大型小売店より高くても常に良いものを揃えるよう心がけている。

**料理品小売業** 企業等の従業員を対象に、弁当の製造・販売を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。原材料等の仕入値が上昇してきており、採算ラインに乗せるのに苦心している。毎年、企業等の経済活動が落ち込む 2 月と 8 月は、売上げも落ち込む。売上げのピークは 7 月頃である。近隣の工事現場へ配達を行っていたが、年内に工事終了となるため、その分の売上げは皆減となる。新規開拓の必要性を強く感じている。主な配達先は近隣の企業や学校等であるが、可能な範囲で老人会などの注文にも応じている。

**自転車小売業** 自転車の販売、修理を行うこの事業所では、景気の状態は厳しいと捉えている。近隣の量販店や大規模専門店が、低価格で幅広い自転車販売を行うようになっており、客は買い物ついでに自転車を買うようになっている。自転車が使い捨て感覚で取扱われるようになっており、当事業所で手掛ける自転車販売・修理は、売上げが伸びていない。大型店では一台あたりの利益は少なくとも大量に販売する戦略があるが、個人店舗ではそのような方法も取れないため、売上げ、利益ともに厳しい。

**医薬品小売業** 医療機関の処方箋により薬を調剤し販売するこの事業所では、景気は非常に厳しい状況にあると捉えている。4 月の改訂により診療報酬が引き下げられ、利益率は落ち込んでいる。客数は増えているが、今後も診療報酬は下がると見込まれ、景気は厳しくなっていくであろう。当事業所は、地下鉄駅に近いこともあり、客数は伸びている。現在は在庫管理に苦心している。薬は大きな単位でしか購入できず、また、それぞれが高価なため、在庫管理が薬局の運営に大きく影響する。当事業所では、近隣の薬局と情報交換をするなど、協力し合っている。また、オムツ等の販売も合わせて行うなど、運営にプラスになることに積極的に取り組んでいる。

#### [飲食店]

飲食店の景気（自業界）DI は、前期実績の▲44.0 から、今期実績では▲43.3 と改善した。設備投資 DI、資金繰り DI は上昇し改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、製（商）品価格 DI は下降し悪化した。製（商）在庫 DI は下降した。原材料価格 DI は上昇し悪化した。雇用人員 DI は下降し、労働時間 DI は上昇した。

**日本料理店** 牛たんなどを使った料理を提供しているこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。肉がスタミナ食であるイメージや、夏場に観光客が集中することで、5月から8月は一年の半分を売り上げる。牛肉の BSE 問題が発生してからは、オーストラリア産を使用しているが、価格変動が大きく、対応に苦慮している。サイドメニューを充実させ、薄利多売で馴染み客を放さないようにしている。

**すし店** 寿司を中心に、会席膳・季節料理を提供しているこの事業所では、景気は依然として厳しい状況にあると捉えている。中国・韓国で魚介類の消費が増えていることにより、原材料の仕入価格は毎年上がっている。この事業所では、仲買との良好な関係を保っており、仕入価格を年間を通じて一定範囲に収めている。最近では、廃業した個店の腕のいい職人が、回転寿司の板前として雇用されている。そのため、回転寿司の技術・品質が飛躍的に向上しており、競争相手として非常に強力なライバルである。事業所では、女性をターゲットとした店づくりや、インターネットの活用により売上増を図っている。

**その他の一般飲食店** ハンバーガーを中心とした各種軽食を提供しているこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。数年前までは客数・売上げ共に東北で一位だったが、現在は売上げは落ちてきている。商店街の通行量がおちてきていること、ドライブスルーの店舗と異なり、当事業所の顧客は主に客単価の高い家族連れよりもサラリーマンや学生が中心である。また、競合するファーストフード店やカフェが増えたことも一因である。低カロリーやヘルシーさなど、女性を意識したメニューや、学生を中心として需要の高い低価格メニューのほか、デザートメニューの強化にも取り組んでいく。

#### [不動産業]

不動産業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲10.8 から、今期実績では▲11.1 と悪化した。生産・売上 DI、設備投資 DI、製（商）品価格 DI は上昇して改善した。経常利益 DI、資金繰り DI は下降して悪化した。製（商）品在庫 DI は下降した。原材料価格 DI は上昇して悪化した。雇用人員 DI、労働時間 DI は下降した。

**建物・土地売買業** 不動産賃貸仲介、不動産管理等を行うこの事業所では、景気は回復が続いていると捉えている。市長・県知事が経済振興に向けたメッセージを発信したことで、地域の期待感が高揚したことが理由のひとつと考えており、同様の話をいろいろな場面で聞いている。不動産は、事業所を新設する前に取得されるので、不動産業界は他の業界よりも先に動きはじめるのが特徴である。大手不動産会社が賃貸業に参入してきたことや、不動産業者の数自体が増えてきたことから、競争は激化している。今後は短期的に大きな資金を調達できるような工夫が必要と考えている。

**不動産代理・仲介業** マンション、アパート等不動産の賃貸・売買仲介を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。一時期よりは仙台市の不動産業界の業況はよくなっていると聞かすが、関東や関西の大手が進出している。小規模の仲介業者には厳しい状況である。賃貸マンション・アパートの経営は、借り手のほうが立場が強く、便利できれいで安くないと借りてが付かない状況である。

#### [サービス業]

サービス業の景気（自業界）DI は、前期実績の▲29.1 から、今期実績では▲9.4 と改善した。生産・売上DI、経常利益DI、設備投資DI、製（商）品価格DI は上昇し改善した。製（商）品在庫DI は下降した。原材料価格DI は下降し改善した。資金繰りDI は下降し悪化した。雇用人員DI、労働時間DI は上昇した。

**自動車修理業** 自動車修理、メンテナンス業務を行うこの事業所では、景気は低迷が続いていると捉えている。現在は、リース外車からの依頼が主になっている。リース外車から要求される工賃の引き下げにも応じなければならないために、厳しい状況が続いている。また、近年、ディーラーやガソリンスタンドをはじめ、自動車を修理する場所が増えてきたため、当事業所のような「まちの修理工場」に車を出す機会は少なくなっているようだ。個人の需要は、昔からの付き合いがある客からの依頼を受ける程度である。

**機械修理業** 医療器械のメンテナンスを行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。近年は小規模の医療機関でも医療機器を導入するようになったため、売上げは増加すると見込んでいる。なお、景気はメーカーの発注状況に大きく影響を受ける。事業所では、給与は年俸制を採っている。毎年 7 月に改訂するが、実際は年俸を下げることはなく、給与増の要望に応じて手当で対応するなどしている。そのため、給与以外の諸経費は増加傾向にある。また、事業所では社員が技術向上のための資格取得を目指すときは事業所から教材を提供し、合格した社員にアドバイスをさせるなど、人材育成に力を入れている。

**公園・遊園地** 市内で営業する大型レジャー施設のひとつであるこの事業所では、景気については大きな変化はないと捉えている。しかしながら、今年は梅雨らしい梅雨になり天候が今ひとつだったため、季節や天候に左右されるこの事業所の売上げは落ち込み傾向であった。入園料の割引利用客が多くなり客単価は低めである。また、近頃はゲームセンター等の複合型レジャー施設が競合しており、中心部から距離のある当事業所は、夜間営業を行っても客足が伸び悩んでいるのが現状である。現在は、お盆休み等、期間限定の夜間営業によりコストとのバランスを考慮している。

**民間放送業** テレビジョン放送を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。広告費がインターネット等、他のメディアに分散し、売上げが低迷している。デジタル対応の設備に対する投資額は相応に大規模であるが、その分毎年の減価償却の計上額が増え、利益も削られている。

**土木建築サービス業** 土地の造成に関する設計一般を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。当事業所では、昔からの付き合いのある客や、その紹介による仕事の依頼がほとんどであり、営業活動は行っていない。客の予算によっては値引きをすることも多いが、以前と比べると値引き幅が多くなり、利益分が少なくなっているように感じる。経費節減のため、機器はリースにするなどの工夫をしている。

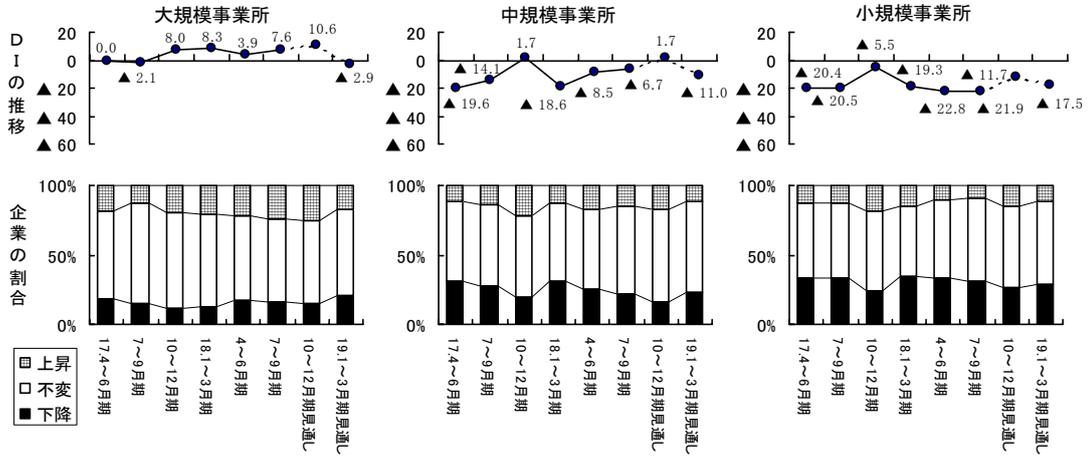
資料編

(1) 企業経営動向調査 (D I) 結果の詳細

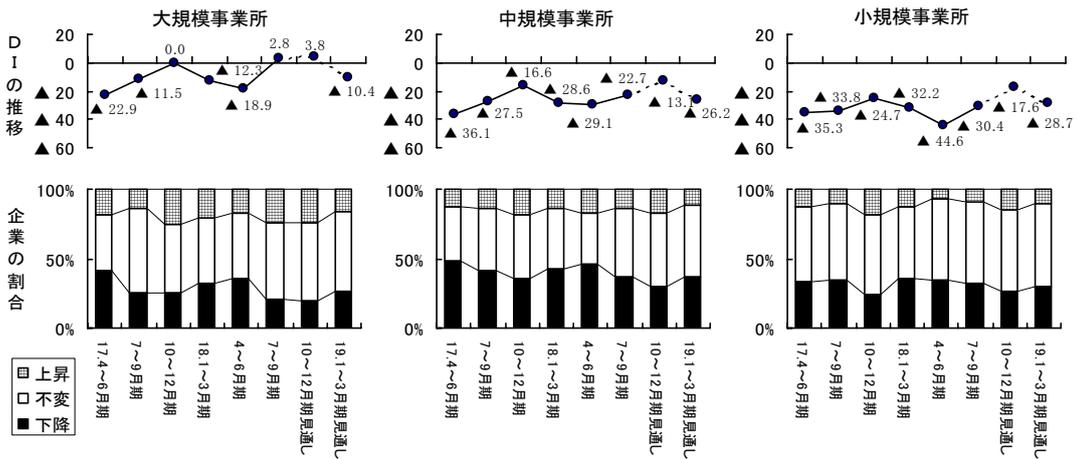
※用語の説明については目次下参照

①規模別 D I

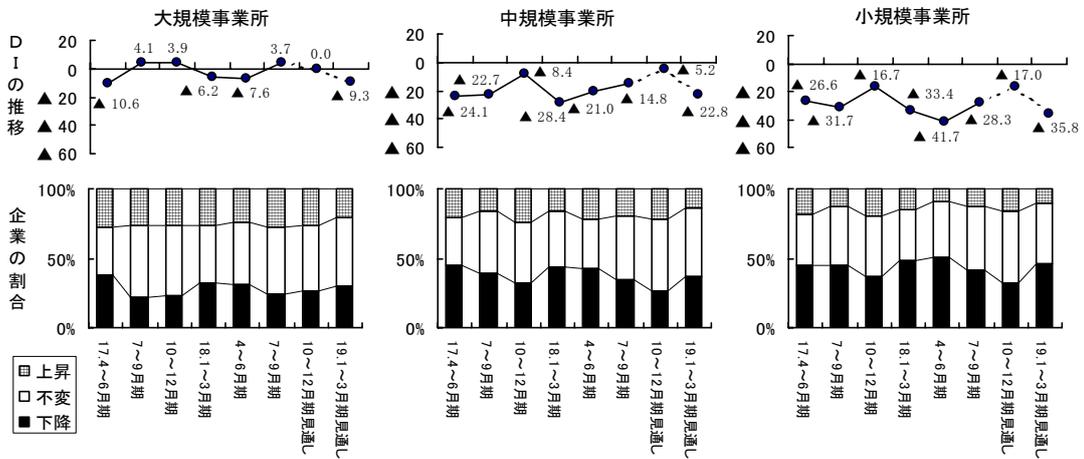
設問1-1 市内の景気



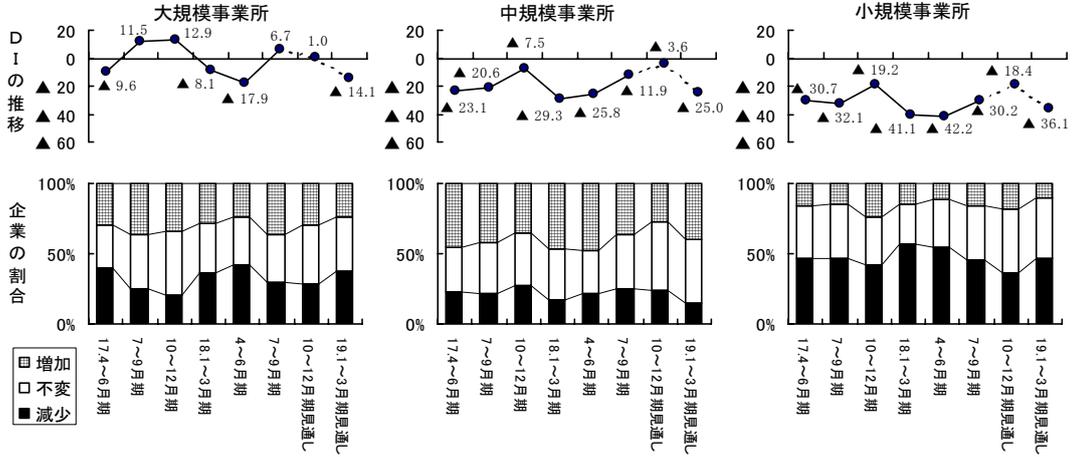
設問1-2 業界の景気



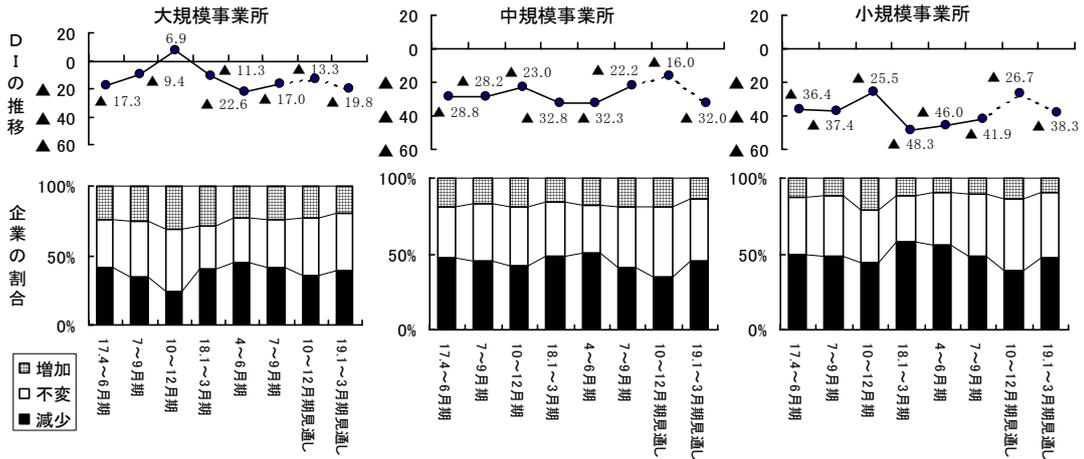
設問1-3 事業所の景気



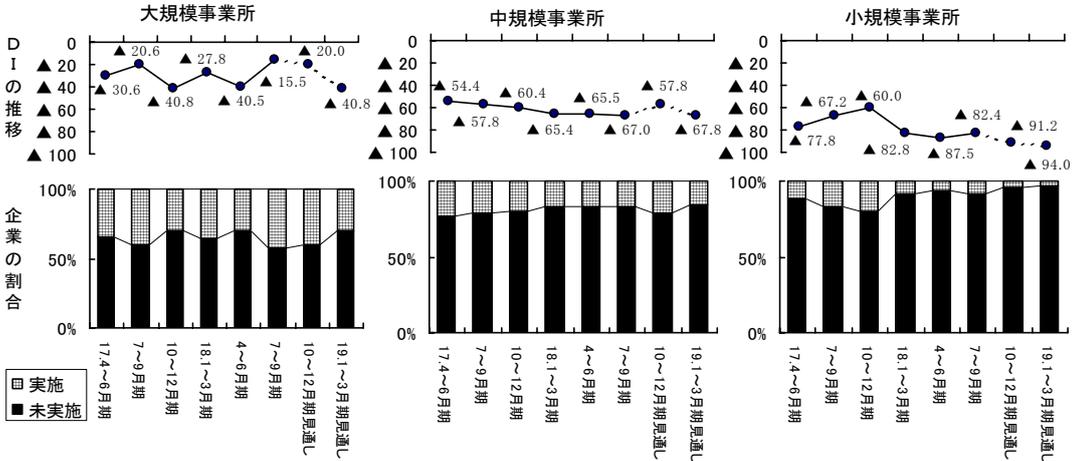
### 設問2-1 生産・売上



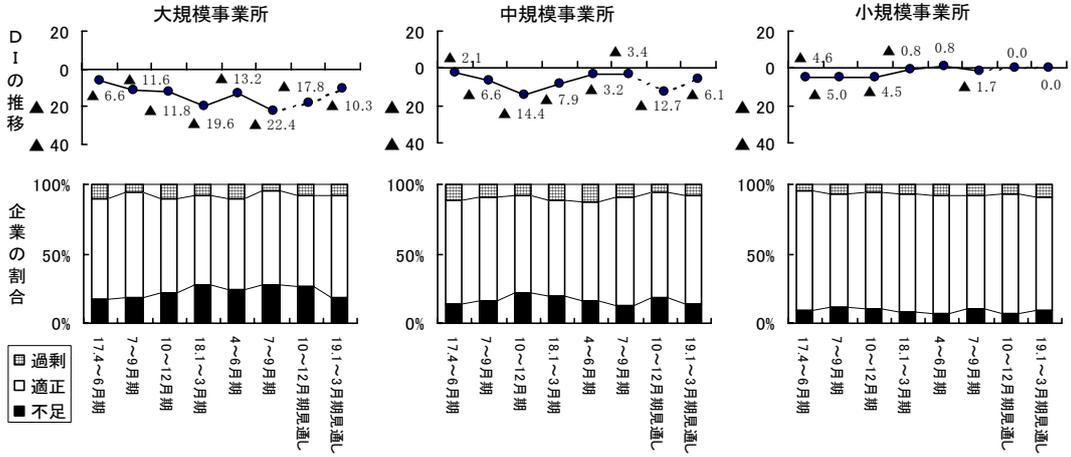
### 設問2-2 経常利益



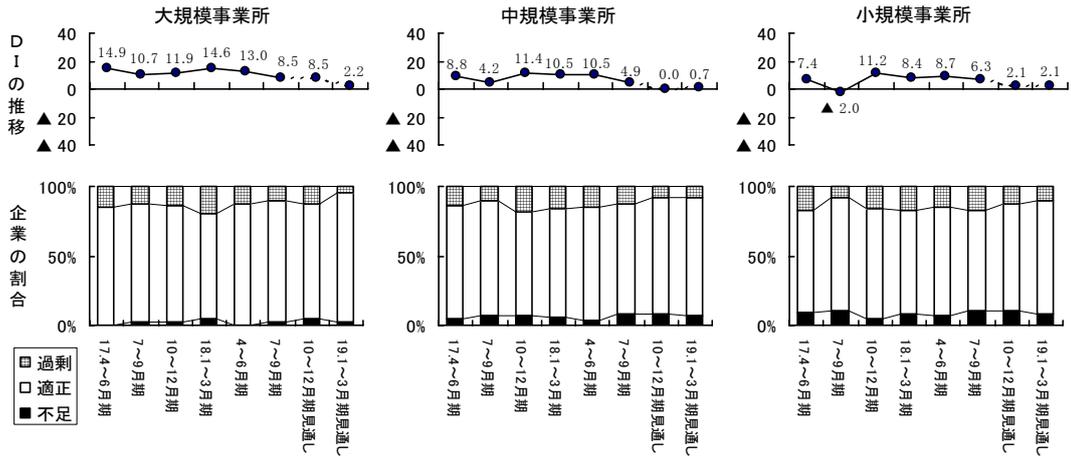
### 設問3-1 設備投資



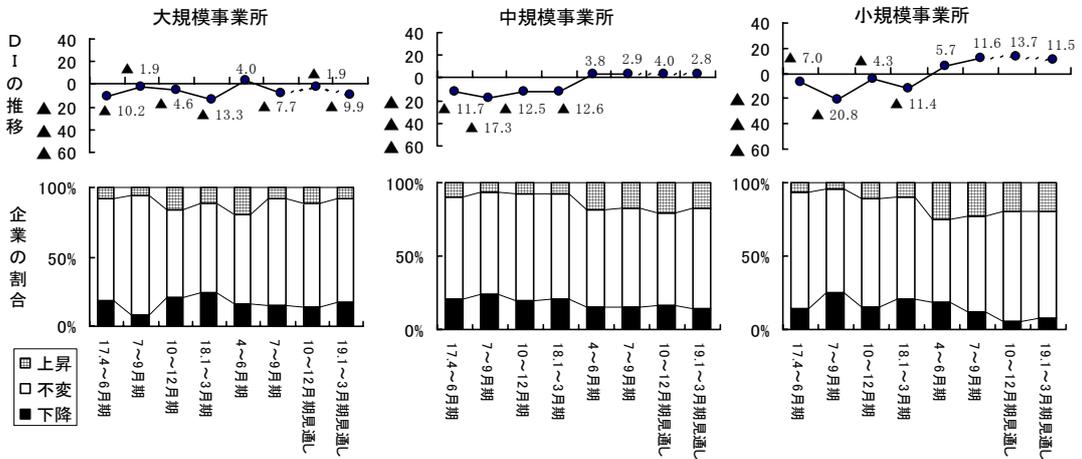
設問4-1 雇用人員



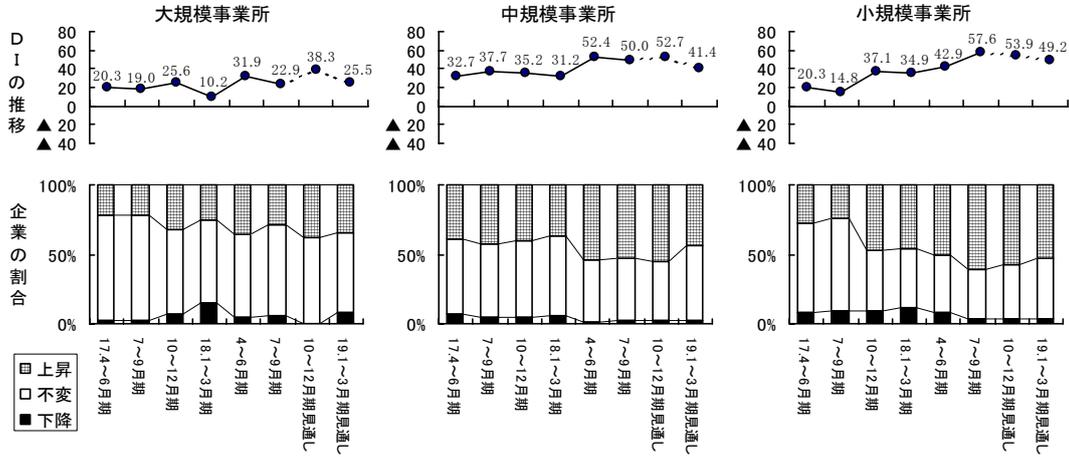
設問4-2 製(商)品在庫



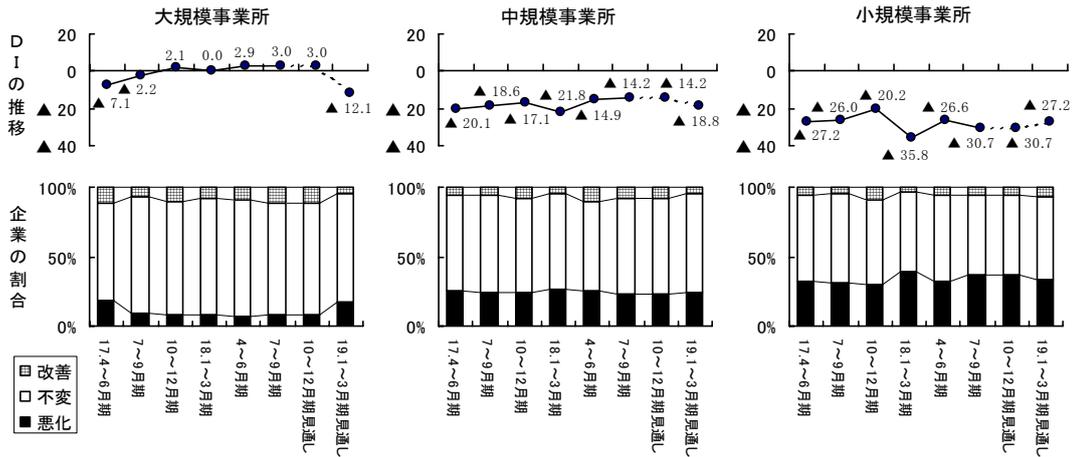
設問4-3 製(商)品価格



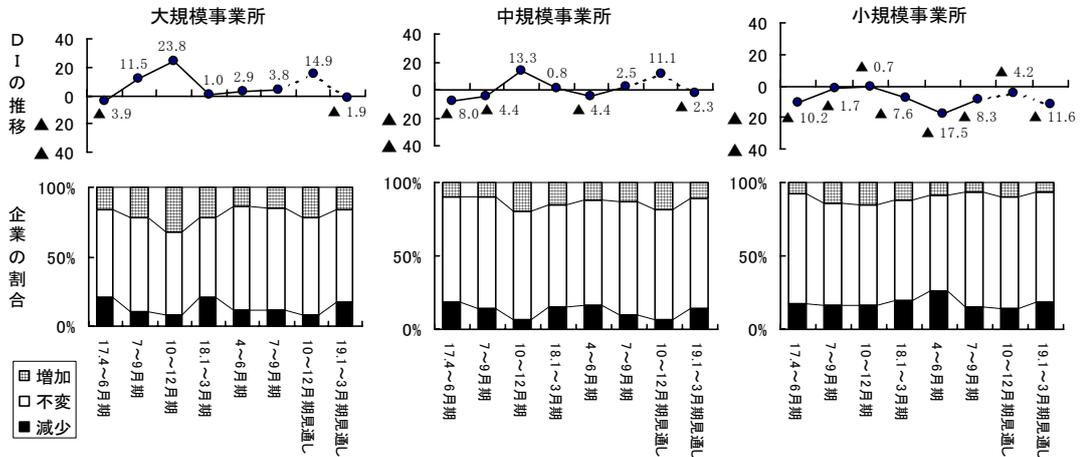
### 設問4-4 原材料価格



### 設問4-5 資金繰り

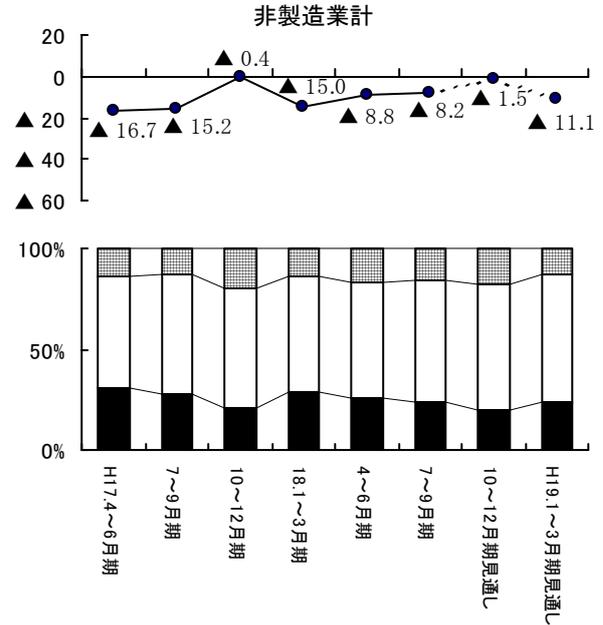
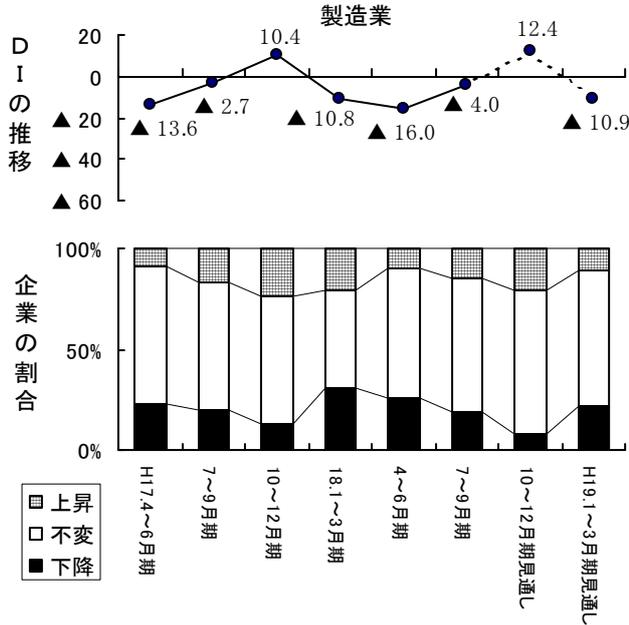


### 設問4-6 労働時間

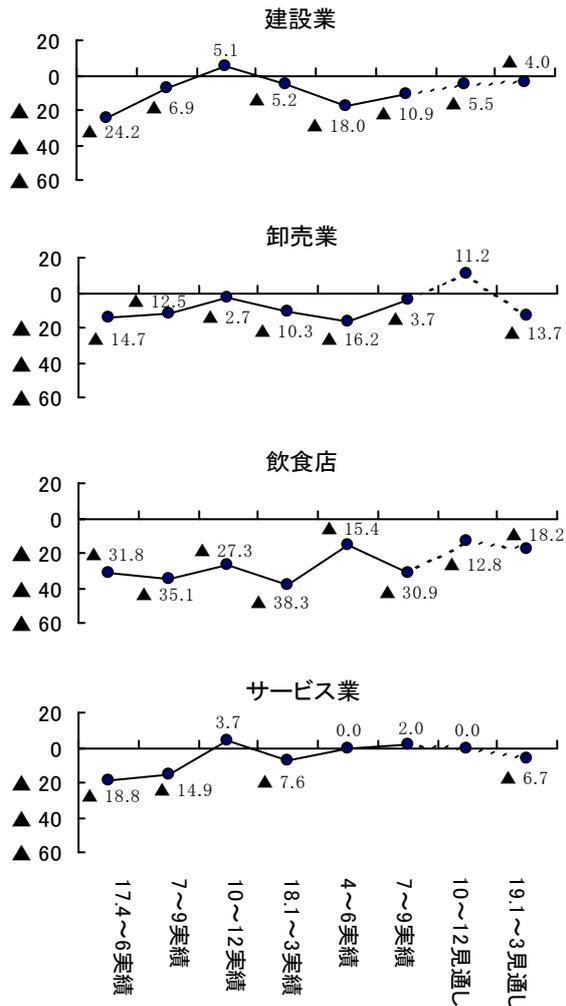
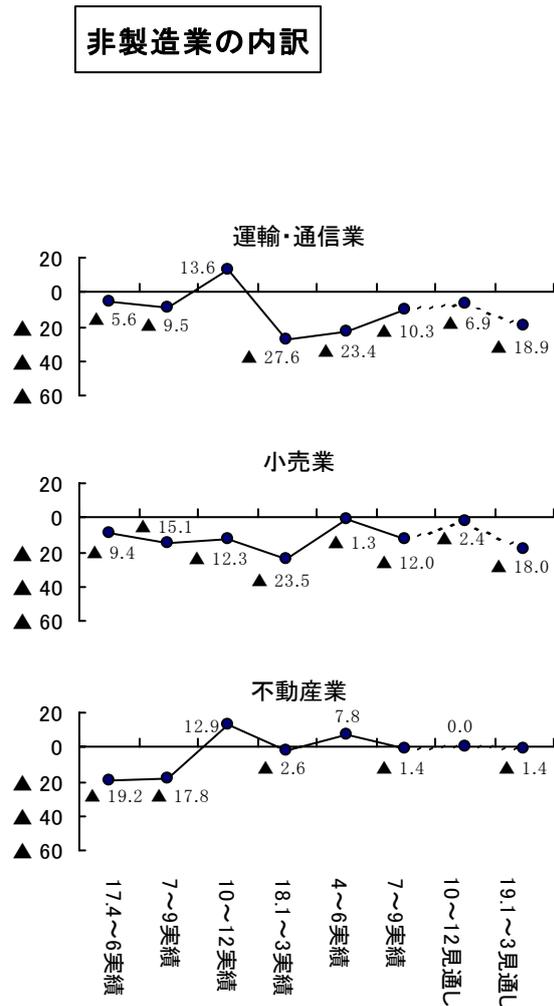


②業種別DI

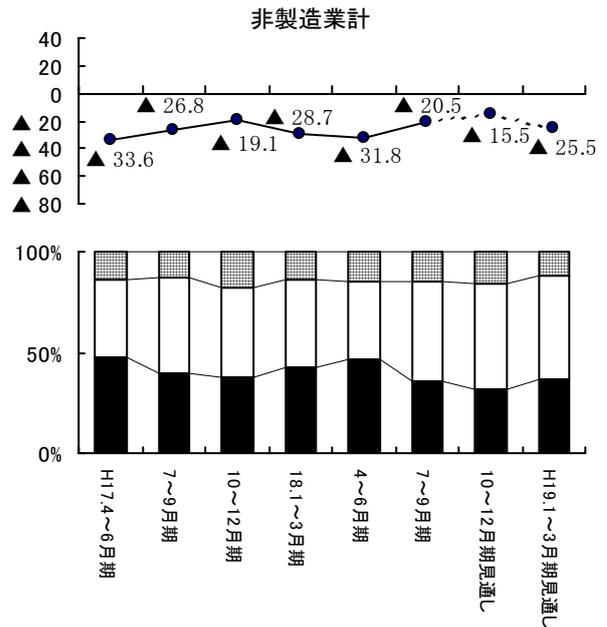
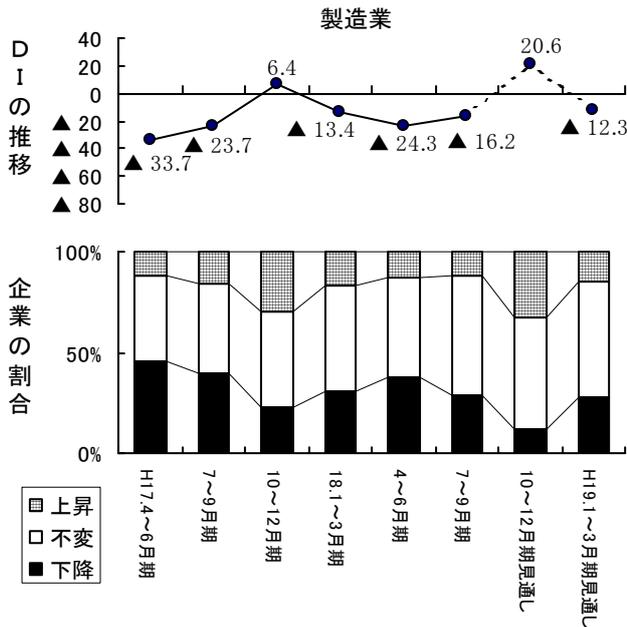
設問1-1 市内の景気



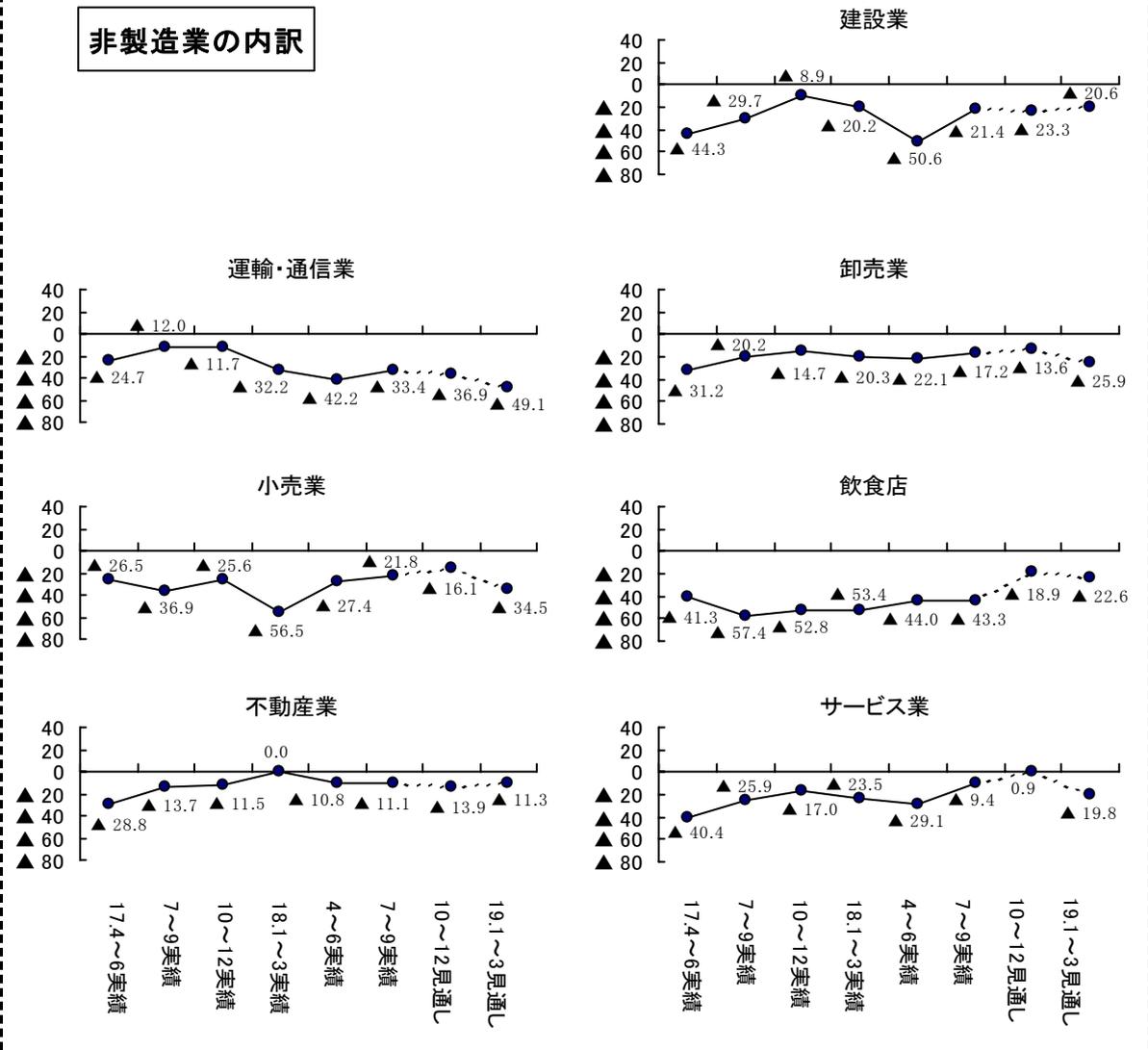
非製造業の内訳



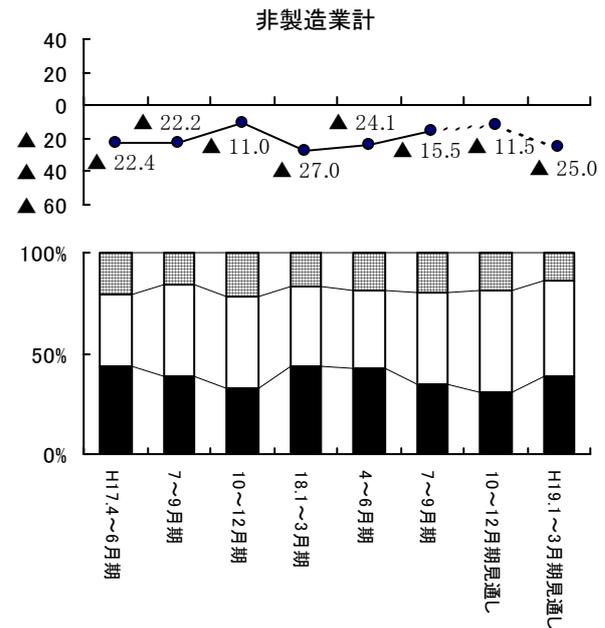
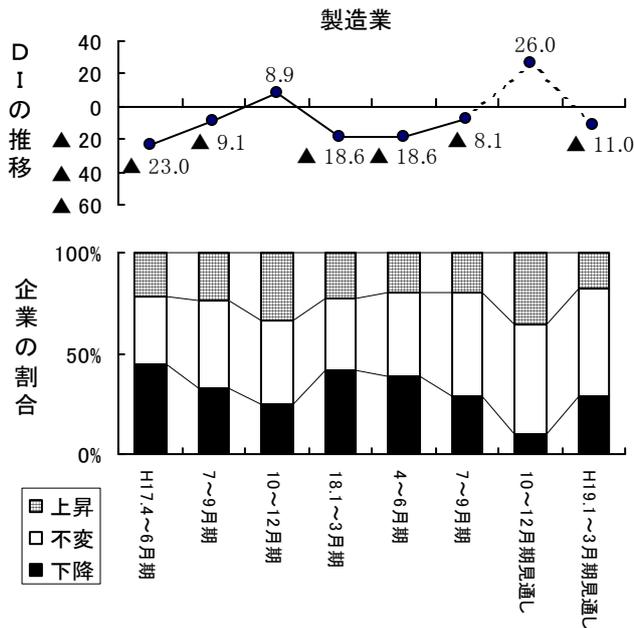
### 設問1-2 業界の景気



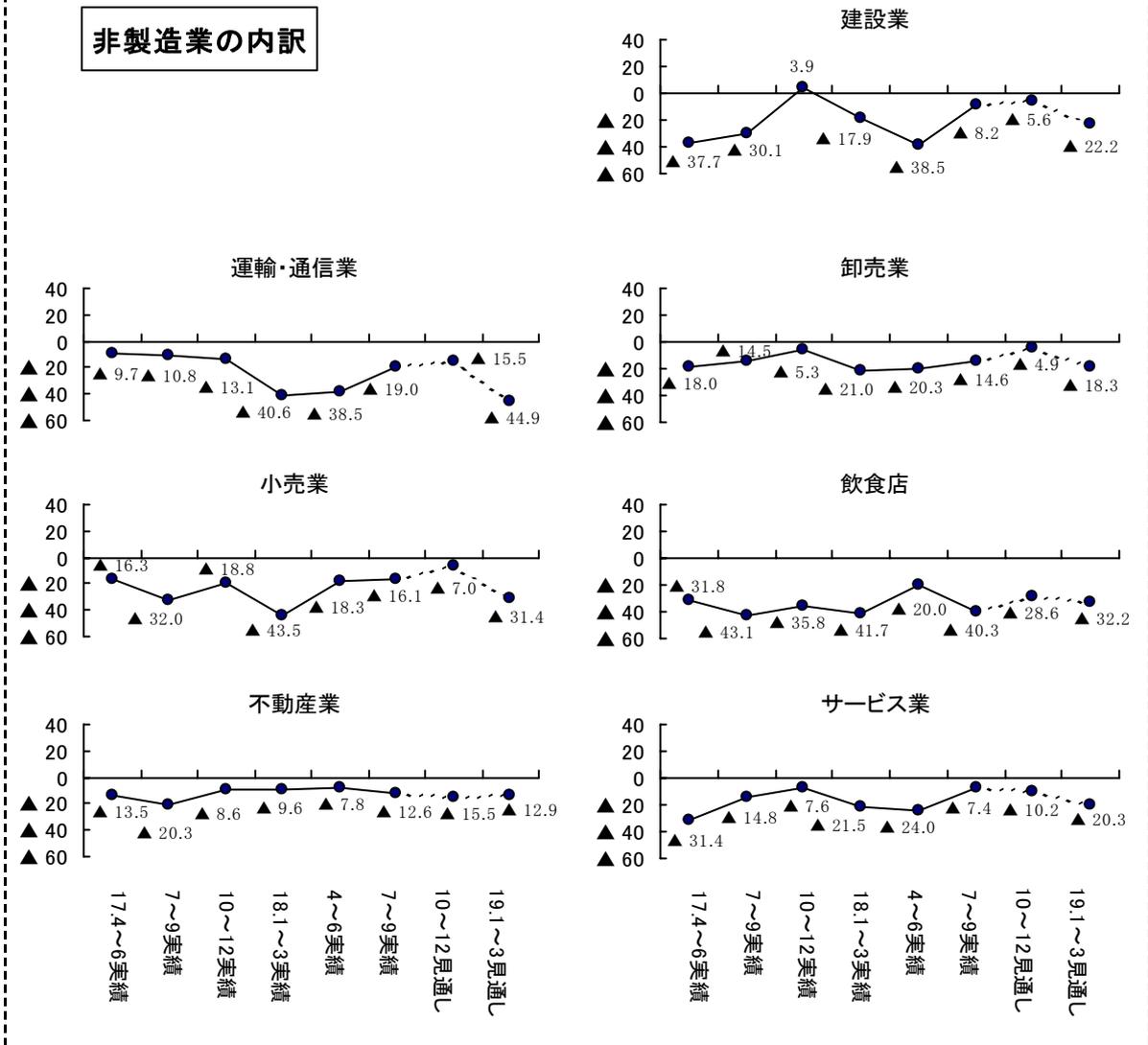
### 非製造業の内訳



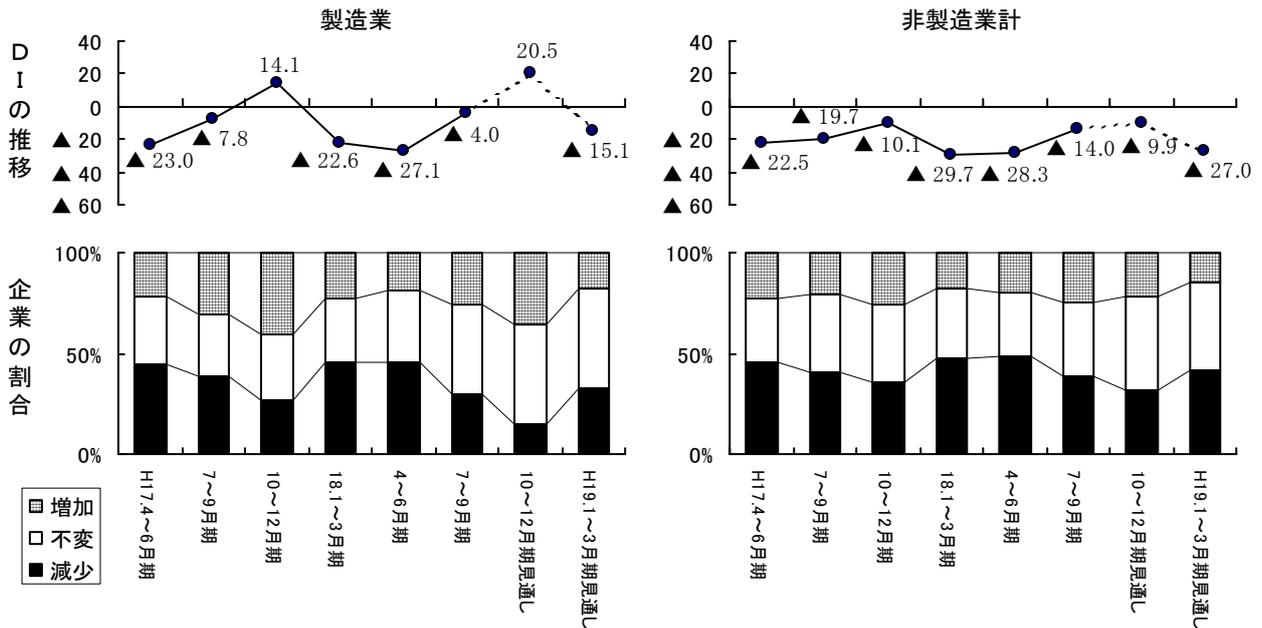
### 設問1-3 事業所の景気



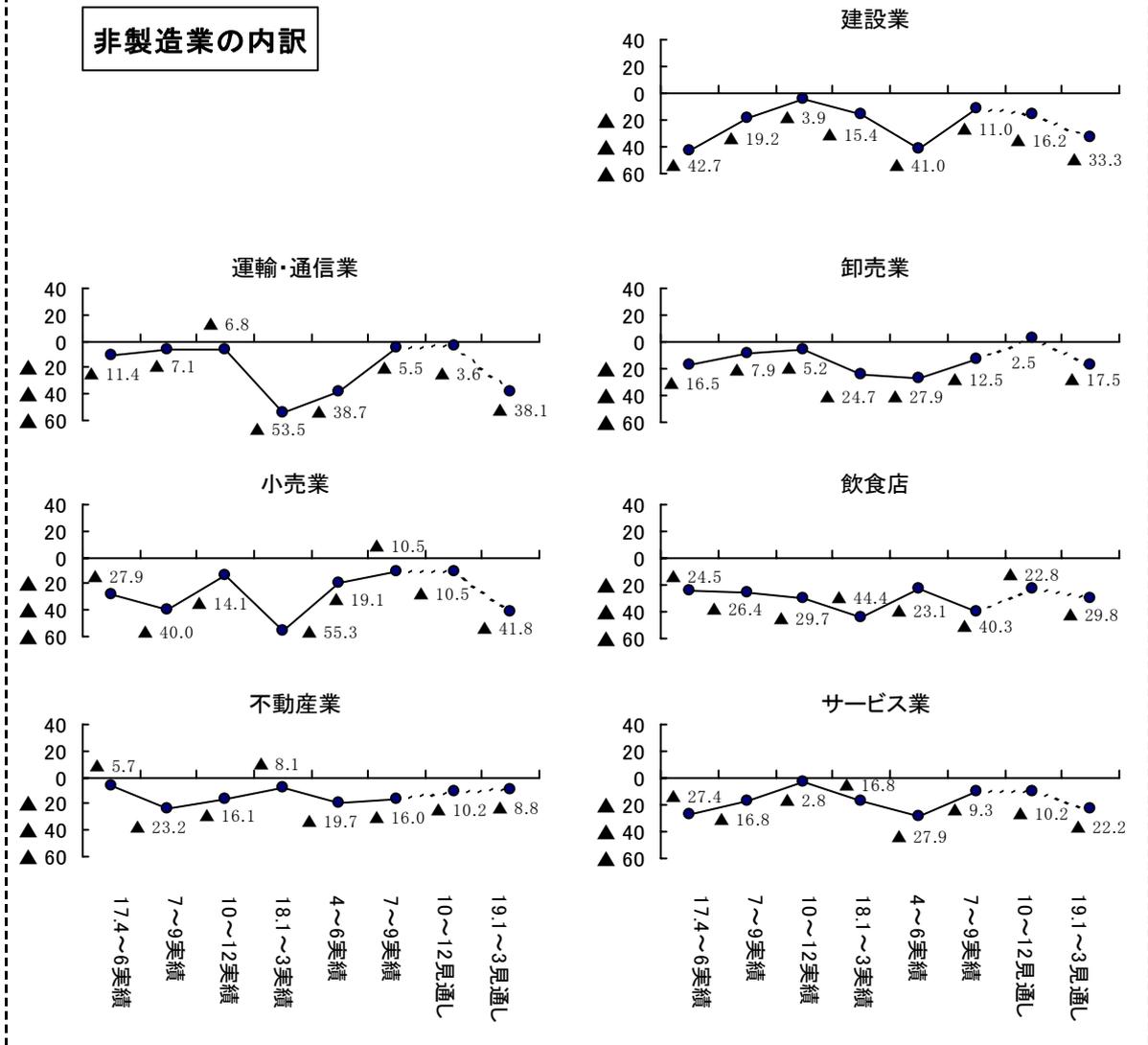
### 非製造業の内訳



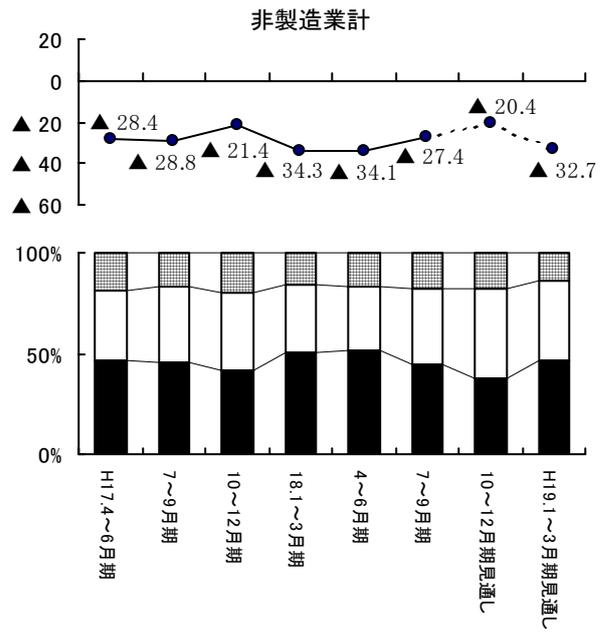
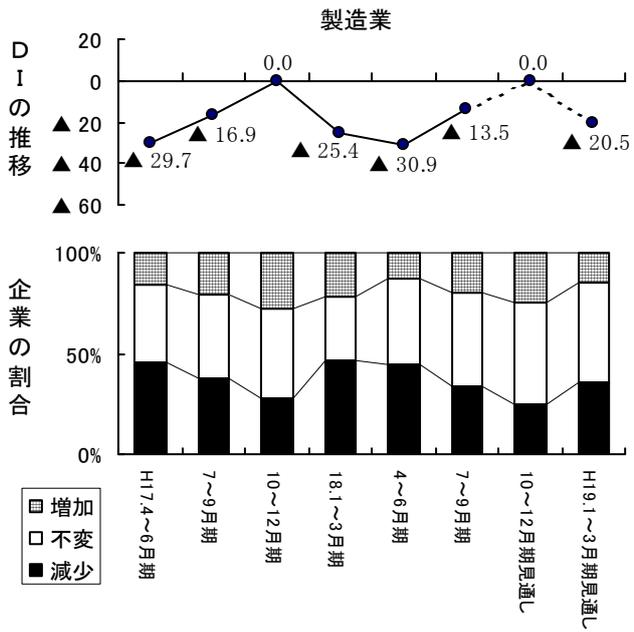
### 設問2-1 生産・売上



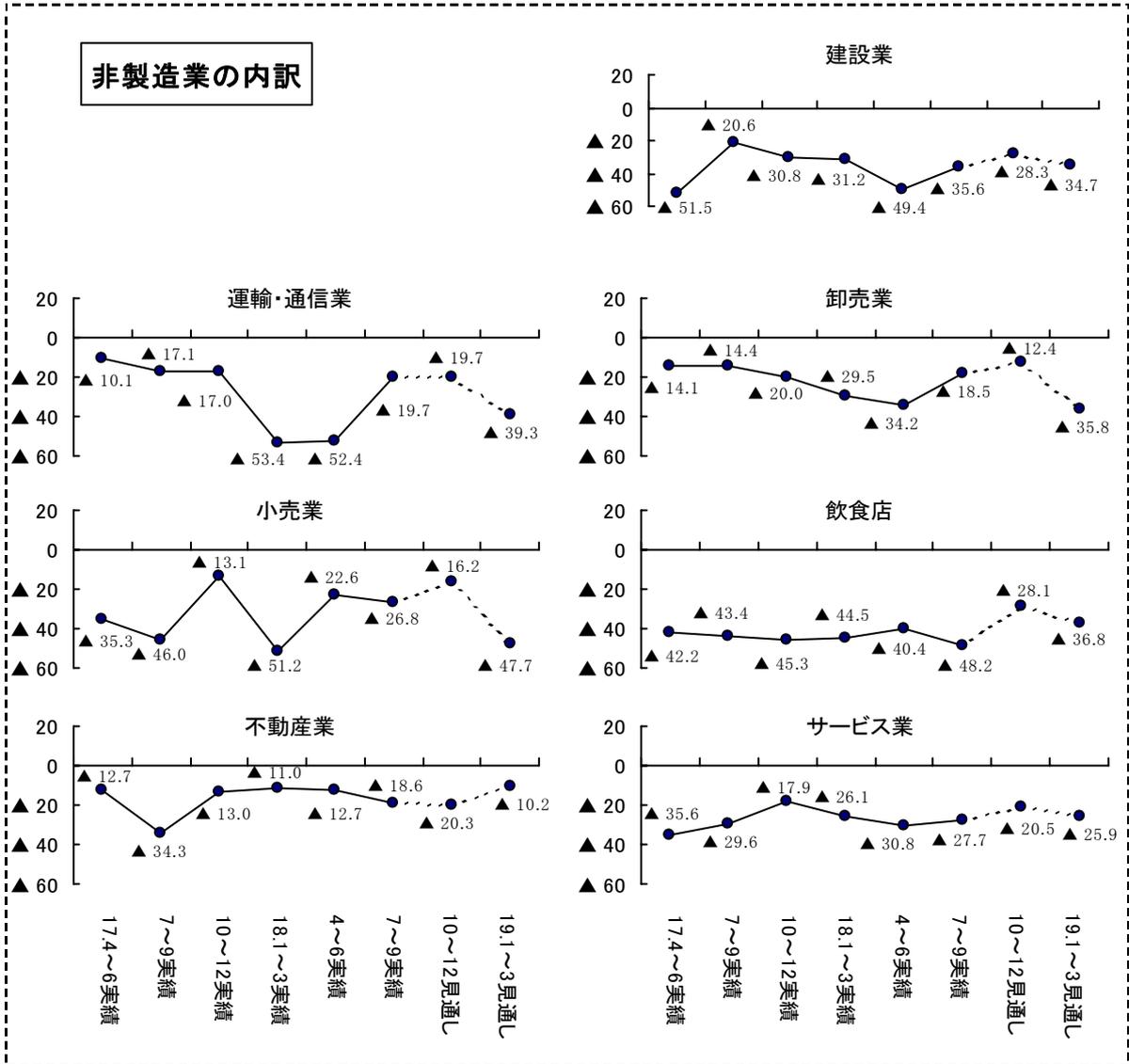
### 非製造業の内訳



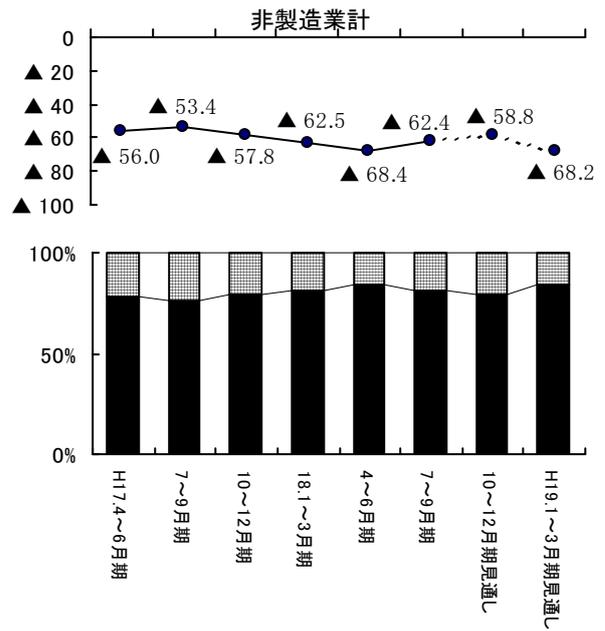
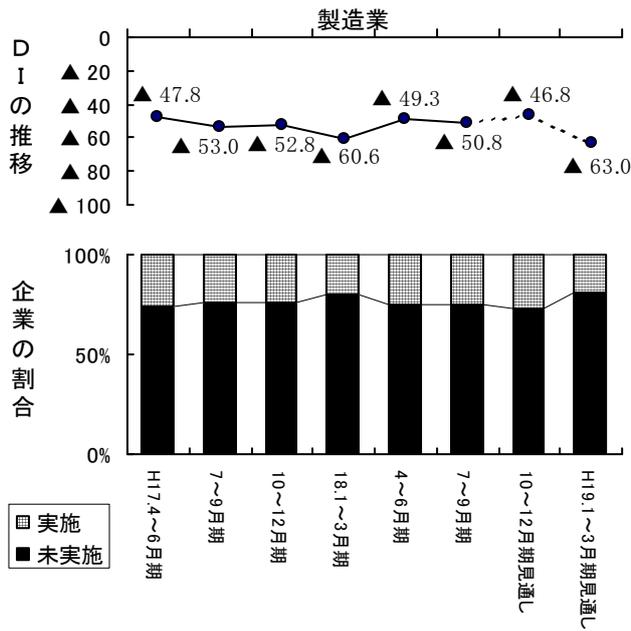
## 設問2-2 経常利益



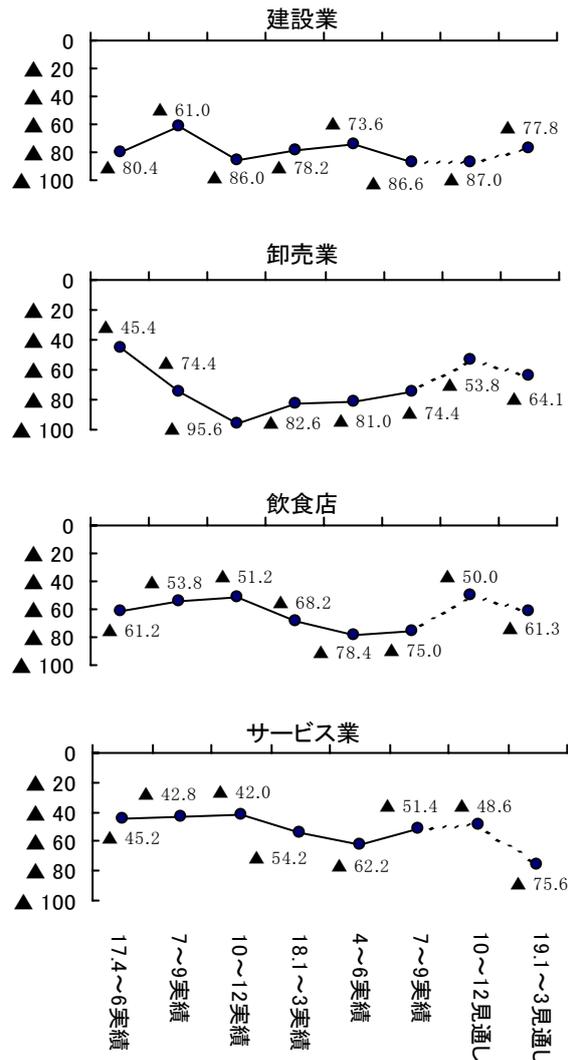
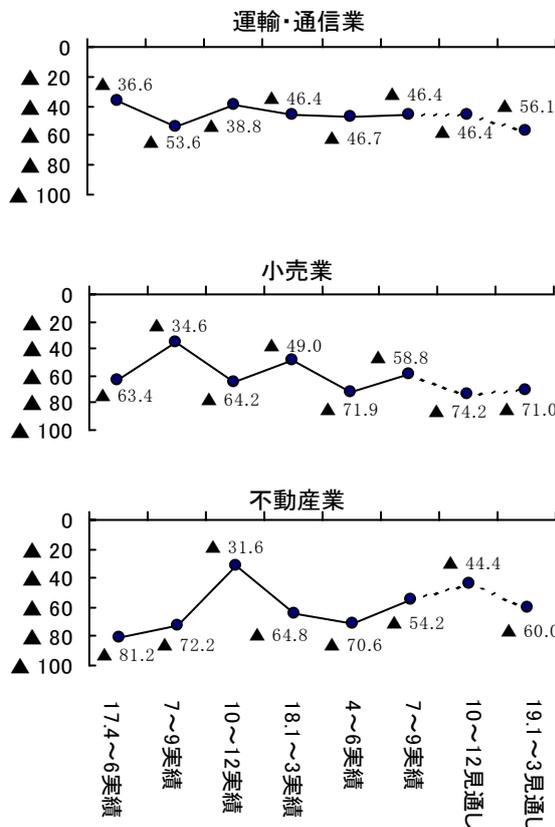
## 非製造業の内訳



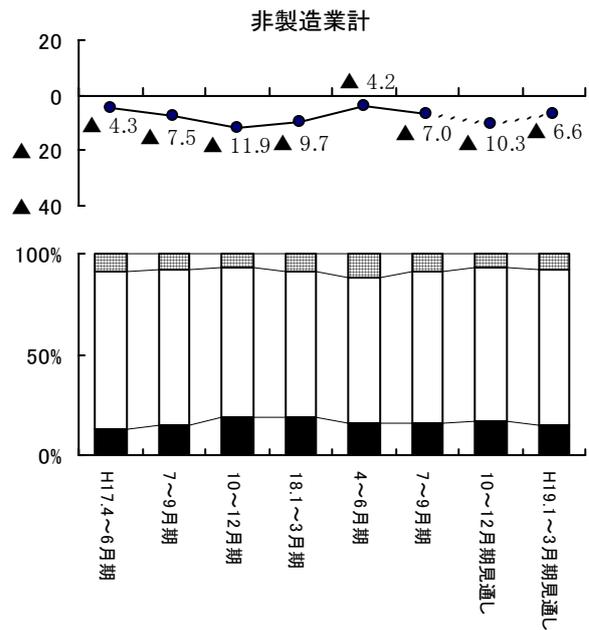
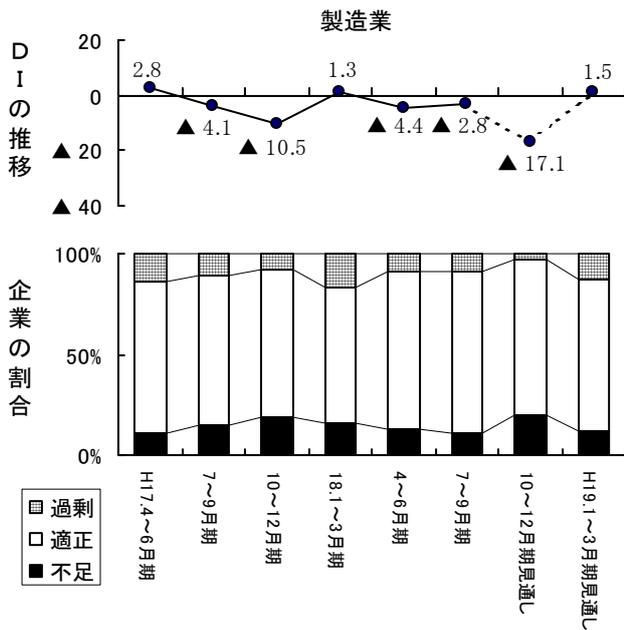
### 設問3-1 設備投資



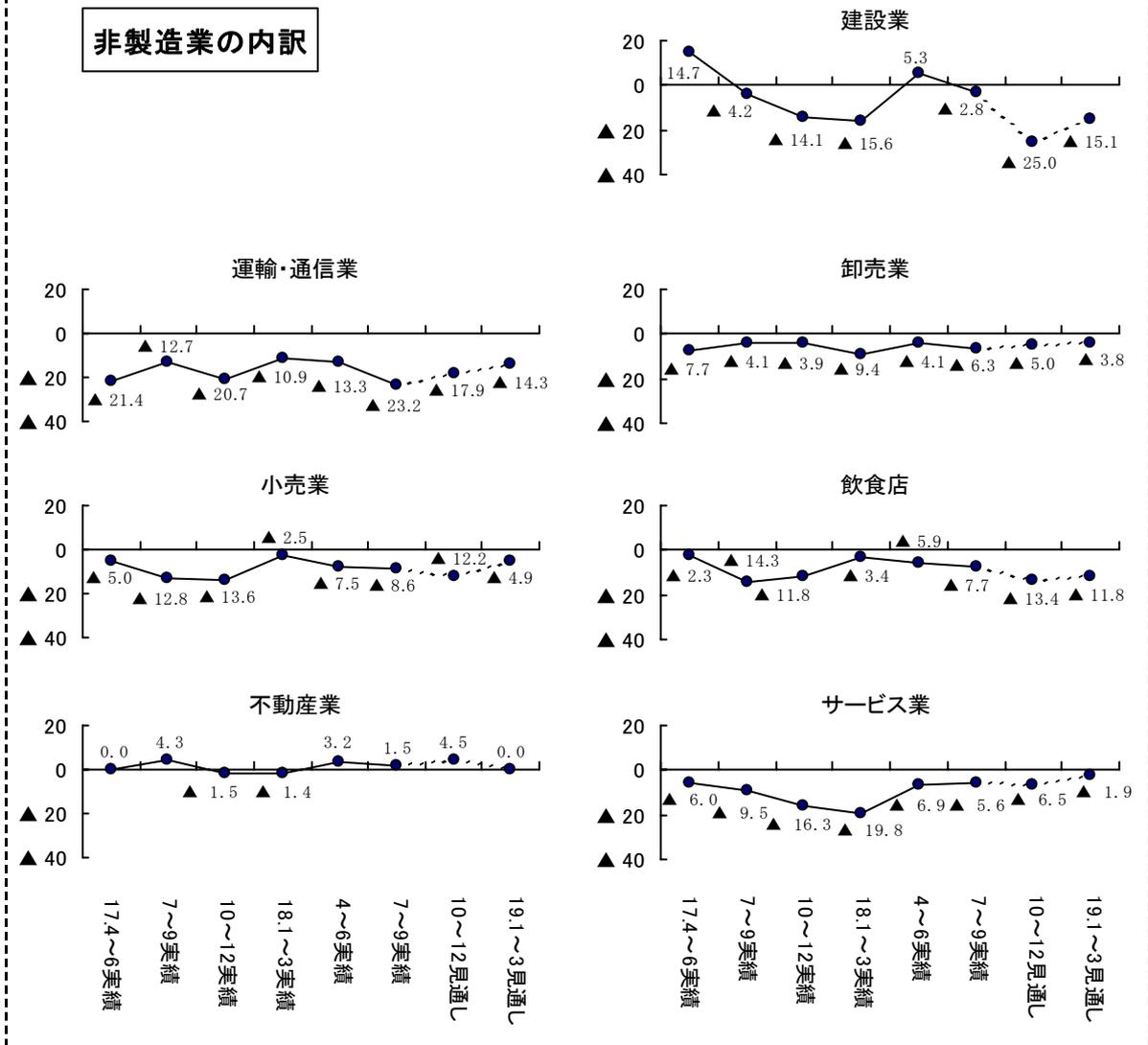
### 非製造業の内訳



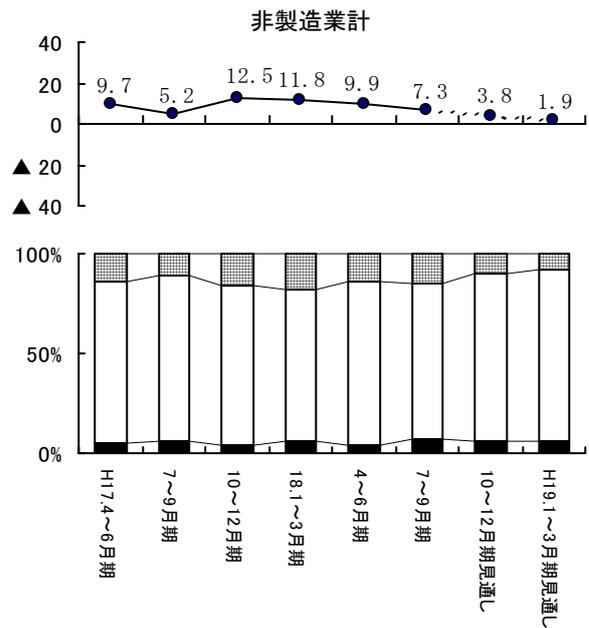
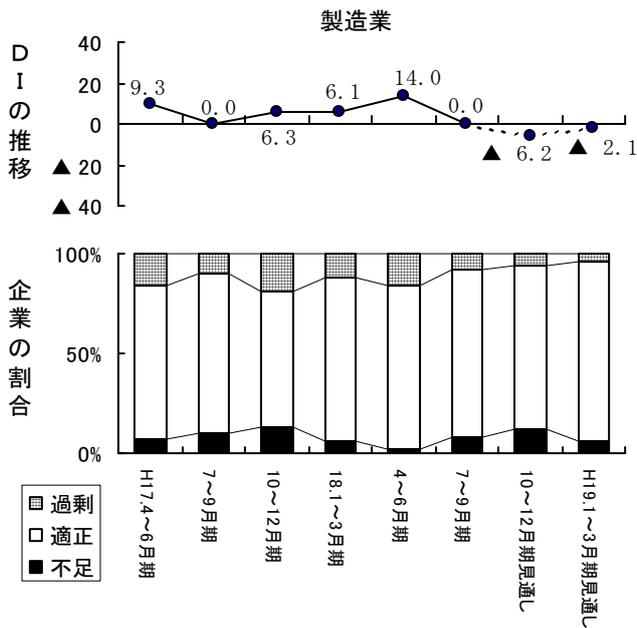
### 設問4-1 雇用人員



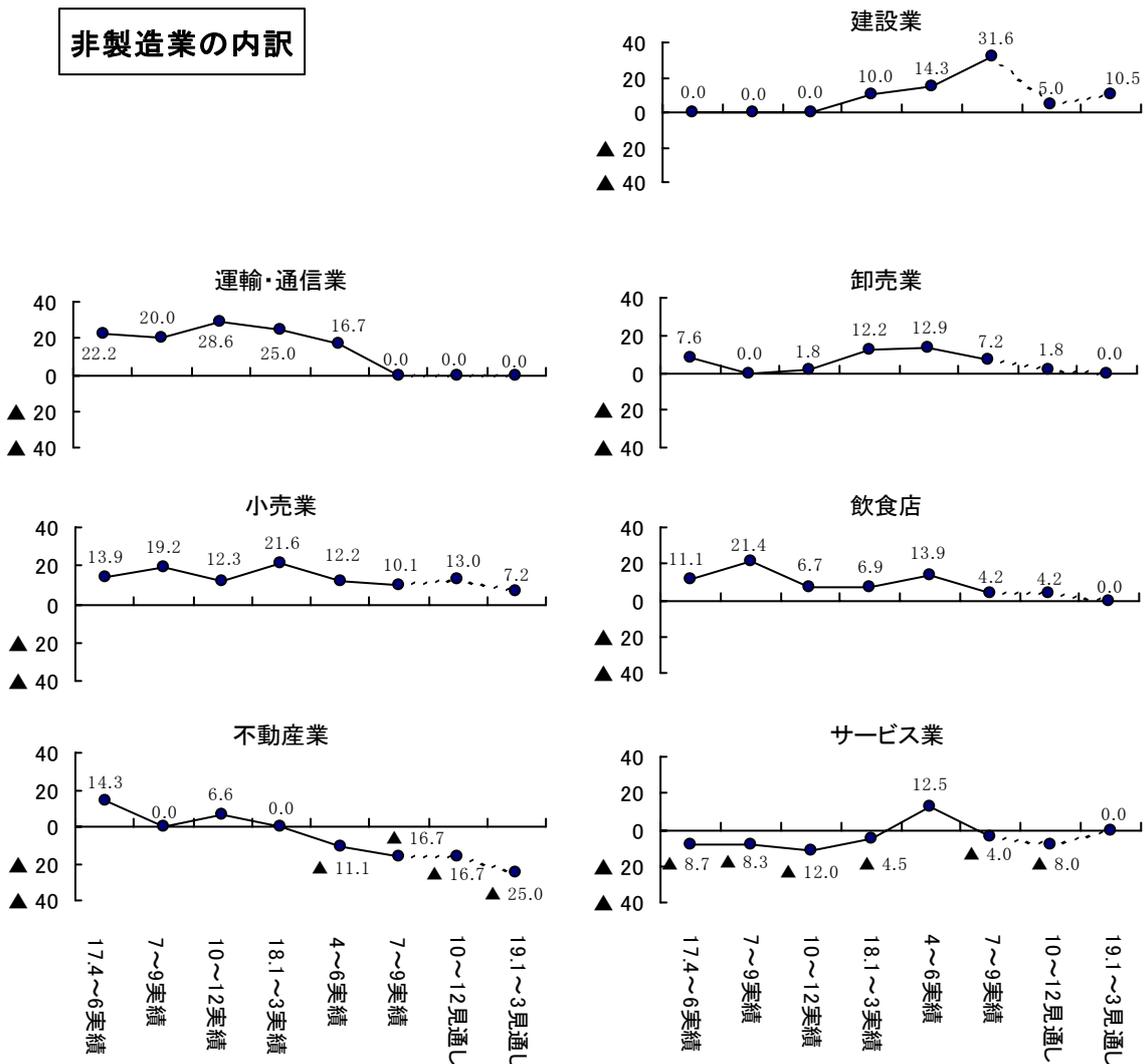
### 非製造業の内訳



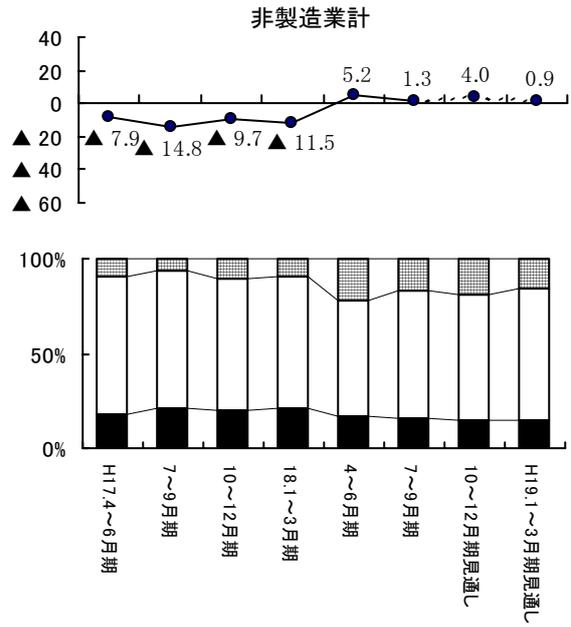
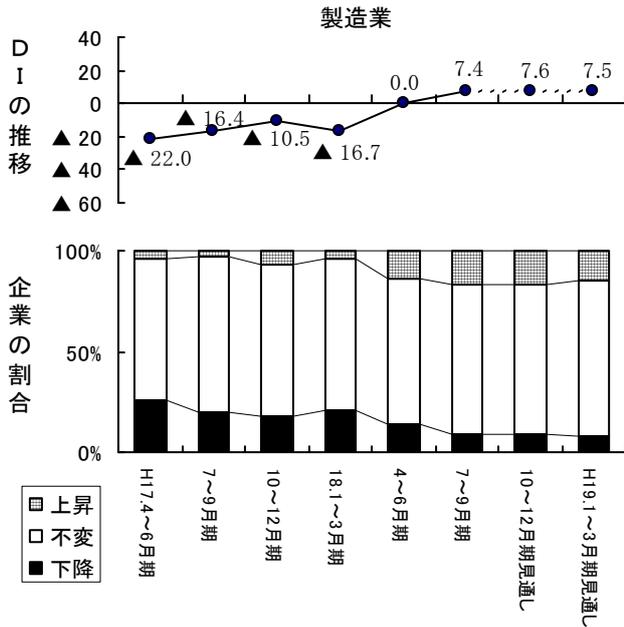
### 設問4-2 製(商)品在庫



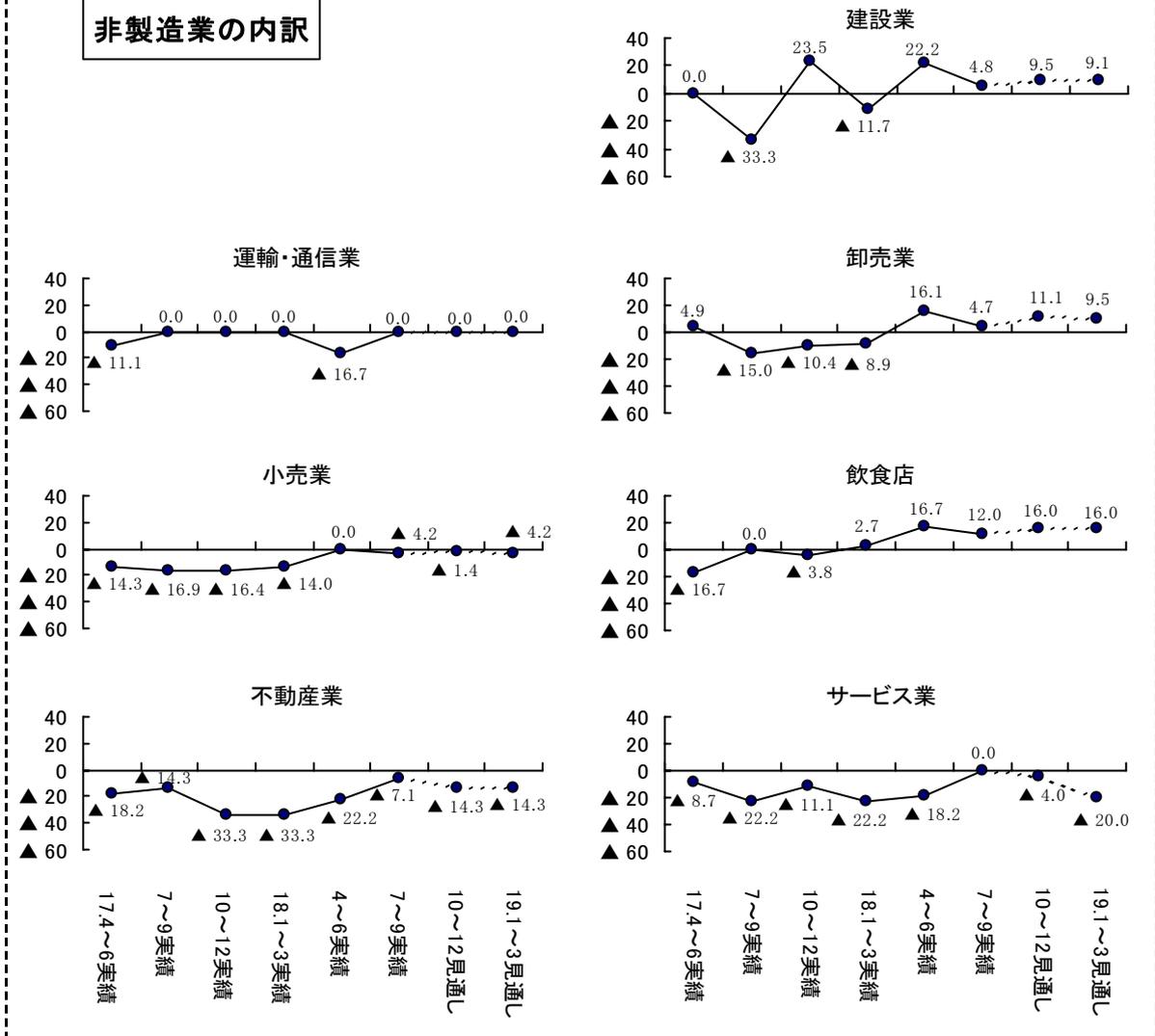
### 非製造業の内訳



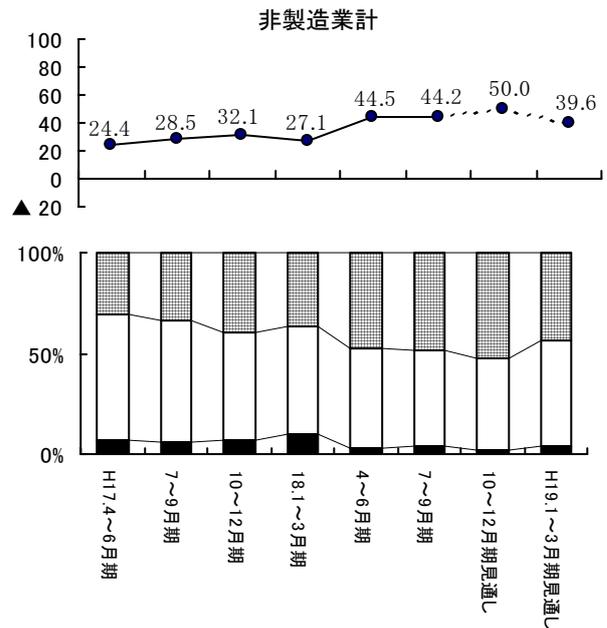
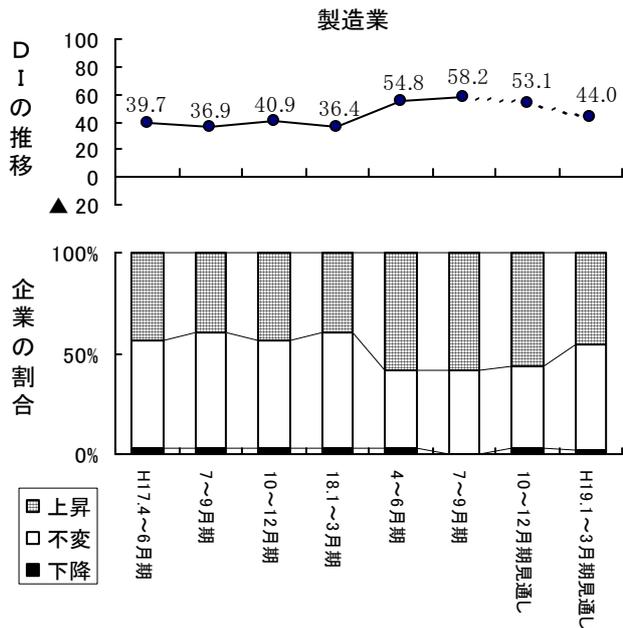
### 設問4-3 製(商)品価格



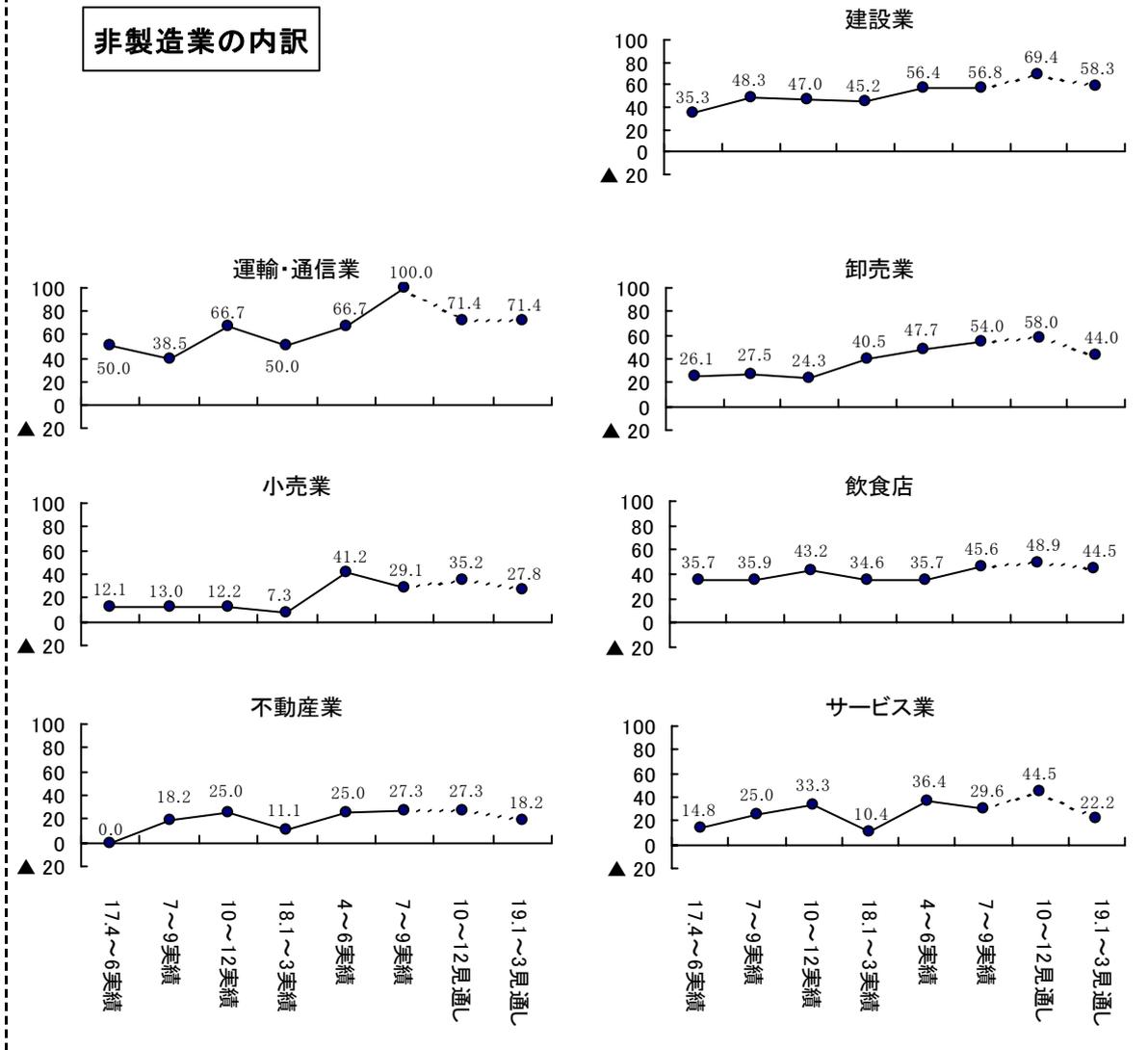
### 非製造業の内訳



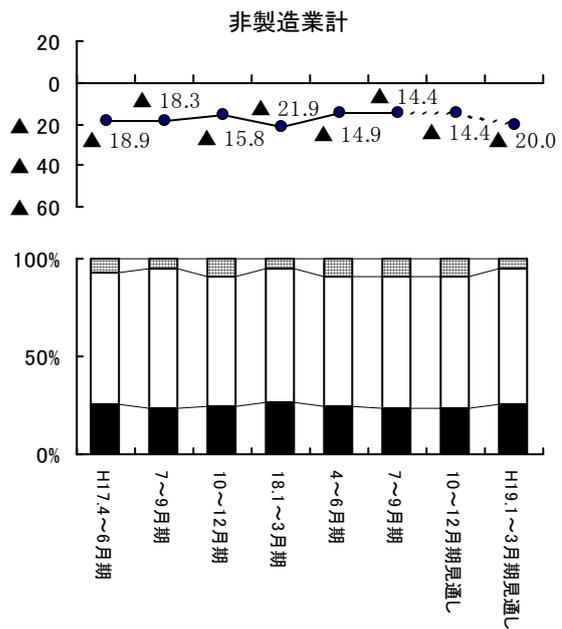
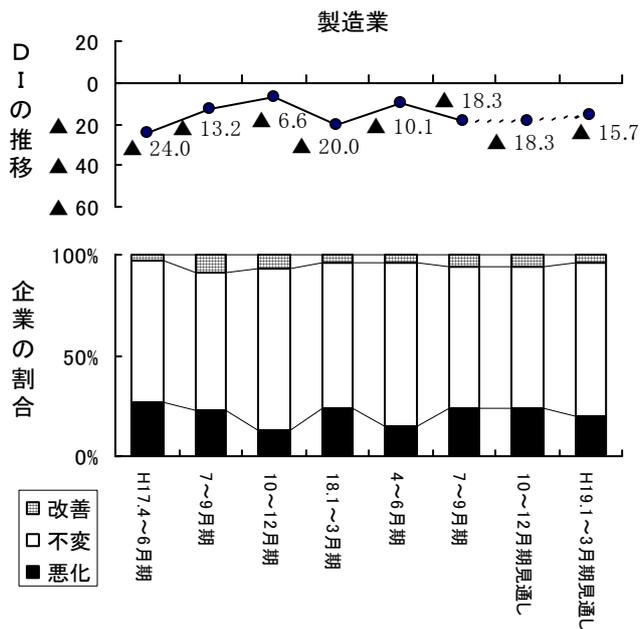
### 設問4-4 原材料価格



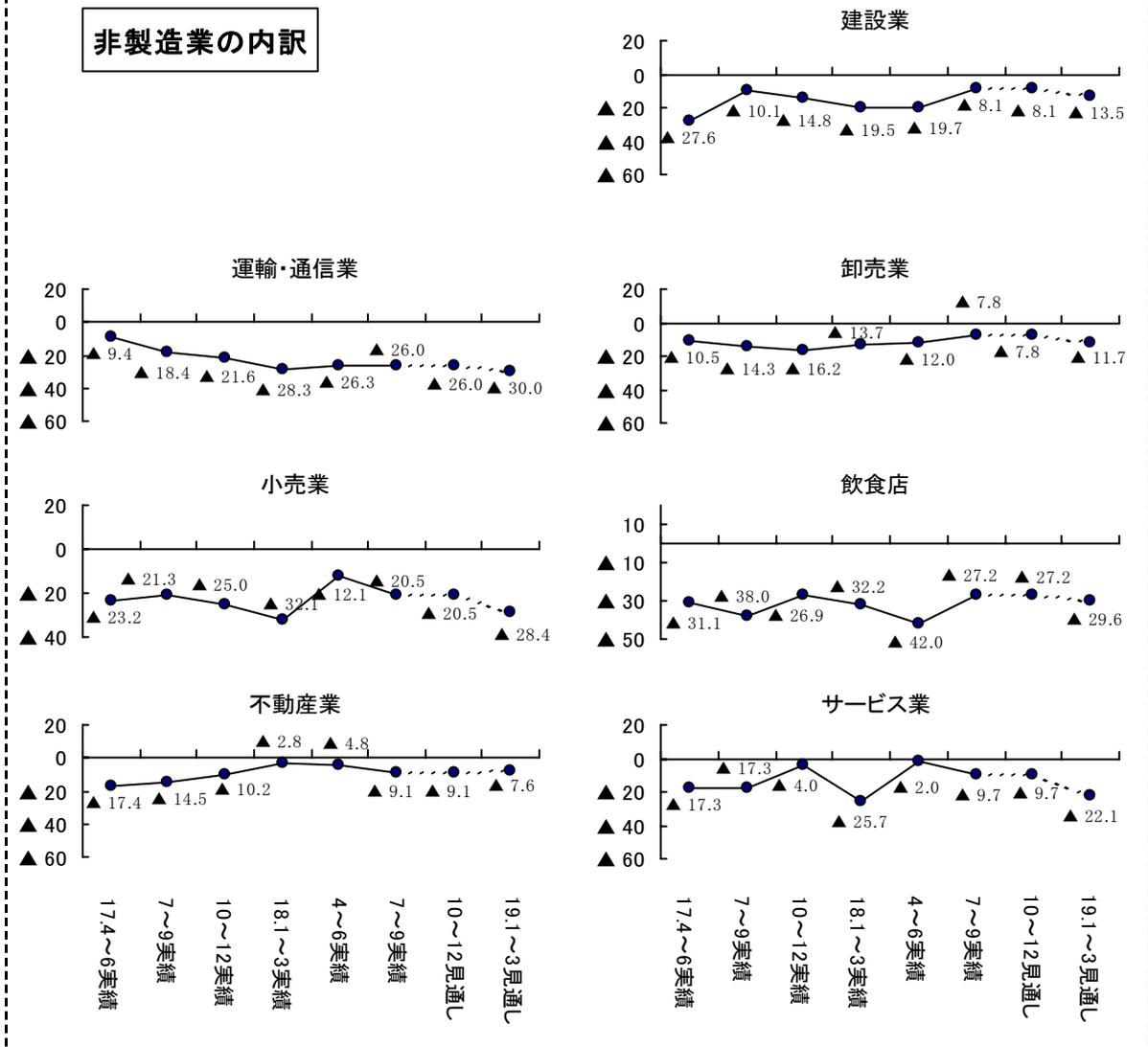
### 非製造業の内訳



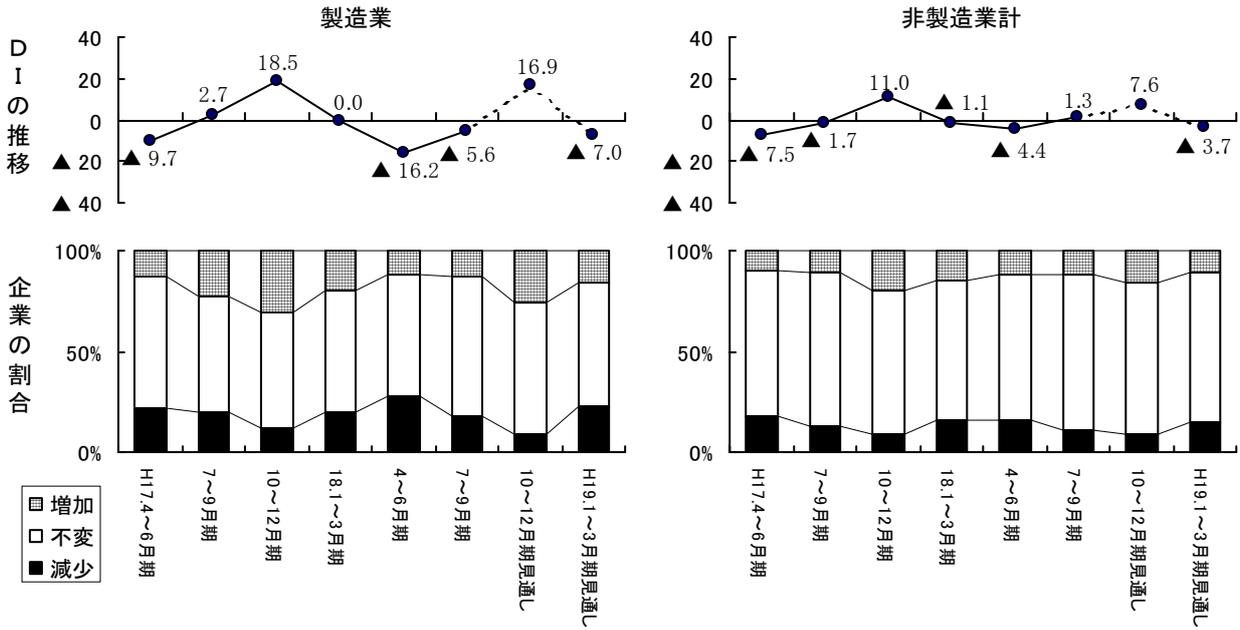
**設問4-5 資金繰り**



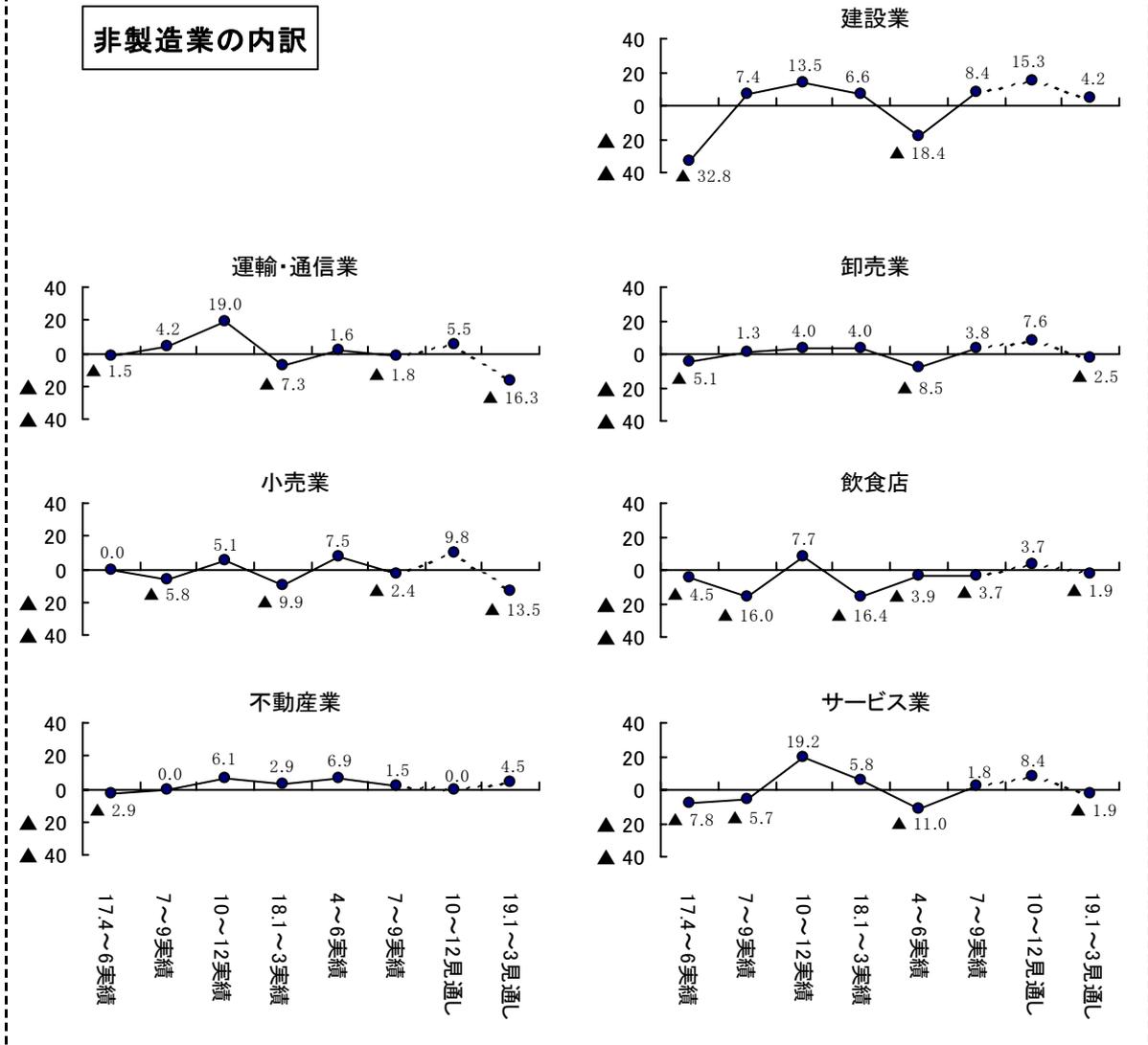
**非製造業の内訳**



### 設問4-6 労働時間

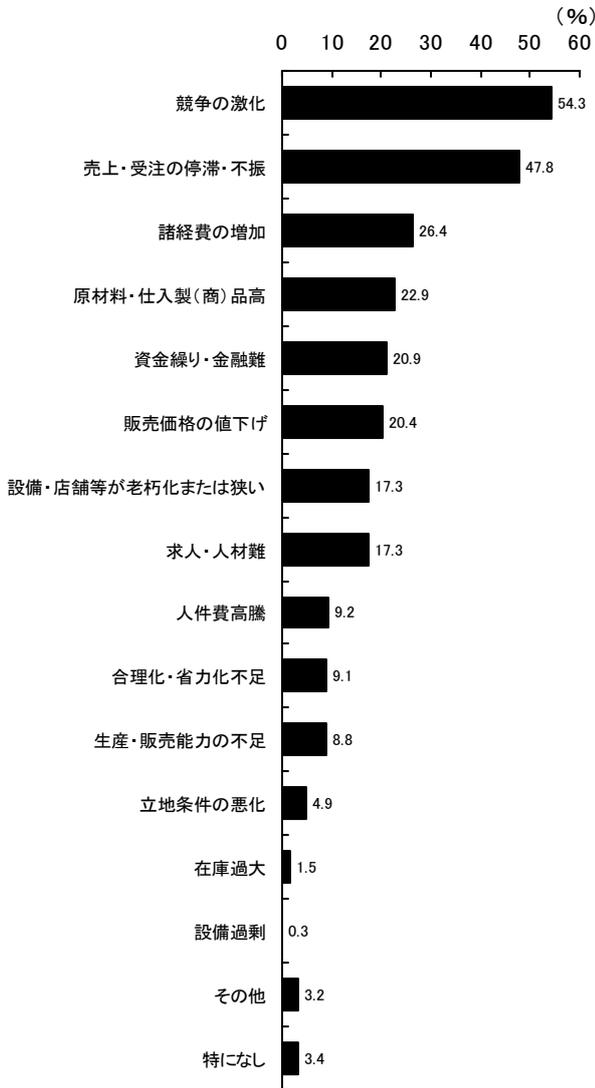


### 非製造業の内訳

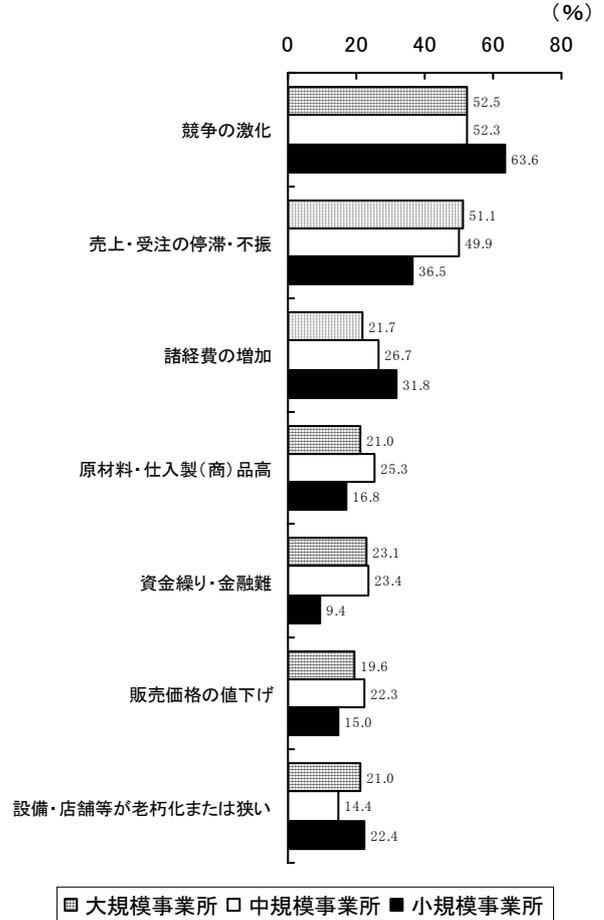


③経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)

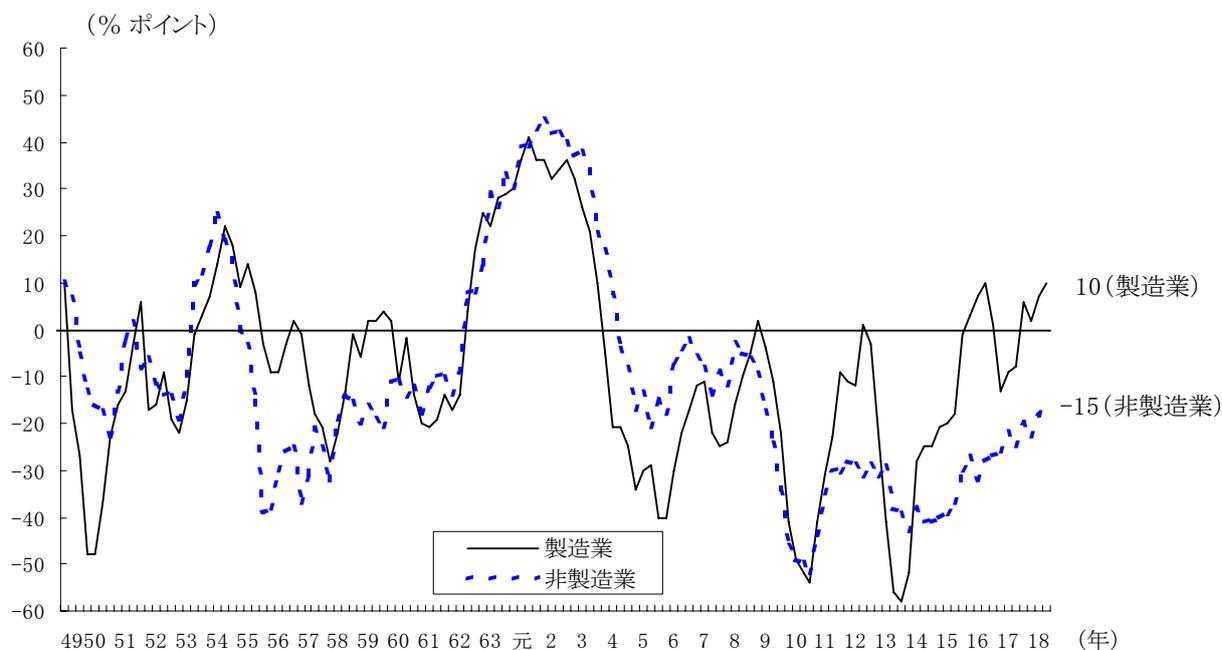
<p><b>製造業</b></p> <p>1 原材料・仕入製(商)品高(54.1%) 2 売上・受注の停滞・不振(43.2%) 3 競争の激化(36.5%)</p>	<p><b>非製造業</b></p> <p>1 競争の激化(56.7%) 2 売上・受注の停滞・不振(48.4%) 3 諸経費の増加(26.5%)</p>	<p><b>建設業</b></p> <p>1 売上・受注の停滞・不振(70.7%) 2 競争の激化(66.7%) 3 販売価格の値下げ(34.7%)</p>
<p><b>運輸・通信業</b></p> <p>1 競争の激化(54.2%) 2 諸経費の増加(52.5%) 3 売上・受注の停滞・不振(45.8%)</p>	<p><b>卸売業</b></p> <p>1 競争の激化(59.8%) 2 売上・受注の停滞・不振(45.1%) 3 原材料・仕入製(商)品高(29.3%) 3 販売価格の値下げ(29.3%)</p>	<p><b>小売業</b></p> <p>1 競争の激化(44.3%) 2 売上・受注の停滞・不振(40.9%) 3 設備・店舗等が老朽化または狭い(29.6%)</p>
<p><b>飲食店</b></p> <p>1 競争の激化(53.5%) 2 売上・受注の停滞・不振(50.0%) 3 設備・店舗等が老朽化または狭い(41.4%)</p>	<p><b>不動産業</b></p> <p>1 競争の激化(63.0%) 2 諸経費の増加(35.6%) 3 売上・受注の停滞・不振(32.9%)</p>	<p><b>サービス業</b></p> <p>1 競争の激化(56.5%) 2 売上・受注の停滞・不振(52.8%) 3 販売価格の値下げ(30.6%)</p>

## (2) 東北、全国の調査結果

### ①東北

日本銀行仙台支店「東北地区企業短期経済観測調査」(平成18年10月2日)

東北地区の業況判断D Iの推移 (日銀仙台支店「東北地区企業短期経済観測調査結果」)



業況判断D I (東北)

		前回 (H18.6) 調査		今回 (H18.9) 調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	25	14	21 (▲4)※1	14 (▲7)※2
	中堅・中小企業	5	9	10 ( 5)	10 ( 0)
	製造業計	7	10	10 ( 3)	10 ( 0)
非製造業	大企業	0	4	4 ( 4)	4 ( 0)
	中堅・中小企業	▲19	▲17	▲15 ( 4)	▲16 ( ▲1)
	非製造業計	▲18	▲16	▲15 ( 3)	▲14 ( 1)
全産業・全規模合計		▲8	▲6	▲5 ( 3)	▲5 ( 0)

※D I 値は、「良い」回答者構成比 (%) から「悪い」回答者構成比 (%) を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。▲はマイナスを表す。

※ ( ) 内は変化幅(差)を表す。※1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。

※2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

## 日本銀行仙台支店「経済の動き」（平成 18 年 10 月 2 日）

—— 管内（宮城、岩手、山形） ——

### 概況

管内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、設備投資が増加しているほか、住宅投資も前年を上回っている。また、個人消費は底堅く推移している。一方、公共投資は減少傾向にある。

こうした中、生産が増加傾向にあるほか、雇用情勢も改善傾向にある。この間、企業の業況感は、製造業、非製造業ともに改善しており、事業計画も製造業を中心に増収増益計画となっている。

#### （1）個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

#### （2）住宅投資

新設住宅着工戸数は、貸家の増勢が鈍化しているものの、全体としてみれば前年を上回っている。

#### （3）公共投資

公共工事請負金額は、予算規模の縮小を背景に減少傾向にある。

#### （4）生産

生産は、増加傾向にある。

#### （5）雇用・家計所得環境

雇用情勢をみると、生産の増加に伴う製造業の求人増加等を背景に有効求人倍率が上昇基調にある。

雇用者所得は、特別給与（主として夏季賞与）が増加したこともあり、前年比マイナス幅が縮小している。

#### （6）金融面の動向

預金動向をみると、個人預金が堅調に推移しているほか、法人預金が下げ止まりつつあるものの、公金預金が低調に推移しており、全体ではなお弱めの動きが続いている。

貸出動向をみると、法人向けはなお弱めの動きとなっているものの、個人向けが住宅ローンを中心に堅調なほか、地公体向けも財政事情を反映して増加傾向にあることから、全体では前年を上回って推移している。

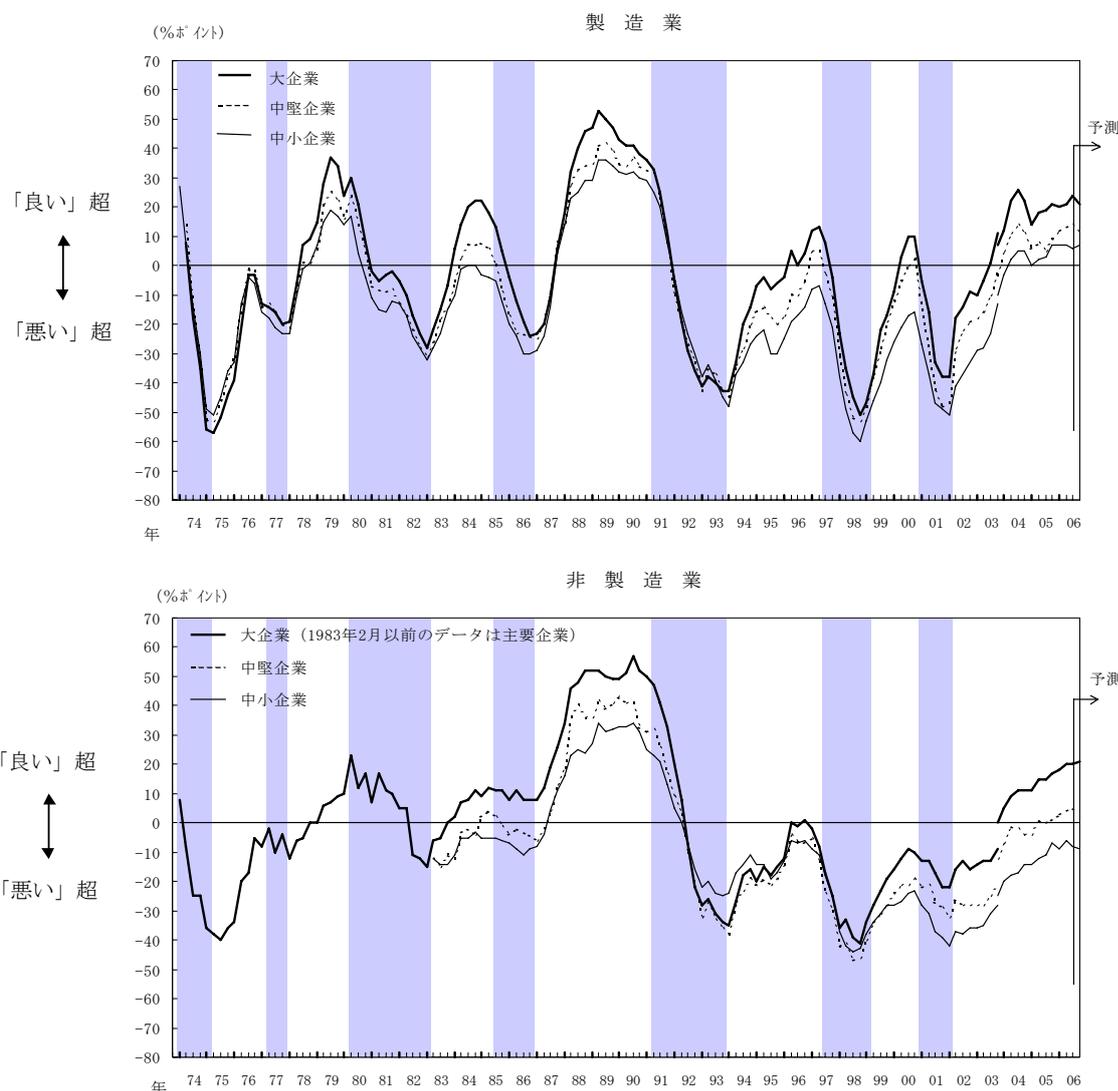
日本銀行仙台支店「経済の動き」「東北地区企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店の HP

<http://www3.boj.or.jp/sendai/>

を参照してください。

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成18年10月2日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注) グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)

業況判断D I (日銀短観:全国)

		前回(H18.6)調査		今回(H18.9)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	21	22	24 ( 3)※1	21 (▲3)※2
	中堅企業	13	13	14 ( 1)	11 (▲3)
	中小企業	7	7	6 (▲1)	7 ( 1)
	製造業計	12	12	13 ( 1)	12 (▲1)
非製造業	大企業	20	21	20 ( 0)	21 ( 1)
	中堅企業	4	6	5 ( 1)	4 (▲1)
	中小企業	▲6	▲9	▲8 (▲2)	▲9 (▲1)
	非製造業計	2	▲1	1 (▲1)	1 ( 0)
全産業・全規模合計		6	6	6 ( 0)	6 ( 0)

※D I 値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値  
 値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。▲はマイナスを表す。

※( )内は変化幅(差)を表す。※1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。  
 ※2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

①主要経済指標グラフ

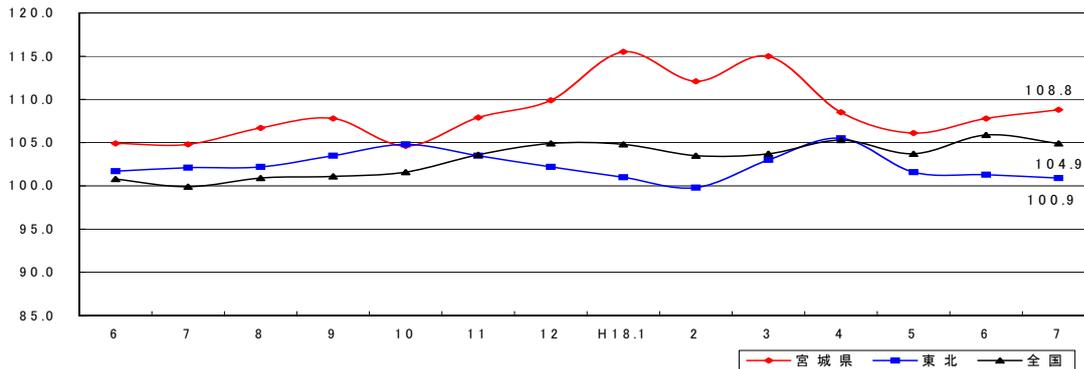
**鉱工業生産指数（宮城）**（資料：宮城県統計課）

宮城県における7月の鉱工業生産指数は平成12年を100として108.8となり、前月比で0.9%と、2ヶ月連続の上昇、前年同月比では3.8%と9ヶ月連続の上昇となっている。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「輸送機械工業（上昇率12.8%）」「窯業・土石製品工業（同12.3%）」「パルプ・紙・紙製品加工品工業（同9.2%）」、低下した主な業種は「精密機械工業（低下率▲20.7%）」「一般機械工業（同▲20.1%）」「繊維工業（同▲19.1%）」となっている。

（平成12年=100.0）

鉱工業生産指数（平成12年=100）季節調整値



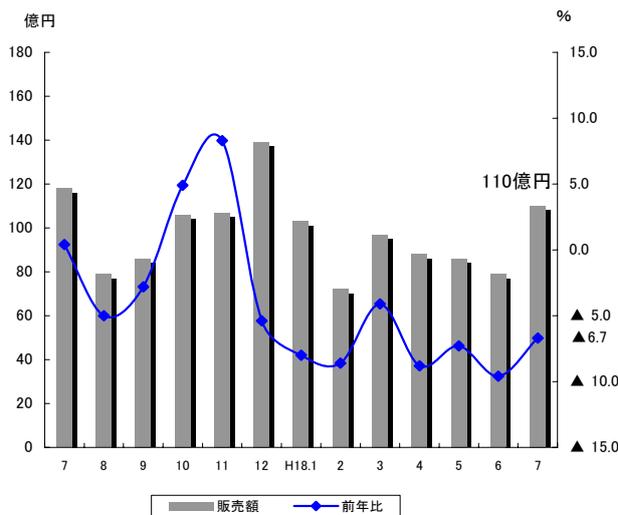
指数 区分	季節調整指数			原指数		
	18年6月	18年7月	前月比 (%)	17年7月	18年7月	前年同月比 (%)
宮城県	107.8	108.8	0.9	104.8	108.8	3.8
東北	101.3	100.9	▲0.4	103.4	102.2	▲1.2
全国	105.9	104.9	▲0.9	100.6	105.7	5.1

**大型小売店販売額（仙台）**（資料：経済産業省）

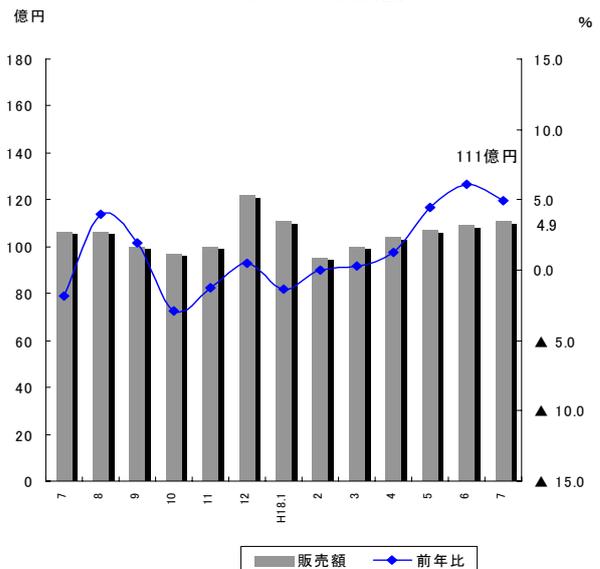
**百貨店** 7月の百貨店販売額は110億円で、前年同月比で6.7%の減少となった。

**スーパー** 7月のスーパー販売額は111億円で、前年同月と4.9%の増加となった。

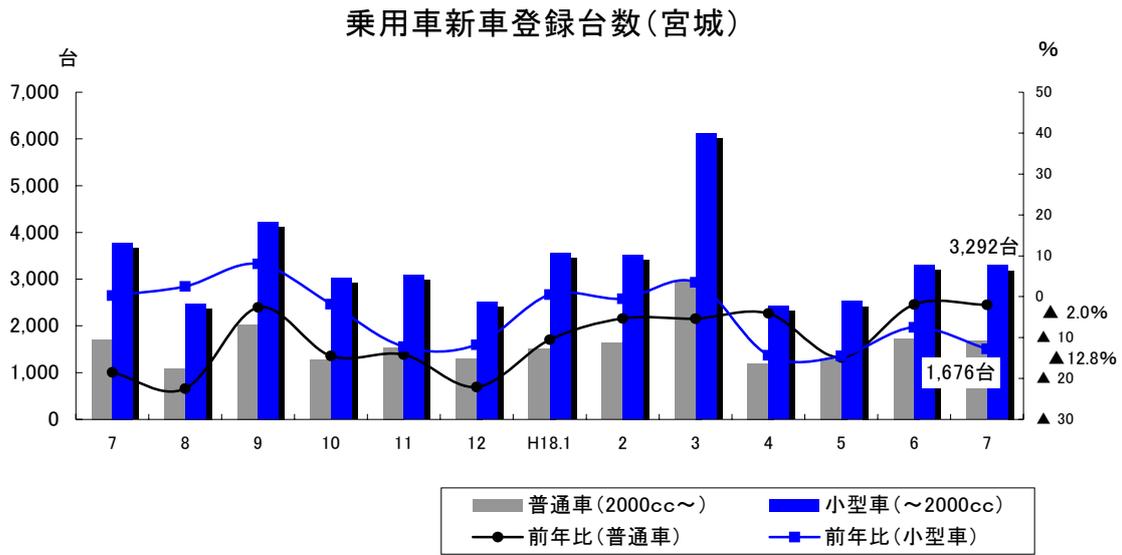
百貨店販売額(仙台 店舗調整前)



スーパー販売額(仙台 店舗調整前)



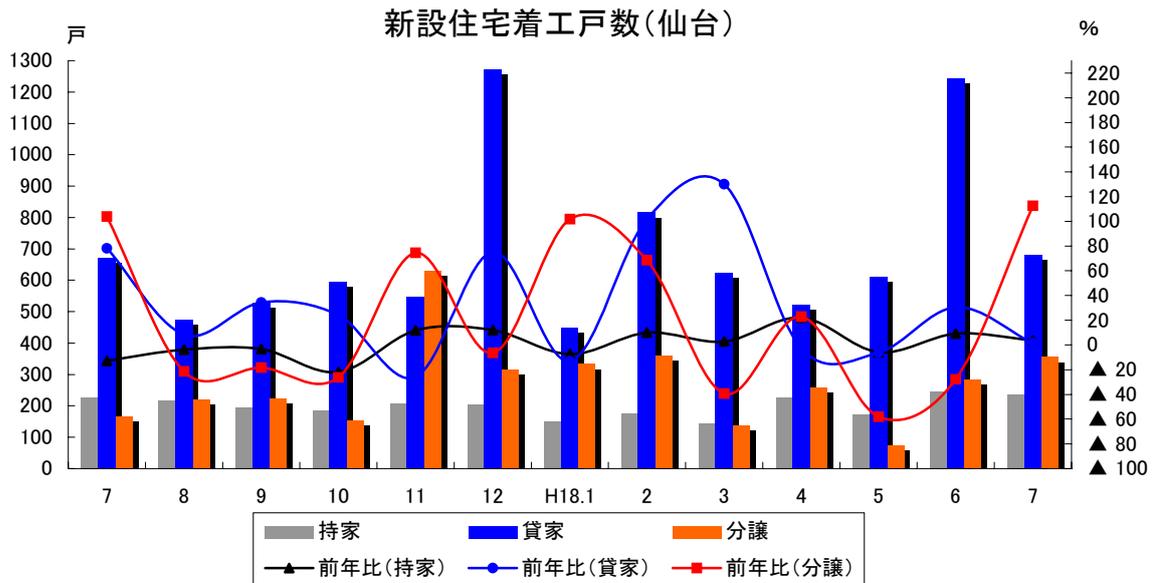
乗用車新車登録台数（宮城）（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）



7月の乗用車新車登録台数は4,968台で、前年同月比で9.4%の減少となった。排気量2,000ccを超える普通車は1,676台で前年同月比2.0%の減少、2,000cc以下の小型車は3,292台で前年同月比12.8%の減少となっている。

新設住宅着工戸数（仙台）（資料：(財)建設物価調査会）

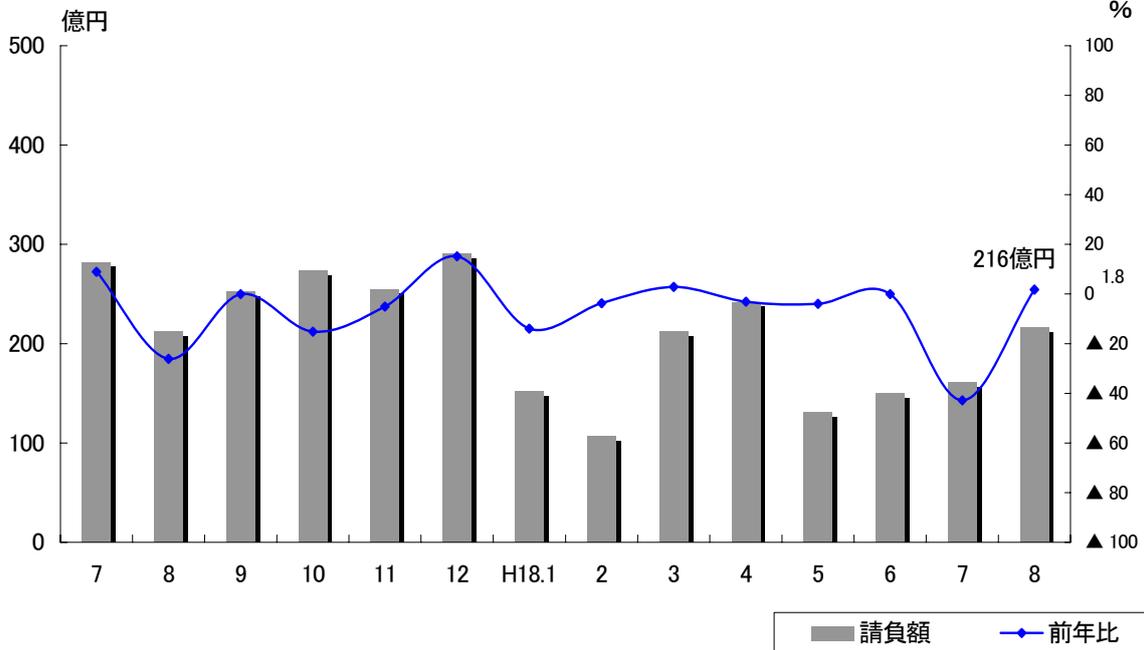
7月の新設住宅着工戸数は1,280戸で、前年同月比で19.3%の増加となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が237戸で前年比3.9%の増加、「貸家」は682戸で前年比1.5%の増加、「分譲」は355戸で前年比112.6%の増加となった。



**公共工事請負額（宮城）** （資料：東日本建設業保証（株））

8月の公共工事請負額（宮城県内）は216億円で、前年同月比で1.8%の増加となった。

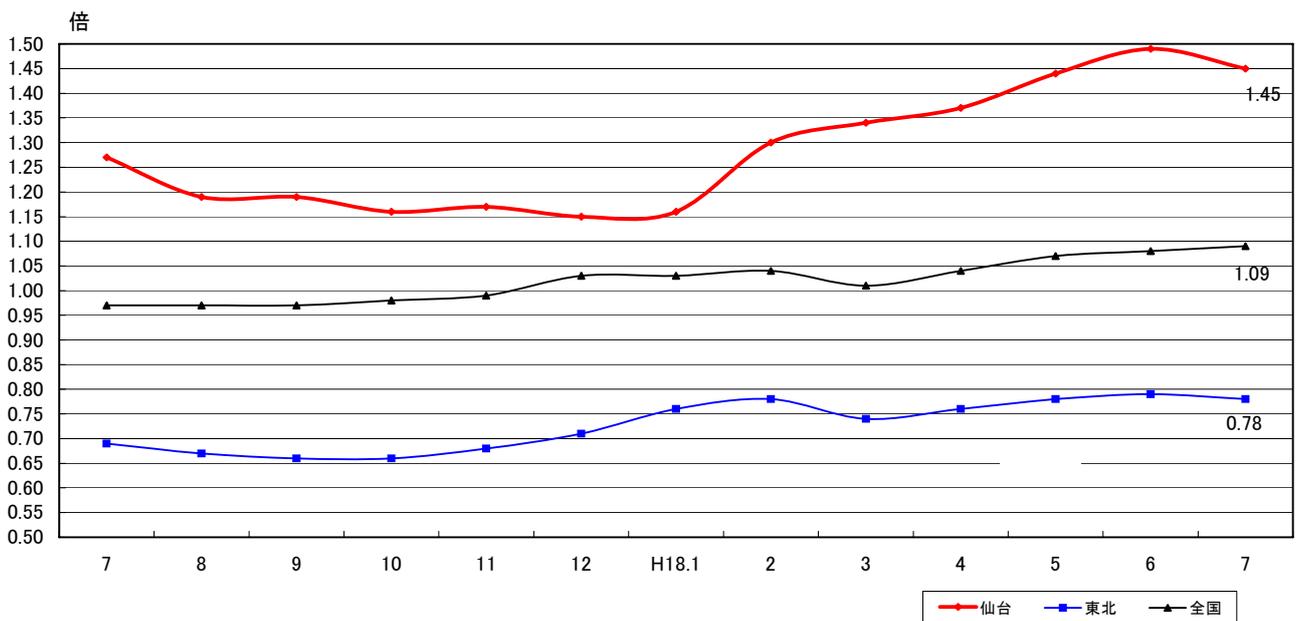
公共工事請負額(宮城県)



**有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）** （資料：仙台公共職業安定所）

7月の仙台公共職業安定所管内（仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、山元町）の有効求人倍率（当課の推計 パートを含む 季節調整値）は1.45倍で、前月比で0.04ポイントの下降となった。

有効求人倍率(季節調整値)

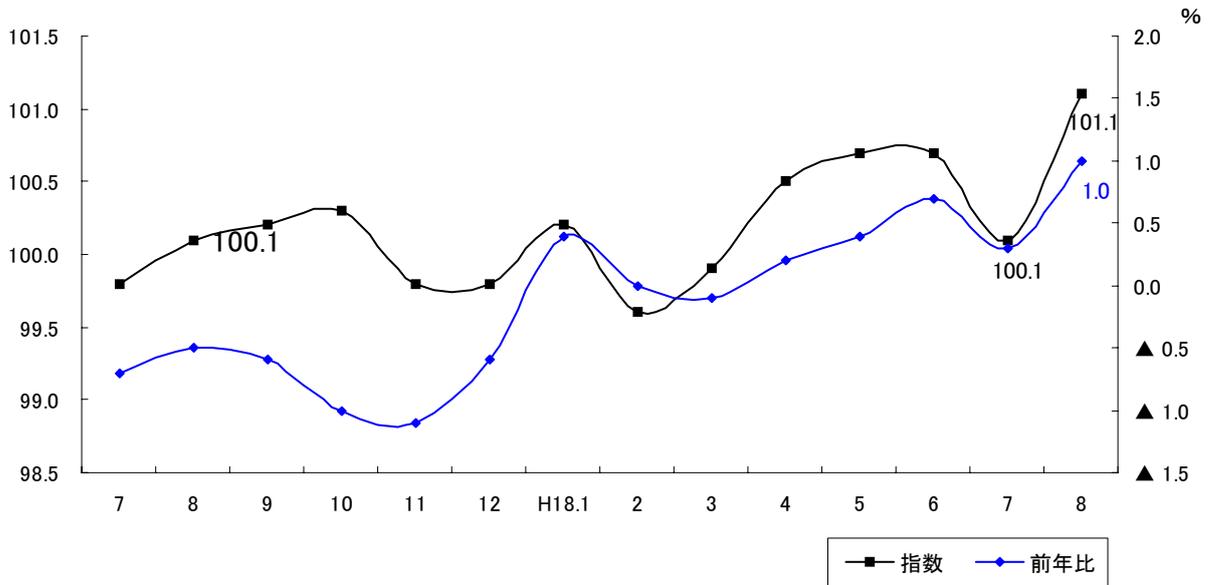


## 消費者物価指数（仙台） （資料：宮城県統計課）

8月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として101.1となり、前月と比べ1.0%の上昇となった。また、前年同月比では1.0%の上昇となった。

10大費目に前年同月比をみると、「光熱・水道」、「被服及び履物」などが上昇し、「住居」、「保健医療」などが下落した。

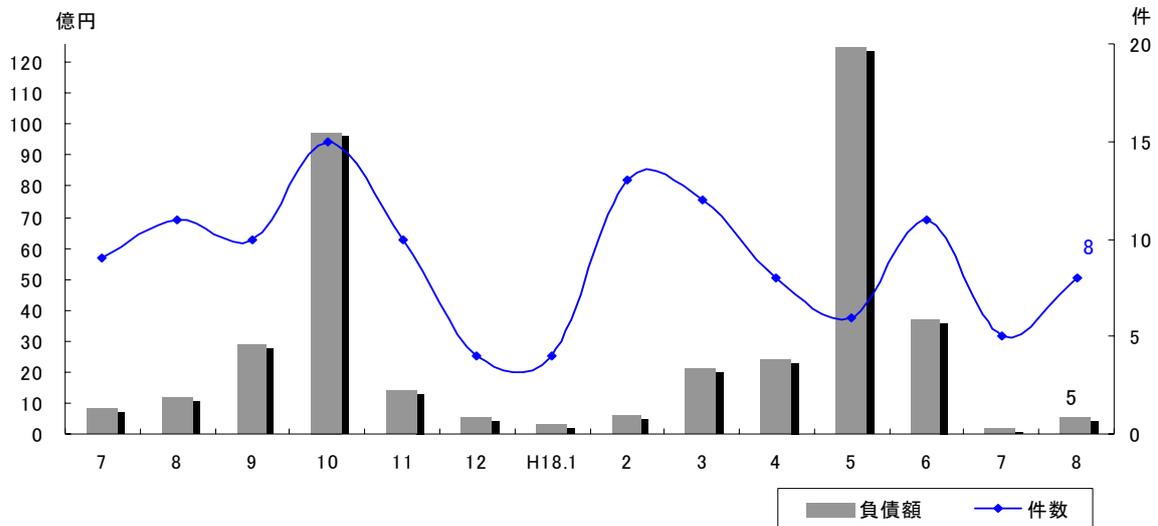
### 消費者物価指数(仙台)(平成17年=100)



## 企業倒産（仙台） （資料：(株)東京商工リサーチ）

8月の負債額1,000万円以上の倒産件数は8件、負債総額は5億円となった。これは前年同月比で、件数では3件の減少、負債総額は約7億円の減少となっている。

### 企業倒産(仙台)



②主要経済指標一覧表

	生 産									個 人 消 費					
	鉱工業生産指数(平成12年=100) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全 国			東 北			宮 城			全 国		東 北		仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成13年	93.2	-	▲ 6.8	94.4	-	▲ 5.6	94.3	-	▲ 5.7	96,261	▲ 3.8	399,078	▲ 7.0	137,098	▲ 1.7
平成14年	92.0	-	▲ 1.3	94.3	-	▲ 0.1	94.5	-	0.2	93,652	▲ 2.7	365,839	▲ 8.3	129,992	▲ 5.2
平成15年	95.0	-	3.3	97.4	-	3.3	99.6	-	5.4	91,067	▲ 2.8	343,133	▲ 6.2	125,081	▲ 3.8
平成16年	100.2	-	5.5	102.7	-	5.4	105.7	-	6.1	88,536	▲ 2.8	329,872	▲ 3.9	122,894	▲ 1.7
平成17年	101.3	-	1.1	102.2	-	▲ 0.5	105.8	-	0.1	87,629	▲ 1.0	320,221	▲ 2.9	120,432	▲ 2.0
17年1月～3月	101.2	1.4	2.3	101.2	▲ 0.2	0.1	105.4	1.2	5.3	21,198	▲ 3.2	80,761	▲ 3.7	29,218	▲ 4.2
4月～6月	101.1	▲ 0.1	0.3	102.6	1.4	▲ 0.3	104.7	▲ 0.7	▲ 2.1	20,606	▲ 1.3	73,808	▲ 4.6	27,713	▲ 3.8
7月～9月	100.6	▲ 0.5	▲ 0.1	102.6	0.0	▲ 1.9	106.4	1.7	▲ 4.0	20,606	▲ 0.6	74,612	▲ 3.0	28,293	▲ 2.1
10月～12月	103.4	2.8	3.6	103.5	0.9	2.1	107.5	1.0	3.2	25,219	0.8	91,041	▲ 0.7	35,208	1.5
18年1月～3月	104.0	0.6	2.8	101.3	▲ 2.1	0.1	114.2	6.2	8.3	21,157	▲ 0.2	77,398	▲ 4.2	27,220	▲ 6.8
4月～6月	104.9	0.9	4.1	102.6	1.3	0.3	107.5	▲ 5.9	3.1	20,241	▲ 1.8	71,265	▲ 3.4	25,343	▲ 8.6
平成17年4月	101.7	1.1	▲ 0.1	105.0	5.2	1.3	105.1	1.7	▲ 5.6	6,907	▲ 1.6	24,957	▲ 4.2	9,615	▲ 1.8
5月	100.9	▲ 0.8	1.3	101.2	▲ 3.6	▲ 0.9	104.0	▲ 1.0	▲ 2.2	6,838	▲ 1.9	24,565	▲ 4.8	9,326	▲ 5.5
6月	100.8	▲ 0.1	▲ 0.2	101.7	0.5	▲ 2.2	104.9	0.9	0.5	6,862	▲ 0.3	24,287	▲ 4.7	8,773	▲ 4.1
7月	99.9	▲ 0.9	▲ 2.6	102.1	0.4	▲ 3.7	104.8	▲ 0.1	▲ 3.9	8,515	▲ 0.2	29,138	▲ 2.2	11,760	0.4
8月	100.9	1.0	1.4	102.2	0.1	▲ 1.4	106.7	1.7	▲ 0.5	5,829	▲ 1.9	22,694	▲ 3.0	7,947	▲ 5.0
9月	101.1	0.2	0.9	103.5	1.3	0.1	107.8	1.0	▲ 4.7	6,263	0.0	22,779	▲ 3.9	8,586	▲ 2.8
10月	101.6	0.5	2.1	104.8	1.3	5.8	104.6	▲ 3.0	▲ 1.3	7,283	▲ 0.5	27,655	▲ 1.1	10,605	4.9
11月	103.6	2.0	3.4	103.5	▲ 1.2	1.8	107.9	3.2	3.9	7,695	2.7	28,202	3.8	10,726	8.3
12月	104.9	1.3	3.5	102.2	▲ 1.3	▲ 1.2	109.9	1.9	5.3	10,241	0.3	35,184	▲ 3.8	13,878	▲ 5.4
平成18年1月	104.8	▲ 0.1	2.7	101.0	▲ 1.2	▲ 0.3	115.5	5.1	6.5	7,714	▲ 1.4	28,129	▲ 5.0	10,281	▲ 8.0
2月	103.5	▲ 1.2	3.9	99.8	▲ 1.2	▲ 1.3	112.1	▲ 2.9	8.7	5,850	▲ 0.5	20,914	▲ 5.5	7,219	▲ 8.6
3月	103.7	0.2	3.1	103.0	3.2	3.2	115.0	2.6	10.1	7,593	1.3	28,355	▲ 2.2	9,720	▲ 4.1
4月	105.1	1.4	3.6	105.0	1.9	▲ 0.3	108.7	▲ 5.5	3.1	6,799	▲ 1.6	24,205	▲ 3.0	8,768	▲ 8.8
5月	103.7	▲ 1.3	3.9	101.6	▲ 3.2	1.9	106.1	▲ 2.4	3.5	6,715	▲ 1.8	23,983	▲ 2.4	8,647	▲ 7.3
6月	105.9	2.1	5.0	101.3	▲ 0.3	▲ 0.4	107.8	1.6	2.8	6,726	▲ 2.0	23,077	▲ 5.0	7,928	▲ 9.6
7月	104.9	▲ 0.9	5.1	100.9	▲ 0.4	▲ 1.2	108.8	0.9	3.8	8,385	▲ 1.5	27,965	▲ 4.0	10,973	▲ 6.7
8月															
9月															
資 料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
127,147	0.7	850,955	0.2	126,987	2.3	3,516,102	▲ 0.1	256,842	▲ 1.6	66,981	▲ 0.7	22,780	▲ 1.8	44,201	▲ 0.1
126,677	▲ 0.4	891,672	4.8	126,742	▲ 0.2	3,216,242	▲ 8.5	229,299	▲ 10.7	64,209	▲ 4.1	19,022	▲ 16.5	45,187	2.2
126,526	▲ 0.1	912,149	2.3	127,360	0.5	3,415,807	6.2	242,352	5.7	63,956	▲ 0.4	20,154	6.0	43,802	▲ 3.1
126,137	▲ 0.3	912,078	0.0	126,809	▲ 0.4	3,388,622	▲ 0.8	235,407	▲ 2.9	63,163	▲ 1.2	22,516	11.7	40,647	▲ 7.2
125,654	▲ 0.4	898,239	▲ 1.5	124,673	▲ 1.7	3,353,586	▲ 1.0	229,038	▲ 2.7	61,471	▲ 2.7	20,013	▲ 11.1	41,458	2.0
30,687	▲ 0.5	225,212	▲ 2.3	30,738	▲ 3.2	1,030,017	▲ 0.3	72,206	▲ 2.6	19,514	▲ 3.3	6,525	▲ 11.1	12,989	1.2
30,816	0.1	218,733	▲ 1.5	30,853	▲ 1.1	763,196	9.1	52,837	5.4	13,914	7.8	4,551	▲ 1.9	9,363	13.2
30,822	▲ 1.0	223,716	▲ 1.1	31,227	0.1	833,580	▲ 2.8	56,971	▲ 2.3	15,315	▲ 2.4	4,834	▲ 13.6	10,481	3.8
33,329	▲ 0.2	230,578	▲ 1.1	31,855	▲ 2.4	726,793	▲ 9.0	47,024	▲ 11.0	12,728	▲ 11.5	4,103	▲ 16.9	8,625	▲ 8.7
30,049	▲ 2.1	221,215	▲ 1.8	30,608	0.4	1,007,291	▲ 2.2	71,036	▲ 1.6	19,288	▲ 1.2	6,089	▲ 6.7	13,199	1.6
30,845	0.1	221,926	1.5	32,078	4.0	687,041	▲ 10.0	47,483	▲ 10.1	12,497	▲ 10.2	4,238	▲ 6.9	8,259	▲ 11.8
10,229	0.2	73,400	▲ 0.9	10,316	▲ 4.0	225,430	12.3	16,089	4.2	4,097	8.0	1,257	▲ 2.8	2,840	13.6
10,309	0.1	73,296	▲ 1.4	10,229	0.2	237,747	6.8	16,650	6.1	4,480	7.4	1,528	1.0	2,952	11.1
10,278	0.1	72,037	▲ 2.1	10,308	0.6	300,019	8.6	20,098	5.8	5,337	8.0	1,766	▲ 3.6	3,571	14.8
10,771	▲ 0.4	74,436	▲ 1.1	10,602	▲ 1.8	301,570	▲ 4.5	20,792	▲ 3.5	5,485	▲ 6.4	1,711	▲ 18.5	3,774	0.3
10,496	▲ 1.0	80,298	▲ 1.9	10,639	0.4	203,206	▲ 3.7	13,571	▲ 5.2	3,568	▲ 6.7	1,093	▲ 22.5	2,475	2.5
9,556	▲ 1.5	68,981	▲ 0.2	9,987	1.9	328,804	▲ 0.6	22,608	0.8	6,262	4.3	2,030	▲ 2.6	4,232	8.0
10,203	▲ 2.9	70,806	▲ 3.7	9,731	▲ 6.9	238,441	▲ 5.0	16,546	▲ 6.0	4,303	▲ 6.0	1,277	▲ 14.5	3,026	▲ 1.8
10,237	1.2	71,615	0.8	9,960	▲ 1.8	257,527	▲ 9.7	17,224	▲ 12.4	4,623	▲ 12.9	1,537	▲ 14.2	3,086	▲ 12.2
12,889	1.0	88,157	▲ 0.4	12,165	0.5	230,825	▲ 12.0	13,254	▲ 14.6	3,802	▲ 15.6	1,289	▲ 22.1	2,513	▲ 11.8
11,127	▲ 2.9	82,165	▲ 2.7	11,128	▲ 1.4	223,057	▲ 1.6	15,204	▲ 3.3	5,063	▲ 3.0	1,503	▲ 10.5	3,560	0.5
9,062	▲ 2.4	67,299	▲ 2.1	9,495	0.0	304,601	▲ 2.8	18,936	▲ 2.5	5,158	▲ 2.1	1,635	▲ 5.3	3,523	▲ 0.5
9,860	▲ 0.9	71,751	▲ 0.4	9,985	0.3	479,633	▲ 2.1	36,896	▲ 0.4	9,067	0.4	2,951	▲ 5.4	6,116	3.5
10,244	0.2	73,820	0.6	10,445	1.2	200,773	▲ 10.9	14,537	▲ 9.6	3,638	▲ 11.2	1,205	▲ 4.1	2,433	▲ 14.3
10,275	▲ 0.3	74,583	1.8	10,691	4.5	213,916	▲ 10.0	14,427	▲ 13.4	3,824	▲ 14.6	1,301	▲ 14.9	2,523	▲ 14.5
10,326	0.5	73,523	2.1	10,942	6.1	272,352	▲ 9.2	18,519	▲ 7.9	5,035	▲ 5.7	1,732	▲ 1.9	3,303	▲ 7.5
10,707	▲ 0.6	74,960	0.7	11,119	4.9	266,944	▲ 11.5	18,866	▲ 9.3	4,968	▲ 9.4	1,676	▲ 2.0	3,292	▲ 12.8
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成13年	308,691	▲ 2.7	294,577	▲ 3.6	303,219	▲ 6.5	1,173,858	▲ 4.6	75,740	▲ 4.8	11,660	▲ 3.7	2,451	▲ 10.0
平成14年	306,129	▲ 0.8	292,515	▲ 0.7	316,149	4.3	1,151,016	▲ 1.9	70,876	▲ 6.4	12,055	3.4	2,342	▲ 4.4
平成15年	302,554	▲ 1.2	280,481	▲ 4.1	278,867	▲ 11.8	1,160,083	0.8	64,889	▲ 9.4	10,290	▲ 14.6	2,290	▲ 2.2
平成16年	302,975	0.1	293,172	4.5	303,273	8.8	1,189,049	2.5	64,492	0.5	10,903	6.0	2,422	5.8
平成17年	300,531	▲ 0.8	286,825	▲ 2.2	319,309	5.3	1,236,122	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	▲ 5.3
17年1月～3月	297,962	▲ 1.6	284,341	▲ 2.9	309,235	10.1	271,021	1.5	12,496	8.1	2,318	37.1	458	▲ 1.7
4月～6月	299,210	▲ 1.2	281,597	▲ 7.8	330,103	2.9	307,786	2.0	17,399	▲ 7.7	3,522	14.8	594	▲ 9.6
7月～9月	295,037	▲ 0.4	281,062	2.3	302,041	▲ 1.1	332,628	5.0	16,997	▲ 0.5	2,938	10.2	642	▲ 7.2
10月～12月	309,917	▲ 0.1	300,298	0.2	335,857	9.7	324,687	7.0	17,725	4.3	4,126	18.6	599	▲ 1.3
18年1月～3月	292,462	▲ 1.8	282,596	▲ 0.6	304,216	▲ 1.6	284,212	4.9	12,573	0.6	3,192	37.7	466	1.7
4月～6月	295,270	▲ 1.3	283,782	0.8	292,568	▲ 11.4	334,243	8.6	18,741	7.7	3,645	3.5	645	8.6
平成17年4月	317,844	▲ 2.4	306,815	▲ 5.7	347,122	▲ 6.0	96,740	0.6	5,339	▲ 16.2	934	▲ 13.1	185	4.5
5月	295,783	▲ 1.4	270,950	▲ 9.7	353,305	15.8	101,862	3.0	5,592	▲ 8.5	1,020	5.6	183	▲ 17.9
6月	284,002	0.4	267,027	▲ 8.2	289,881	0.6	109,184	2.4	6,468	1.4	1,568	52.8	226	▲ 12.1
7月	294,764	▲ 2.6	280,860	1.4	333,213	9.7	115,343	8.3	6,214	11.4	1,073	48.0	228	▲ 13.0
8月	302,201	0.4	296,837	2.9	299,454	▲ 2.9	109,199	7.0	5,103	▲ 12.7	915	▲ 4.2	218	▲ 4.0
9月	288,147	1.1	265,490	2.7	273,455	▲ 10.0	108,086	▲ 0.2	5,680	0.4	950	▲ 3.7	196	▲ 3.4
10月	300,146	1.1	293,867	6.7	329,326	18.3	115,769	9.1	5,863	2.9	938	1.2	185	▲ 21.9
11月	283,603	▲ 1.5	270,331	▲ 1.1	311,210	15.4	110,986	12.6	6,205	8.3	1,391	7.2	209	11.8
12月	346,003	0.1	336,695	▲ 3.7	367,036	▲ 0.9	97,932	▲ 0.9	5,657	1.7	1,797	43.3	205	12.0
平成18年1月	294,617	▲ 2.5	291,305	0.9	333,114	6.7	92,899	▲ 2.2	4,330	6.6	936	10.5	149	▲ 7.5
2月	269,418	▲ 1.1	242,042	▲ 5.9	263,593	▲ 5.3	96,995	13.7	4,126	0.9	1,349	74.1	174	10.1
3月	313,350	▲ 1.9	314,441	2.5	315,942	▲ 6.3	94,318	3.9	4,117	▲ 5.3	907	30.3	143	2.9
4月	312,872	▲ 1.6	296,469	▲ 3.4	292,802	▲ 15.6	111,260	15.0	5,861	9.8	1,007	7.8	226	22.2
5月	292,114	▲ 1.2	281,740	4.0	306,714	▲ 13.2	108,652	6.7	5,553	0.7	859	▲ 15.8	172	▲ 6.0
6月	280,824	▲ 1.1	273,138	2.3	278,188	▲ 4.0	114,331	4.7	7,327	13.3	1,779	13.5	247	9.3
7月	292,328	▲ 0.8	271,176	▲ 3.4	286,491	▲ 14.0	106,649	▲ 7.5	5,989	▲ 3.6	1,280	19.3	237	3.9
8月											860	▲ 6.0	208	▲ 4.6
9月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資				雇 用								
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額				新規求人(パートを含む) (原数値)			有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)		
仙台				全 国	東 北	宮 城		全 国	仙 台		全 国	東 北	仙 台	全 国	宮 城	
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)													
5,621	5.3	3,540	▲ 11.8	▲ 7.8	▲ 6.5	385,929	▲ 9.1	1.5	64,452	9.4	0.59	0.49	0.64	▲ 7.9	13.1	▲ 16.0
6,580	17.1	3,062	▲ 13.5	▲ 7.2	▲ 11.9	333,361	▲ 13.6	0.6	88,508	37.3	0.54	0.44	0.77	4.2	17.3	21.1
5,276	▲ 19.8	2,688	▲ 12.2	▲ 12.4	▲ 10.3	313,728	▲ 5.9	12.0	102,573	15.9	0.64	0.54	0.95	10.4	17.9	1.1
5,518	4.6	2,824	5.1	▲ 14.0	▲ 16.2	293,042	▲ 6.6	11.7	106,256	3.6	0.83	0.64	1.14	7.5	16.3	▲ 5.5
7,429	34.6	3,102	9.8	▲ 4.3	▲ 6.3	249,963	▲ 14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	▲ 0.4	16.0	▲ 2.4
1,194	40.5	607	67.2	▲ 5.5	▲ 9.2	48,479	▲ 32.9	9.3	30,548	19.7	0.91	0.68	1.35	▲ 0.7	15.4	▲ 5.5
2,141	41.7	779	▲ 2.7	▲ 6.4	▲ 11.4	53,679	▲ 16.4	19.6	27,198	13.4	0.95	0.69	1.30	▲ 1.6	16.0	0.6
1,676	38.5	613	▲ 18.3	▲ 3.0	2.4	74,755	▲ 6.5	9.1	28,751	▲ 1.1	0.97	0.68	1.22	▲ 1.0	15.7	▲ 6.5
2,418	24.2	1,103	21.2	▲ 2.2	▲ 8.1	73,049	▲ 4.7	4.6	26,728	▲ 3.5	1.00	0.69	1.16	1.8	16.9	1.2
1,890	58.3	831	36.9	▲ 11.8	▲ 15.6	46,154	▲ 4.8	6.5	31,785	4.0	1.03	0.76	1.27	4.2	16.6	7.3
2,377	11.0	615	▲ 21.1	▲ 11.7	▲ 3.9	52,353	▲ 2.5	4.7	30,010	10.3	1.06	0.78	1.43	4.7	17.9	12.3
537	23.2	210	▲ 54.4	▲ 11.3	▲ 8.3	24,984	▲ 14.2	11.2	9,295	6.3	0.93	0.68	1.29	▲ 1.1	16.0	0.1
652	43.3	179	▲ 7.7	▲ 0.4	▲ 4.5	13,634	17.3	15.5	7,969	12.3	0.95	0.69	1.29	▲ 2.4	16.6	7.9
952	53.5	390	167.1	▲ 4.7	▲ 19.8	15,061	▲ 35.8	34.3	9,934	22.1	0.96	0.69	1.32	▲ 1.1	15.3	▲ 3.7
672	78.2	167	103.7	▲ 12.7	▲ 3.9	28,217	8.9	6.0	9,175	▲ 3.1	0.97	0.69	1.27	▲ 0.5	16.0	▲ 3.4
475	8.2	221	▲ 21.4	▲ 0.2	3.4	21,196	▲ 26.1	13.7	9,268	0.0	0.97	0.68	1.19	▲ 0.5	15.8	▲ 7.5
529	34.3	225	▲ 41.9	4.1	8.3	25,343	▲ 0.1	7.8	10,308	▲ 0.1	0.97	0.67	1.19	▲ 1.6	15.3	▲ 6.0
596	24.2	154	▲ 26.3	▲ 1.4	▲ 7.1	27,448	▲ 15.2	4.4	9,212	▲ 6.5	0.98	0.67	1.16	0.5	16.8	4.4
548	▲ 25.9	632	74.6	▲ 0.9	▲ 4.6	25,523	▲ 5.1	3.9	10,127	1.5	0.99	0.69	1.17	1.6	16.8	1.9
1,274	75.2	317	▲ 6.5	▲ 4.7	▲ 14.1	20,078	15.2	5.7	7,389	▲ 6.1	1.03	0.72	1.15	3.4	17.2	0.1
451	▲ 13.1	333	101.8	▲ 6.8	▲ 8.3	15,245	▲ 14.0	6.9	9,296	▲ 14.1	1.03	0.76	1.16	3.6	15.7	4.7
816	102.0	359	68.5	▲ 8.3	▲ 26.9	10,748	▲ 3.7	10.7	11,868	20.3	1.04	0.78	1.30	4.5	16.6	8.4
623	129.9	139	▲ 39.3	▲ 15.4	▲ 14.8	20,162	2.9	2.6	10,621	7.8	1.01	0.74	1.34	4.5	17.4	8.7
522	▲ 2.8	258	22.9	▲ 17.3	▲ 14.1	24,221	▲ 3.1	2.4	9,717	4.5	1.04	0.76	1.37	5.0	17.8	11.3
612	▲ 6.1	75	▲ 58.1	▲ 0.7	18.7	13,090	▲ 4.0	8.4	9,870	23.9	1.07	0.78	1.44	5.5	16.6	0.0
1,243	30.6	282	▲ 27.7	▲ 13.2	▲ 1.9	15,042	▲ 0.1	3.5	10,423	4.9	1.08	0.79	1.49	3.5	19.4	26.8
682	1.5	355	112.6	▲ 4.3	▲ 19.4	16,098	▲ 42.9	4.5	10,070	9.8	1.09	0.78	1.45	4.5	18.8	17.5
485	2.1	166	▲ 24.9	▲ 13.9	▲ 13.7	21,586	1.8	4.6			1.08	0.76				
国土交通省				保証事業会社協会	東日本建設業保証(株)			厚生労働省	仙台公共職業安定所		厚生労働省	東北6県労働局	仙台公共職業安定所	厚生労働省	宮城県	

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年=100)						金融機関預金残高(末残)				金融機関貸出残高(末残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成13年	99.3	-	▲ 0.7	99.3	-	▲ 0.7	4.1	1.2	72,260	0.8	▲ 3.7	▲ 1.0	44,350	▲ 4.8
平成14年	98.4	-	▲ 0.9	98.6	-	▲ 0.7	2.2	0.5	70,997	▲ 3.4	▲ 3.6	▲ 2.9	43,026	▲ 5.3
平成15年	98.1	-	▲ 0.3	98.6	-	0.0	1.9	0.4	68,154	▲ 4.0	▲ 3.7	▲ 2.2	45,068	4.7
平成16年	98.1	-	0.0	98.3	-	▲ 0.3	1.3	0.0	68,411	0.4	▲ 2.4	▲ 1.8	44,223	▲ 1.9
平成17年	100.0	-	1.1	97.7	-	▲ 0.6	1.5	▲ 0.3	68,741	0.5	1.1	▲ 0.4	44,618	0.9
17年1月～3月	100.0	▲ 0.9	▲ 0.2	99.8	▲ 1.0	▲ 0.6	1.3	0.3	67,512	0.7	▲ 2.2	▲ 1.7	44,193	▲ 0.9
4月～6月	100.0	0.0	▲ 0.1	100.2	0.4	▲ 0.2	1.1	▲ 0.4	69,190	2.4	▲ 1.5	▲ 0.8	43,409	▲ 0.6
7月～9月	100.0	0.0	▲ 0.3	100.0	▲ 0.2	▲ 0.6	2.1	▲ 0.5	68,354	1.1	▲ 0.1	▲ 0.2	44,570	1.4
10月～12月	100.0	0.0	▲ 0.5	100.0	0.0	▲ 0.9	1.5	▲ 0.3	68,741	0.5	1.1	▲ 0.4	44,618	0.9
18年1月～3月	99.9	▲ 0.1	▲ 0.1	99.9	▲ 0.1	0.1	1.3	▲ 0.6	66,970	▲ 0.8	2.0	0.3	44,516	0.7
4月～6月	100.3	0.4	0.3	100.6	0.7	0.4		▲ 0.4	68,226	▲ 1.4		0.7	43,999	1.4
平成17年4月	100.2	0.2	0.0	100.3	0.3	0.0	1.5	0.4	69,494	2.1	▲ 1.3	▲ 1.4	43,846	▲ 0.6
5月	100.3	0.1	0.2	100.3	0.0	0.1	1.2	▲ 0.4	68,760	2.2	▲ 1.7	▲ 1.0	43,659	▲ 0.6
6月	99.9	▲ 0.4	▲ 0.5	100.0	▲ 0.3	▲ 0.5	1.1	▲ 0.4	69,190	2.4	▲ 1.5	▲ 0.8	43,409	▲ 0.6
7月	99.8	▲ 0.1	▲ 0.3	99.8	▲ 0.2	▲ 0.7	1.3	▲ 0.3	68,903	2.4	▲ 1.1	▲ 0.6	43,781	▲ 0.2
8月	99.9	0.1	▲ 0.3	100.1	0.3	▲ 0.5	1.6	▲ 0.6	68,503	1.7	▲ 0.9	▲ 0.9	43,731	0.4
9月	100.2	0.3	▲ 0.3	100.2	0.1	▲ 0.6	2.1	▲ 0.5	68,354	1.1	▲ 0.1	▲ 0.2	44,570	1.4
10月	100.2	0.0	▲ 0.7	100.3	0.1	▲ 1.0	1.1	▲ 0.8	67,677	0.9	0.1	▲ 0.3	44,382	1.4
11月	99.8	▲ 0.4	▲ 0.8	99.8	▲ 0.5	▲ 1.1	1.4	▲ 0.4	68,087	0.5	0.8	▲ 0.2	44,123	0.5
12月	99.9	0.1	▲ 0.1	99.8	0.0	▲ 0.6	1.5	▲ 0.3	68,741	0.5	1.1	▲ 0.4	44,618	0.9
平成18年1月	100.0	0.1	▲ 0.1	100.2	0.4	0.4	1.5	▲ 0.5	67,604	▲ 0.5	1.2	▲ 0.3	44,072	0.6
2月	99.7	▲ 0.3	▲ 0.1	99.6	▲ 0.6	0.0	1.3	▲ 0.5	68,036	▲ 0.7	1.1	▲ 0.4	43,991	0.4
3月	99.9	0.2	▲ 0.2	99.9	0.3	▲ 0.1	1.2	▲ 0.6	66,970	▲ 0.8	2.0	0.3	44,516	0.7
4月	100.1	0.2	▲ 0.1	100.5	0.6	0.2	1.4	▲ 0.4	68,661	▲ 1.2	2.1	0.5	44,615	1.8
5月	100.4	0.3	0.1	100.7	0.2	0.4	1.2	▲ 0.4	67,705	▲ 1.5	2.6	1.0	44,379	1.6
6月	100.4	0.0	0.5	100.7	0.0	0.7		▲ 0.4	68,226	▲ 1.4		0.7	43,999	1.4
7月	100.1	▲ 0.3	0.3	100.1	▲ 0.6	0.3		▲ 0.7	67,830	▲ 1.6		0.3	44,160	0.9
8月	100.8	0.7	0.9	101.1	1.0	1.0								
9月														
資 料	総務省			宮城県			日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会		日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会	

※金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。

倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
19,164	2.1	1,227	▲ 0.2	169	3.0	165,196	▲ 30.8	5,233	52.7	14,056,300	83.2
19,087	▲ 0.4	1,271	3.6	180	6.5	137,824	▲ 16.6	5,413	3.4	8,808,700	▲ 37.3
16,255	▲ 14.8	912	▲ 28.2	117	▲ 35.0	115,818	▲ 16.0	3,704	▲ 31.6	8,176,800	▲ 7.2
13,679	▲ 15.8	790	▲ 13.4	118	0.9	78,177	▲ 32.5	3,239	▲ 12.6	6,223,300	▲ 23.9
12,998	▲ 5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	▲ 14.3	2,731	▲ 15.7	3,095,900	▲ 50.3
3,176	▲ 13.4	200	▲ 0.5	30	7.1	19,876	▲ 21.8	551	▲ 16.5	378,200	▲ 72.5
3,225	▲ 5.2	212	6.5	36	56.5	15,045	▲ 7.2	719	▲ 28.1	1,069,400	▲ 71.7
3,163	▲ 4.4	207	12.5	30	▲ 3.2	13,937	▲ 9.3	896	151.0	487,700	▲ 24.8
3,434	4.2	191	▲ 7.3	29	▲ 19.4	18,177	▲ 14.1	566	▲ 53.7	1,160,600	173.3
3,348	5.4	187	▲ 6.5	29	▲ 3.3	14,062	▲ 29.3	488	▲ 11.4	305,800	▲ 19.1
3,281	1.7	193	▲ 9.0	25	▲ 30.6	15,202	1.1	642	▲ 28.1	1,862,800	74.2
946	▲ 23.4	64	▲ 3.0	6	▲ 14.3	3,966	▲ 52.0	403	165.5	25,700	▲ 71.8
1,072	▲ 1.5	67	0.0	10	42.9	6,051	40.7	144	▲ 55.8	459,700	▲ 14.1
1,207	11.9	81	22.7	20	122.2	5,027	37.7	172	▲ 67.1	584,000	▲ 81.5
1,024	▲ 8.8	68	13.3	9	▲ 30.8	4,789	▲ 16.9	474	334.5	78,800	▲ 79.1
1,152	5.0	69	6.2	11	57.1	3,251	▲ 34.4	233	55.6	121,700	32.7
987	▲ 9.4	70	18.6	10	▲ 9.1	5,897	26.9	189	92.5	287,200	59.3
1,171	4.1	78	6.8	15	114.3	6,350	▲ 19.2	338	▲ 51.6	971,300	1,842.6
1,114	4.6	51	▲ 23.9	10	▲ 23.1	8,083	86.1	89	▲ 75.8	141,200	▲ 26.7
1,149	3.6	62	▲ 6.1	4	▲ 75.0	3,744	▲ 58.1	139	▲ 12.1	48,100	▲ 73.6
1,049	2.6	41	▲ 38.8	4	▲ 55.6	6,044	▲ 2.8	162	▲ 49.1	33,500	▲ 53.7
1,044	3.0	66	4.8	13	30.0	2,885	▲ 61.2	162	31.7	64,700	▲ 52.9
1,255	10.1	80	14.3	12	9.1	5,133	▲ 17.4	164	50.5	207,600	23.1
1,087	14.9	61	▲ 4.7	8	33.3	4,268	7.6	164	▲ 59.3	235,500	816.3
1,083	1.0	65	▲ 3.0	6	▲ 40.0	7,123	17.7	296	105.6	1,252,800	172.5
1,111	▲ 8.0	67	▲ 17.3	11	▲ 45.0	3,811	▲ 24.2	182	5.8	374,500	▲ 35.9
1,051	2.6	73	7.4	5	▲ 44.4	3,100	▲ 35.3	279	▲ 41.1	18,000	▲ 77.2
1,169	1.5	73	5.8	8	▲ 27.3	4,075	25.3	299	28.3	52,300	▲ 57.0
								103	45.5	66,400	▲ 76.9

(株)東京商工リサーチ

お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。  
なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称		所在地		
ご記入者	部課名	役職	ご芳名	Tel

それぞれの設問について以下の要領でお答えください。

※貴社が本店・本社の場合は全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分のみの判断を記入してください。

	上昇	不変	下降
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			○
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・		○	
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・	○		

該当する欄1つに○を記入してください

**設問1** 仙台市内、貴業界、貴事業所の景気についてお伺いします。  
実績及び先行きの見通しについて、（ ）内の時期と比較し、該当する欄に○を記入してください。

設問1-1 仙台市内の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

設問1-2 貴社の属する業界の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

設問1-3 貴事業所の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

**設問2** 貴社（事業所）の生産・売上高、経常利益についてお伺いします。  
実績及び先行きの見通しについて、（ ）内の時期と比較し、該当する欄に○を記入してください。

設問2-1 生産・売上について

	増加	不変	減少
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

設問2-2 経常利益について

	増加	不変	減少
実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

**設問3** 貴社の設備投資動向についてお伺いします（設備を持たない業種の場合は未記入で結構です）。実績及び先行きの見通しについて、該当する欄に○を記入してください。

--- 設問3-1 設備投資について

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

実施(計画)している	実施(計画)していない

**設問4** 貴社における雇用人員、在庫状況、価格水準、資金繰り、労働時間についてお伺いします。実績及び先行きの見通しについて、( )内の時期と比較し、該当する欄に○を記入してください。

--- 設問4-1 雇用人員について

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

過剰	適正	不足

--- 設問4-2 製(商)品在庫について(在庫を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

過剰	適正	不足

--- 設問4-3 製(商)品価格について(製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

上昇	不変	下降

--- 設問4-4 原材料(仕入)価格について(原材料等を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

上昇	不変	下降

--- 設問4-5 資金繰りについて

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

改善	不変	悪化

--- 設問4-6 労働時間について(パート等を含む)

実績 平成18年7月～9月期(平成18年4月～6月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成18年10月～12月期(平成18年7月～9月期実績との比較) . . . . .  
見通し 平成19年1月～3月期(平成18年10月～12月期見通しとの比較) . . . . .

増加	不変	減少

**設問5** 貴社において、当面の経営上の課題と考えているものを下の①～⑯の中から3つまで選び、番号を回答欄に記入してください。

- |                   |              |           |
|-------------------|--------------|-----------|
| ① 合理化・省力化不足       | ⑦ 求人・人材難     | ⑬ 諸経費の増加  |
| ② 設備・店舗等が老朽化または狭い | ⑧ 人件費高騰      | ⑭ 立地条件の悪化 |
| ③ 原材料・仕入製(商)品高    | ⑨ 在庫過大       | ⑮ その他( )  |
| ④ 設備過剰            | ⑩ 販売価格の値下げ   | ⑯ 特になし    |
| ⑤ 売上・受注の停滞・不振     | ⑪ 競争の激化      |           |
| ⑥ 資金繰り・金融難        | ⑫ 生産・販売能力の不足 |           |

--	--	--

発 行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

電 話 022-214-8275

F A X 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

U R L <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>